
OPTiM

Optimal Biz Android キットティングマニュアル

最終更新日 2024 年 7 月 15 日
(Web サイト ver.9.21.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。


参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 Android クライアントについて](#)

[2 キットティング方法を選択する](#)

[3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する](#)

[5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[8 その他のキットティング方法](#)

[9 Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する](#)

1 Android クライアントについて	7
1.1 概要	8
1.2 OS サポートポリシー	8
1.3 動作環境	8
2 キットティング方法を選択する	9
2.1 各キットティング方法の概要	10
3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う	12
3.1 Google アカウントを登録する	13
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	13
3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	23
3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	26
3.2 ユーザーを作成する	33
3.3 afw 識別子でキットティングする	35
3.4 端末にユーザーを割り当てる	44
4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する	46
4.1 Google アカウントを登録する	47
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	47
4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	57
4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	60
4.2 ユーザーを作成する	67
4.3 afw 識別子でキットティングする	69
4.4 端末にユーザーを割り当てる	78
4.5 Google Workspace アカウントを併用する	80
4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する.....	80
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する.....	84
4.5.3 アカウントの追加を禁止する	87


5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う	88
5.1 トークンを発行する	89
5.2 Google Workspace アカウントを登録する	95
5.3 ユーザーを作成する	98
5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	100
5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	102
6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	111
6.1 Google アカウントを登録する	112
6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	112
6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	122
6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	125
6.2 Google API の認証設定を行う	132
6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	132
6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする	135
6.2.3 利用規約に同意する	136
6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	138
6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	151
6.3 ユーザーを作成する	156
6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする	158
6.5 端末にユーザーを割り当てる	167
6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	169
7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	170
7.1 トークンを発行する	171
7.2 Google Workspace アカウントを登録する	177
7.3 Google API の認証設定を行う	180
7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	180
7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする	183
7.3.3 利用規約に同意する	184
7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	186
7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	199
7.4 ユーザーを作成する	204
7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	206
7.5 ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	208
7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	219
8 その他のキッティング方法	220
8.1 QR コードでキッティングする	221
8.1.1 QR コードを表示する	221
8.1.2 QR コードを端末に読み込む	222


9 Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する	230
9.1 Google アカウントを削除する	231
9.2 Google アカウントを再登録する	234
9.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合	234
9.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合	237
9.3 Google Workspace アカウントを削除する	240

1 Android クライアントについて

1.1 概要


本製品は、専門の知識を必要とせず、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末にアプリ「Optimal Biz エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。


 管理サイトの操作については、以下を参照してください。


 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー


本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。




- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的な下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。

 『Android エージェント対応端末表』

サポート対象	<ul style="list-style-type: none"> ● Android 14：最新対応 OS ● Android 13：1 世代前 ● Android 12：2 世代前 ● Android 11：3 世代前  Android 10 のサポートは終了しました。お問い合わせには 2024 年 10 月 14 日まで可能な限り対応します。
--------	--

1.3 動作環境

 エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。

対象 OS	Android 11 以上  従来版エージェントのサポートは終了しました。  詳細については以下を参照してください。  『Android エージェント対応端末表』
本体メモリ	200MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート）ができること。

2 キットイング方法を選択する

利用している端末、および Google Workspace アカウント利用の有無によりキットイング方法が異なります。以下を参照して、適切なキットイング方法を選択してください。





- キットイングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
-

2.1 各キットティング方法の概要


エージェントのキットティングには、以下の 6 種類の方法があります。各方法の特徴については、下の表を参照してください。


- afw 識別子
- afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)
- Google Workspace アカウント
- ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用)
- ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
- QR コード





 キットティング方法によっては、途中で別の方法に変更できません。キットティングを始める前に下の表を確認のうえ、適切な方法を慎重に選択してください。

 キットティング方法は限らず Android Enterprise を利用の場合は、1 ユーザーが所有できる機器は 10 台までです。1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけないでください。

1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけると、端末に配信した Google アカウントが無効になります。アカウントで利用している Google Play ストアの閲覧やアプリのインストールができなくなります。

 キットティングが完了して端末にプリインストールアプリがインストールされていない場合は、Android Enterprise でアプリを配信するか、Google Play ストアから手動でインストールしてください。Android Enterprise でのアプリ配信の詳細は、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』



キットティング方法	説明
afw 識別子	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、afw 識別子「afw#biz3」を入力します。事前の設定が少ない最も標準的なキットティング方法です。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」12 ページ</p> <p> Google Workspace を契約している場合は、この方法を選択せず、必ず以下のいずれかの方法でキットティングしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Google Workspace アカウント • ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)	<p>afw 識別子でキットティングを行い、Google Workspace アカウントを追加します。Google アカウントと Google Workspace アカウントを併用して利用することができます。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する」46 ページ</p>
Google Workspace アカウント	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、Google Workspace アカウントを入力します。利用中の Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行う方法です。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 • 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う」88 ページ</p>

キットティング方法	説明
ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用)	<p>ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p>🔗 「Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 111 ページ</p> <p>🔗 ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。</p> <p>🔗 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/</p> <p>🔗 モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。</p>
ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)	<p>ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 • Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 • 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p>🔗 「Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 170 ページ</p> <p>🔗 ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。</p> <p>🔗 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/</p> <p>🔗 モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。</p>
その他	<p>QR コード</p> <p>初期設定画面を 6 回タップして QR コードリーダーをインストール後、指定の QR コードを読み込みます。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p>🔗 「QR コードでキットティングする」 221 ページ</p>


3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウントが必要です。
 - 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
 -  「Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する」 230 ページ
 - 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 -  「Google アカウントを登録する」 13 ページ
-

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 -  『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」
-

3.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

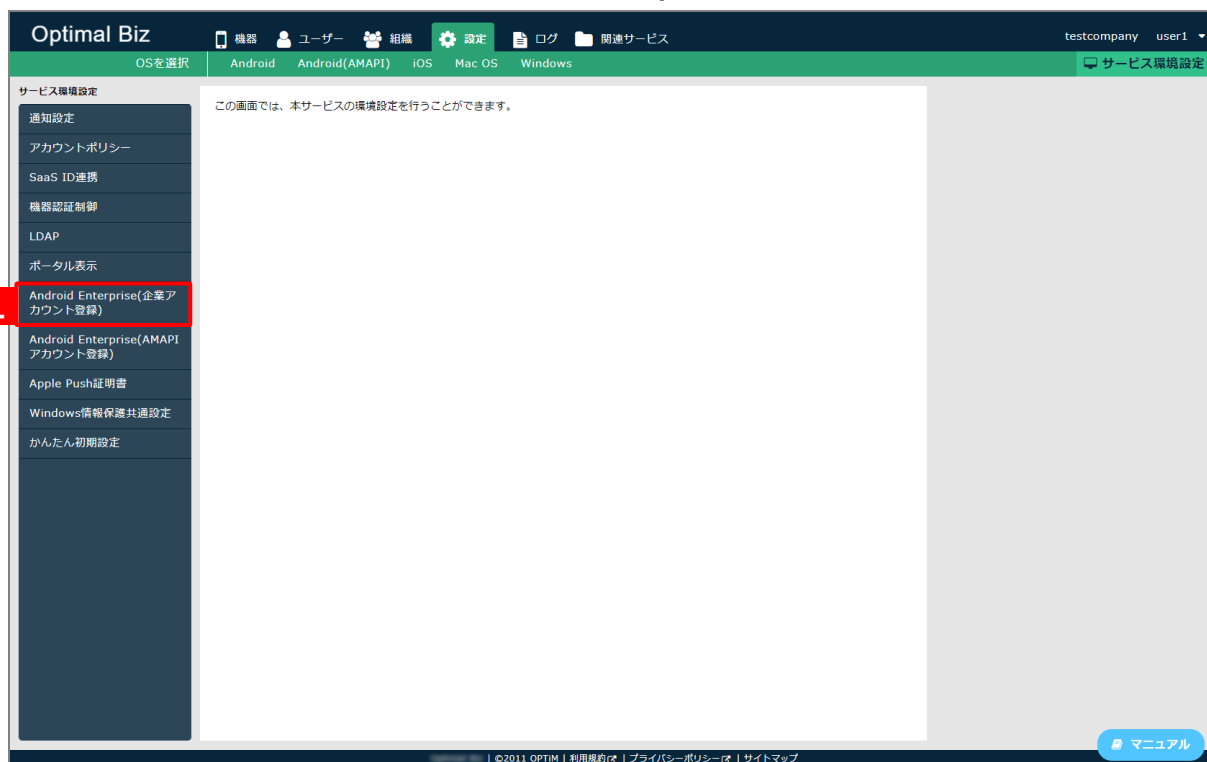
- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合
 - ☑ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。
- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合
 - ☑ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。
- Gmail のメールアドレスを登録する場合

3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ☑ Google が推奨する登録方法です。
- ☑ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- ✎ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者向けオプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
 Googleアカウント Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

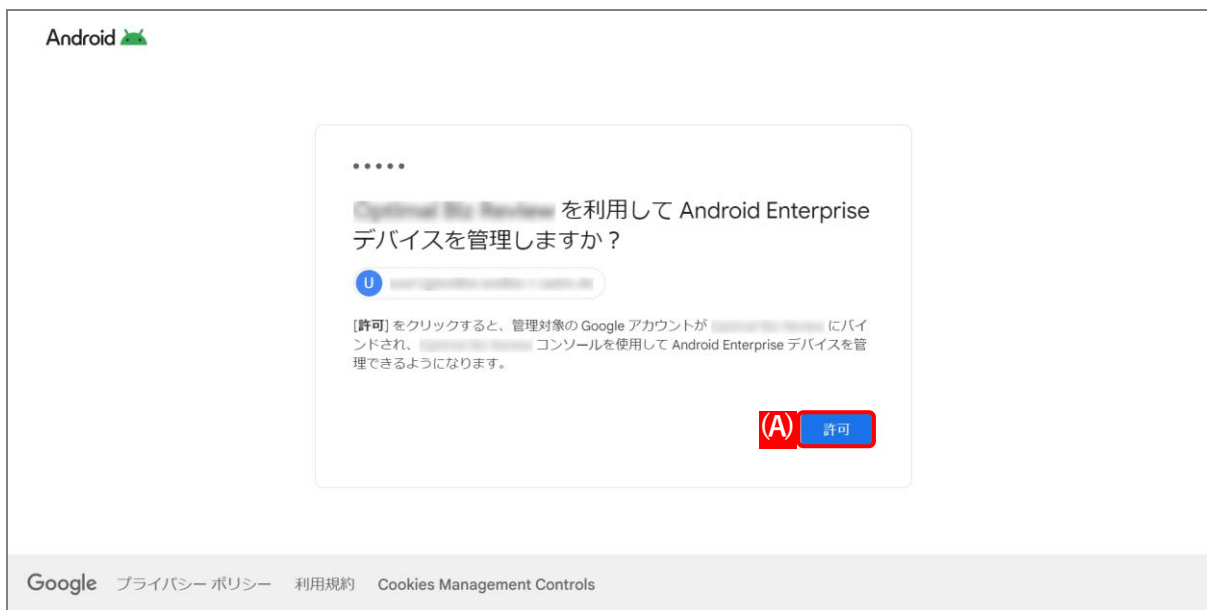
Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- ✂
 すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
 企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ✂
 ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
 (A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒情報登録画面が表示されます。

**[6]** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**[7]** [続行] をクリックします。

✍️名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。




【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

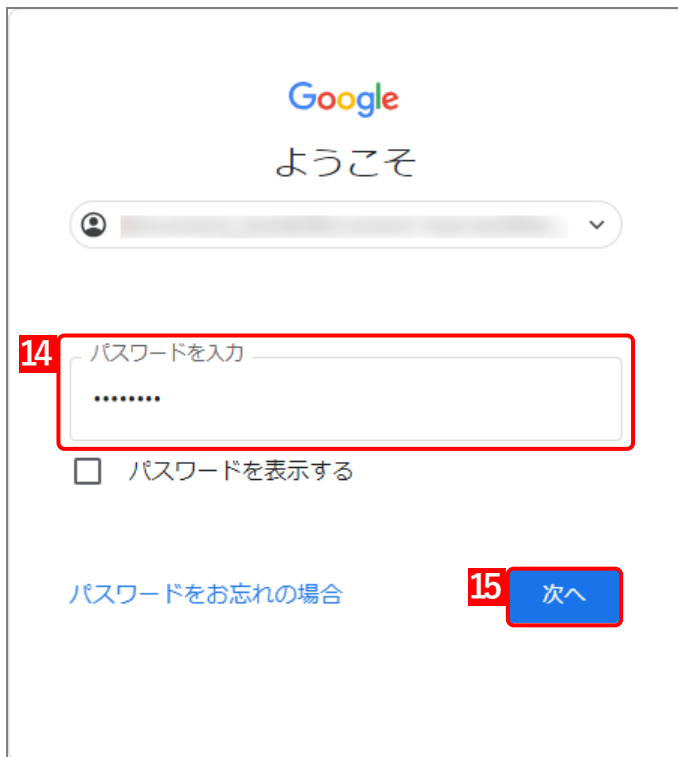
【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。


【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。




The screenshot shows the Google login interface. At the top, the Google logo and the text 'ようこそ' (Welcome) are displayed. Below this is a search bar with a profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. A red box labeled '14' highlights the password input field, which contains a series of dots. Below the password field is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). At the bottom left, there is a link that says 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password). At the bottom right, there is a blue button labeled '15' with the text '次へ' (Next).

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本 ▼

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

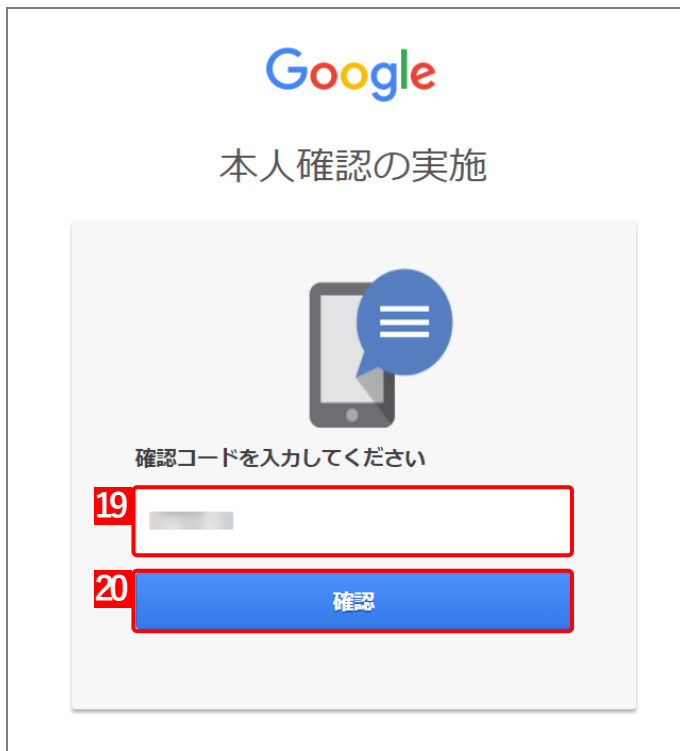
17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。



【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済の管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

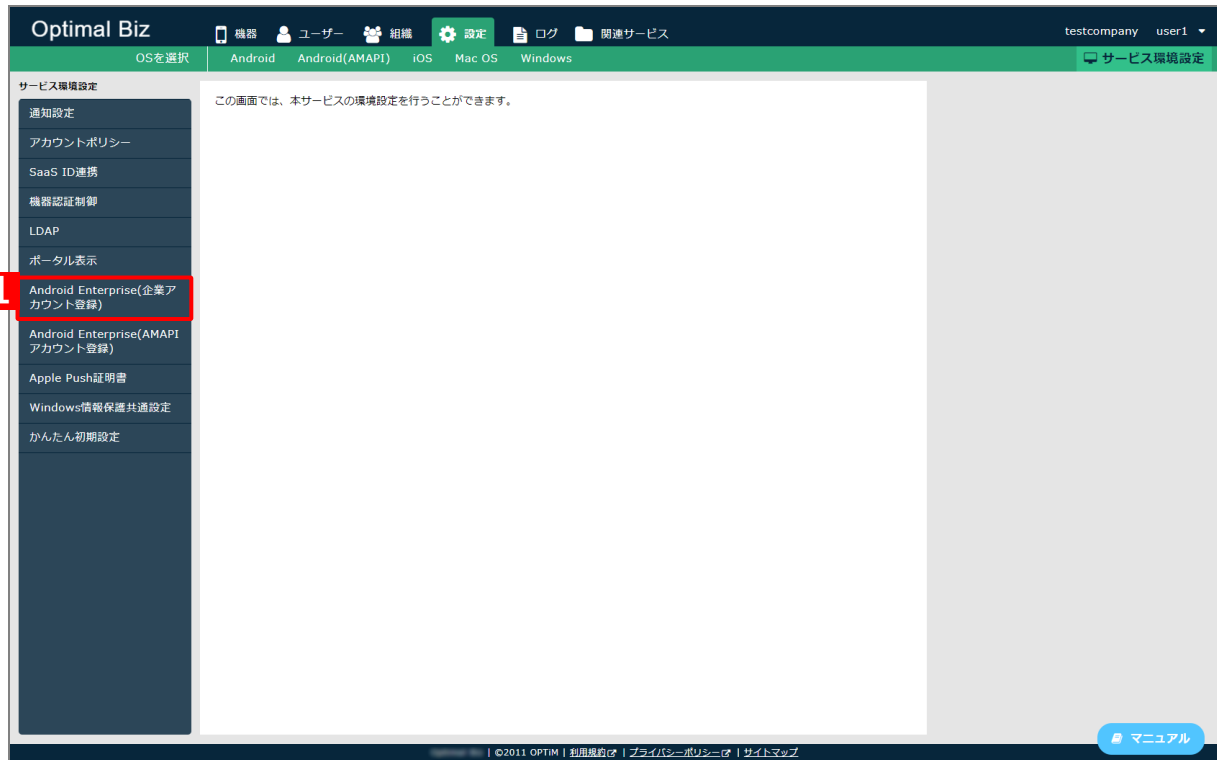
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



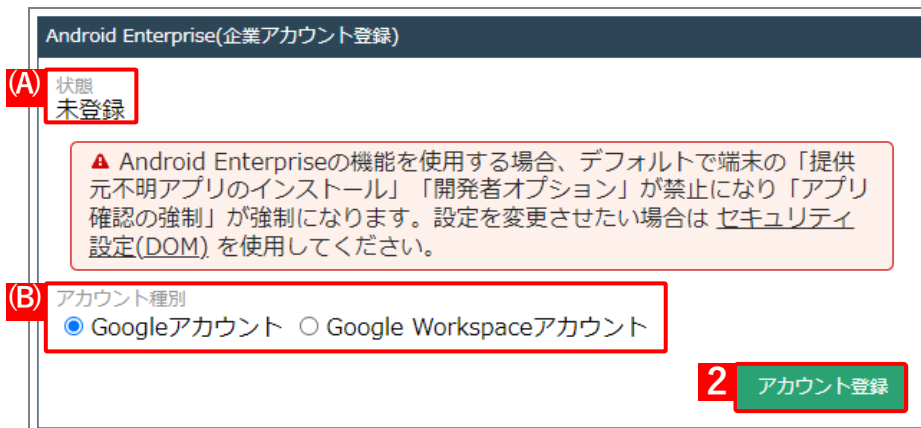
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。



[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。

お申し込みは簡単

は
Microsoft で管理されているようです。

既存の仕事用アカウントを Google 管理コンソールの
申し込みとログインにお使いいただけます

5 Microsoft でログイン

または、パスワードを使ってアカウントを作成

登録すると、Microsoft の認証情報を使用して Google アカウントが作成
されます。ご利用の Microsoft アカウントサービスには影響しません。
メールの管理と配信は引き続き Microsoft で行われます。このアカウント
は、ID を認証するシングルサインオンのためにのみ使用されます。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。

✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供
元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ
確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ
設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの
Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、
Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。
削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。
よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリッ
クしてください。

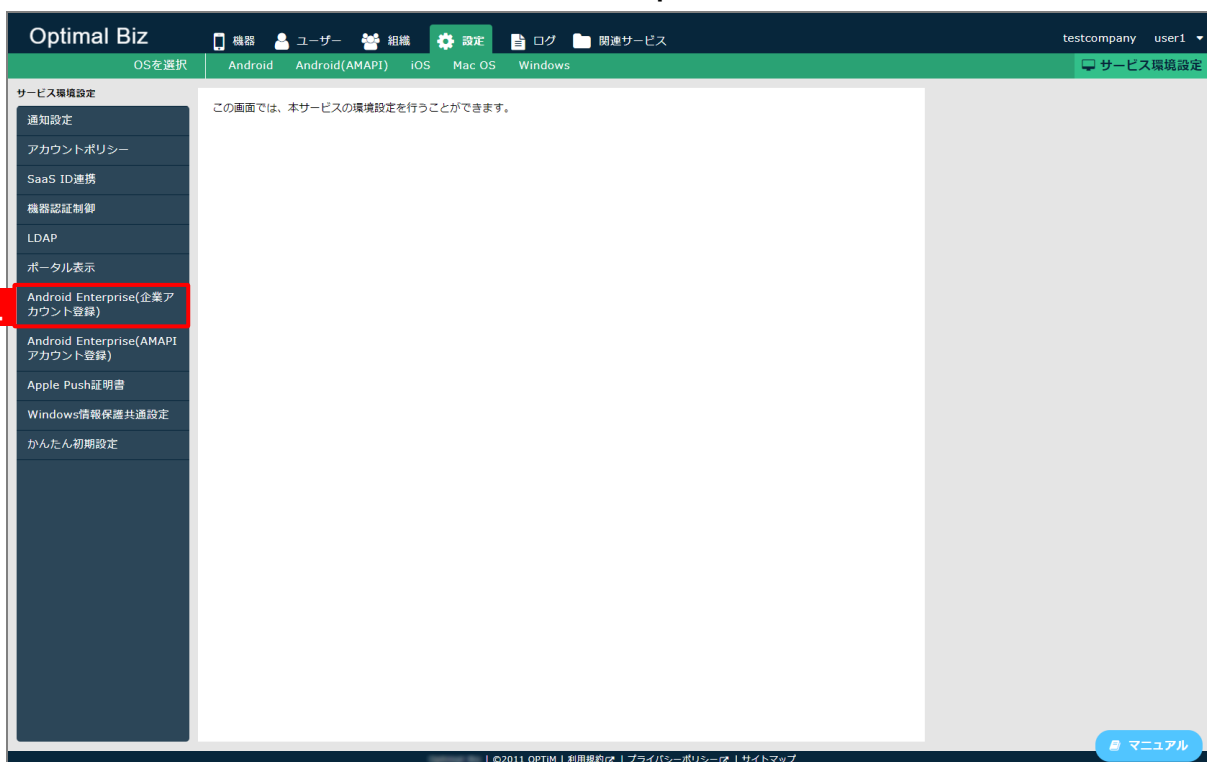
同意する

アカウント削除

3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



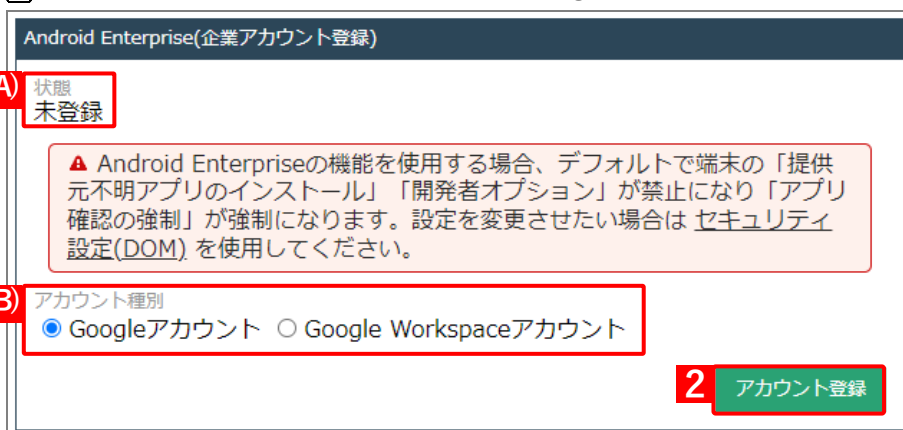
- 【2】** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

.....

.....@gmail.com
は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5 登録

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑️ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



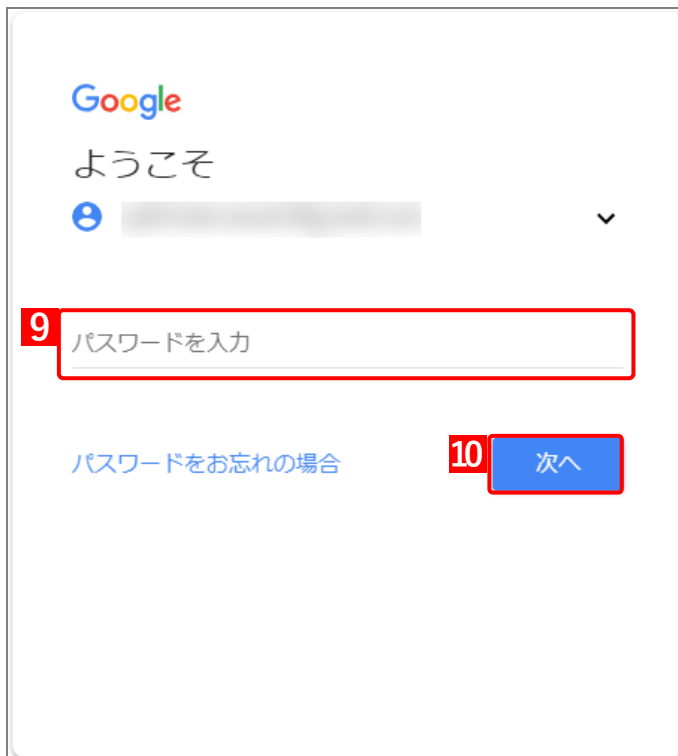
【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



【11】 [完了] をクリックします。



【12】 [スタートガイド] をクリックします。




【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。

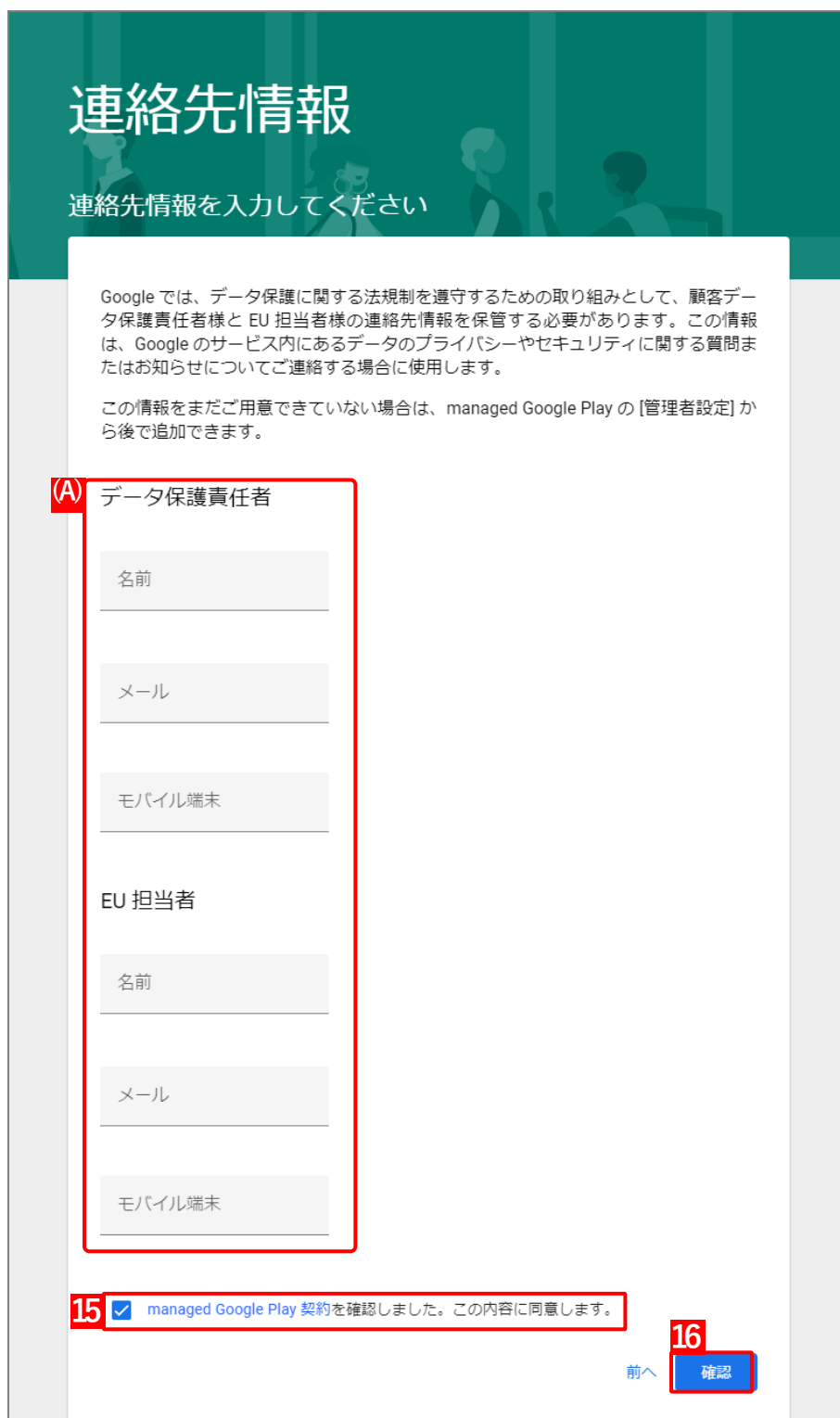


【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 **[確認]** をクリックします。

-  (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>



連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

16 確認

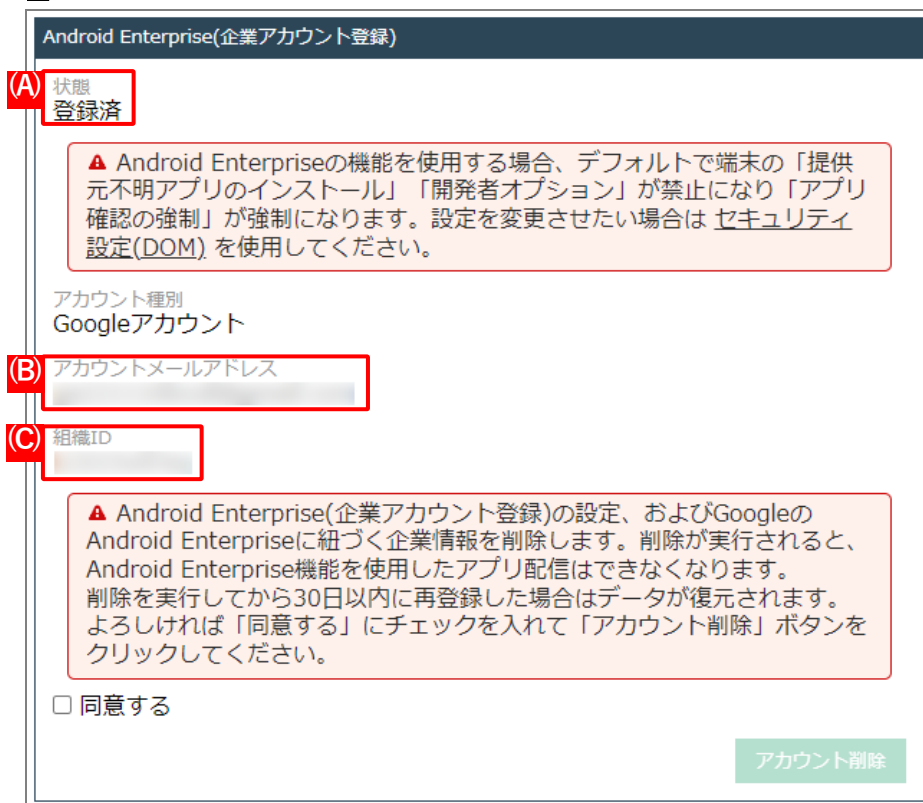
前へ

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



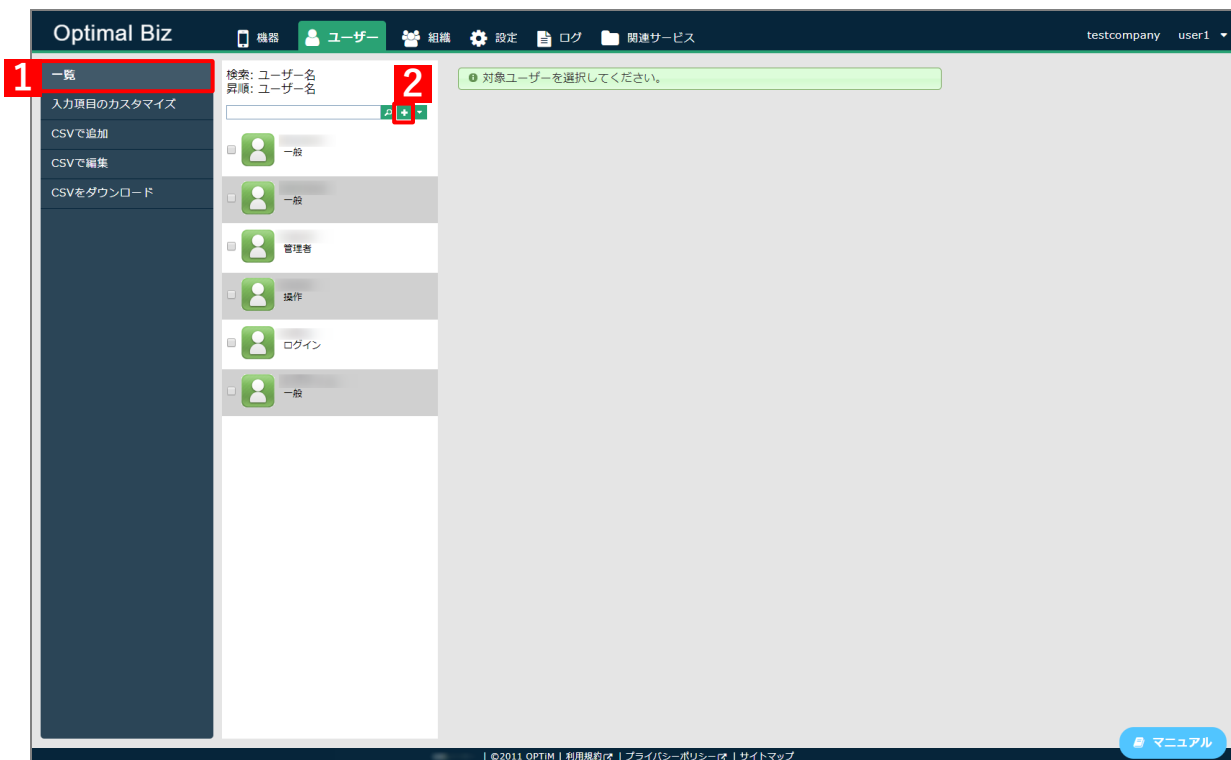
- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。




3.2 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。

3.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

🔗 SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【4】 [コピーしない] をタップします。

【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#biz3」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

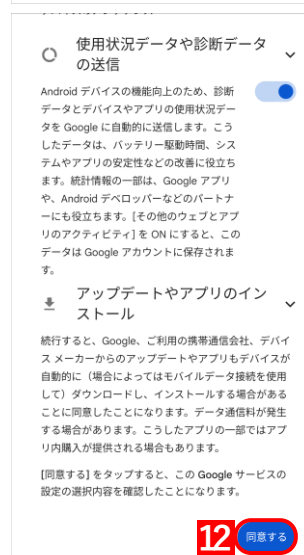


【11】 [もっと見る] をタップします。

- ✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



【12】 [同意する] をタップします。




【13】 [スキップ] をタップします。



【14】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。

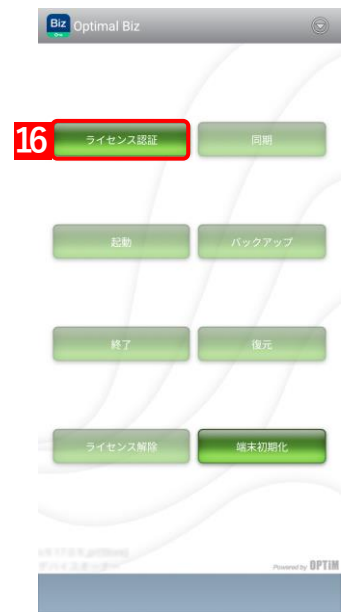


【15】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

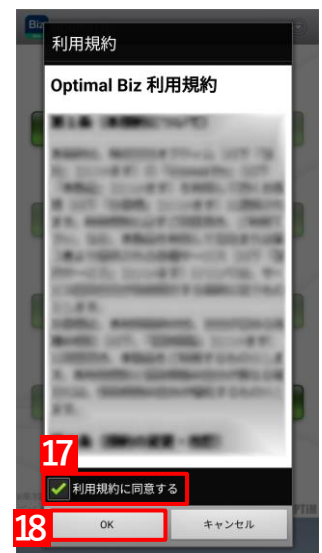


【16】 [ライセンス認証] をタップします。

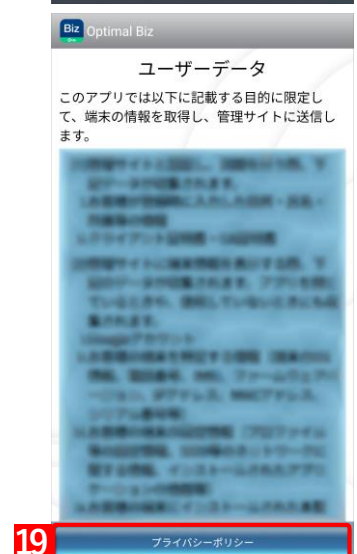


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



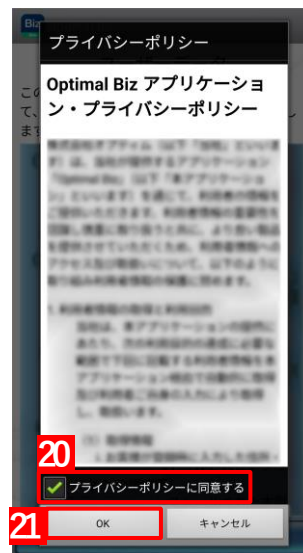
【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

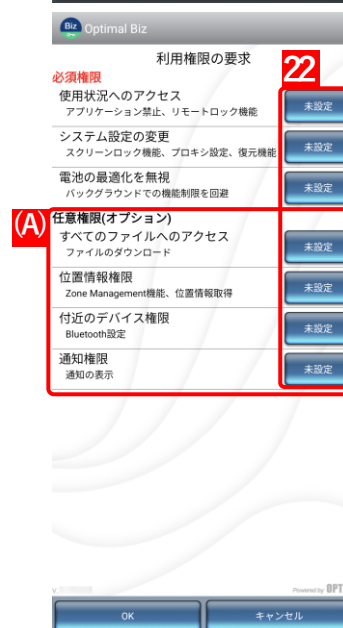
【21】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。



【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。



【23】 [OK] をタップします。



【24】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【25】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【26】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ☑ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【27】 必要事項を選択、入力します。**【28】 [次へ] をタップします。**

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

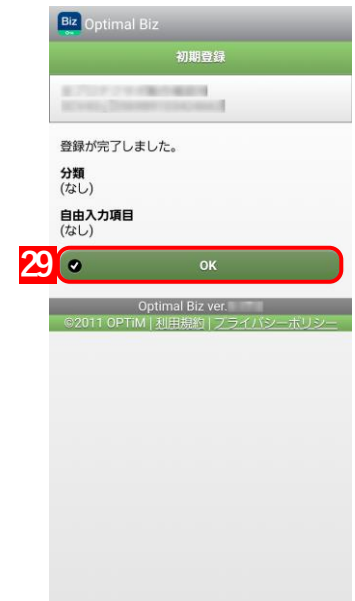
- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 [OK] をタップします。

⇒ キットिंगおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」 44 ページ



3.4 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

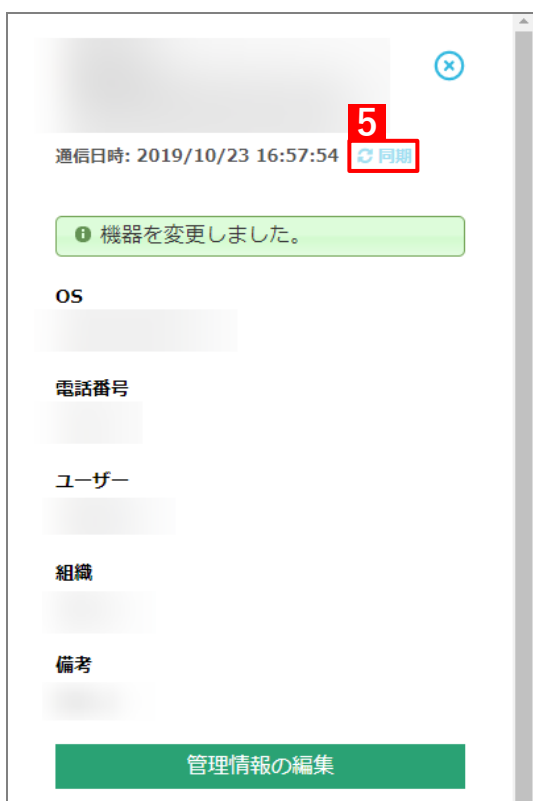
- 【1】** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】** [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the '機器' (Devices) management interface in Optimal Biz. The main area displays a table of devices. A red box labeled '1' highlights a specific device row. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit management information) button.

- 【3】** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- 【4】** [保存] をクリックします。

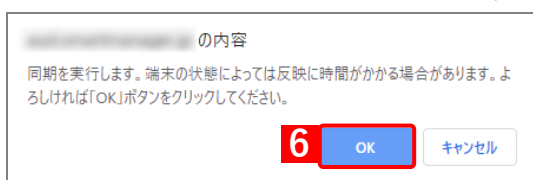
The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form for a device. The form includes fields for device name, user selection, and organization selection. A red box labeled '3' highlights the user selection dropdown menu. At the bottom, a red box labeled '4' highlights the '保存' (Save) button.

【5】 [同期] をクリックします。



【6】 [OK] をクリックします。

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

Google Workspace アカウントを併用して登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行ったあと、端末に Google Workspace アカウントを追加します。



注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウント、Google Workspace アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
[👉 「Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する」 230 ページ](#)
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
[👉 「Google アカウントを登録する」 47 ページ](#)



参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
[📖 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」](#)

4.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

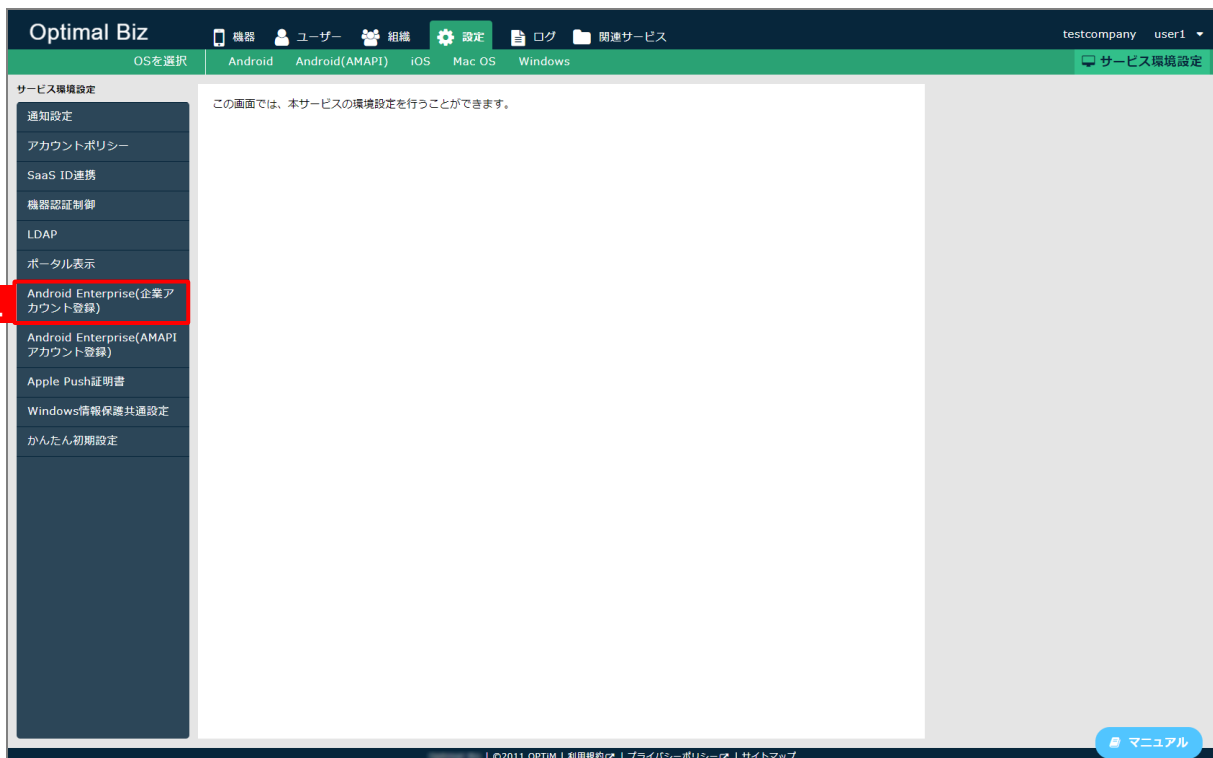
- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合
 - ☑ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。
- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合
 - ☑ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。
- Gmail のメールアドレスを登録する場合

4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ☑ Google が推奨する登録方法です。
- ☑ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者向けオプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
 Googleアカウント Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

[3] 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**[4] [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

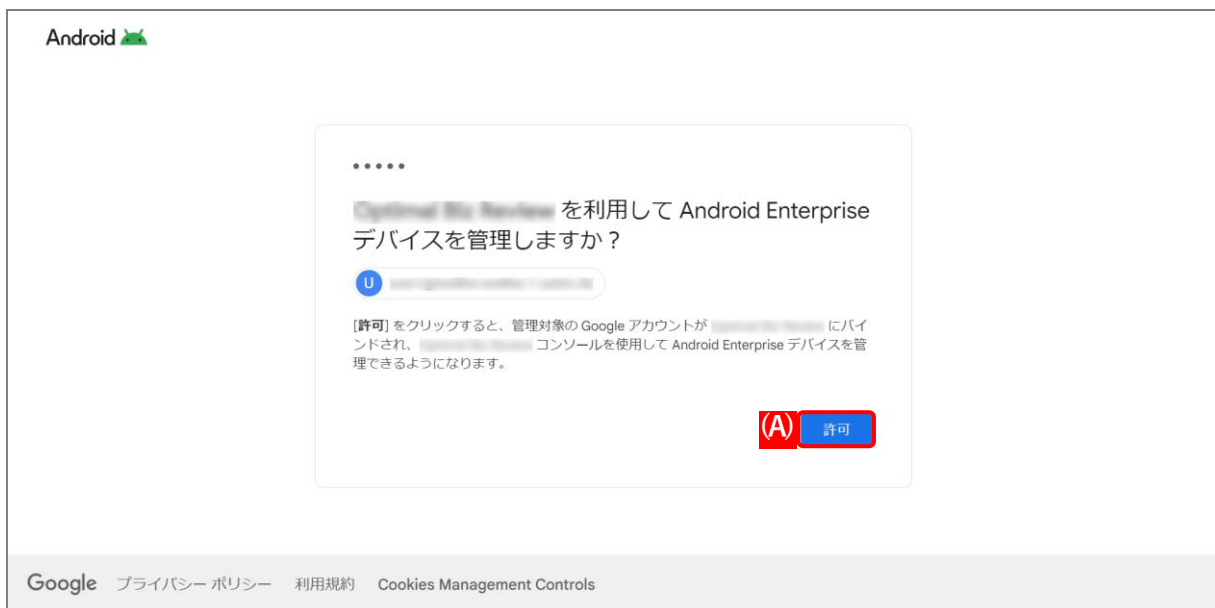
Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒情報登録画面が表示されます。

**[6] 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。****[7] [続行] をクリックします。**


✎名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。

Google
ようこそ


14 パスワードを入力
.....

パスワードを表示する

パスワードをお忘れの場合


15 次へ

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本 ▼

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。

Google

本人確認の実施

確認コードを入力してください

19

20 確認

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

Google

新しいアカウントへようこそ

新しいアカウント [redacted] へようこそ。このアカウントを使用してアクセスできる Google Workspace サービスは、[redacted] の管理者によって設定されます。

管理者が管理するサービス（Google Workspace など）にアクセスする権限が組織から付与されている場合、これらのサービスの使用には組織の企業契約が適用されます。Google は、これらの規約に加えて、[Google Cloud のプライバシーに関するお知らせ](#)も公開しています。

このアカウント（[redacted]）にログイン中に、Google Workspace とその他の Google サービスを使用する場合、これらのサービスの使用には、[Google 利用規約](#)、[Google プライバシーポリシー](#)、各 Google サービスに固有の[利用規約](#)など、それぞれの規約が適用されます。これらの規約に同意しない場合、または Google がこのような方法でデータを取り扱うことを許可しない場合は、このアカウント（[redacted]）でその他の Google サービスを使用しないでください。プライバシー設定は、[myaccount.google.com](#) でカスタマイズすることもできます。

21 理解しました

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

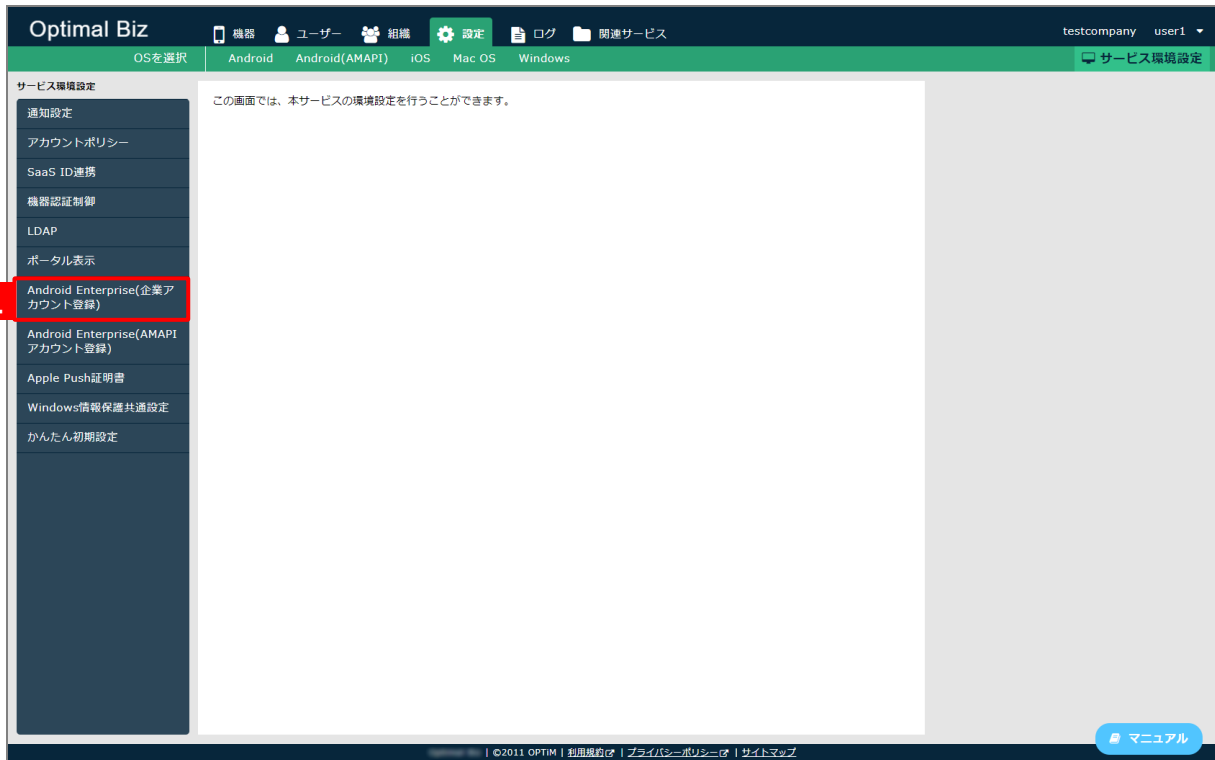
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者向けオプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
 Googleアカウント Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。

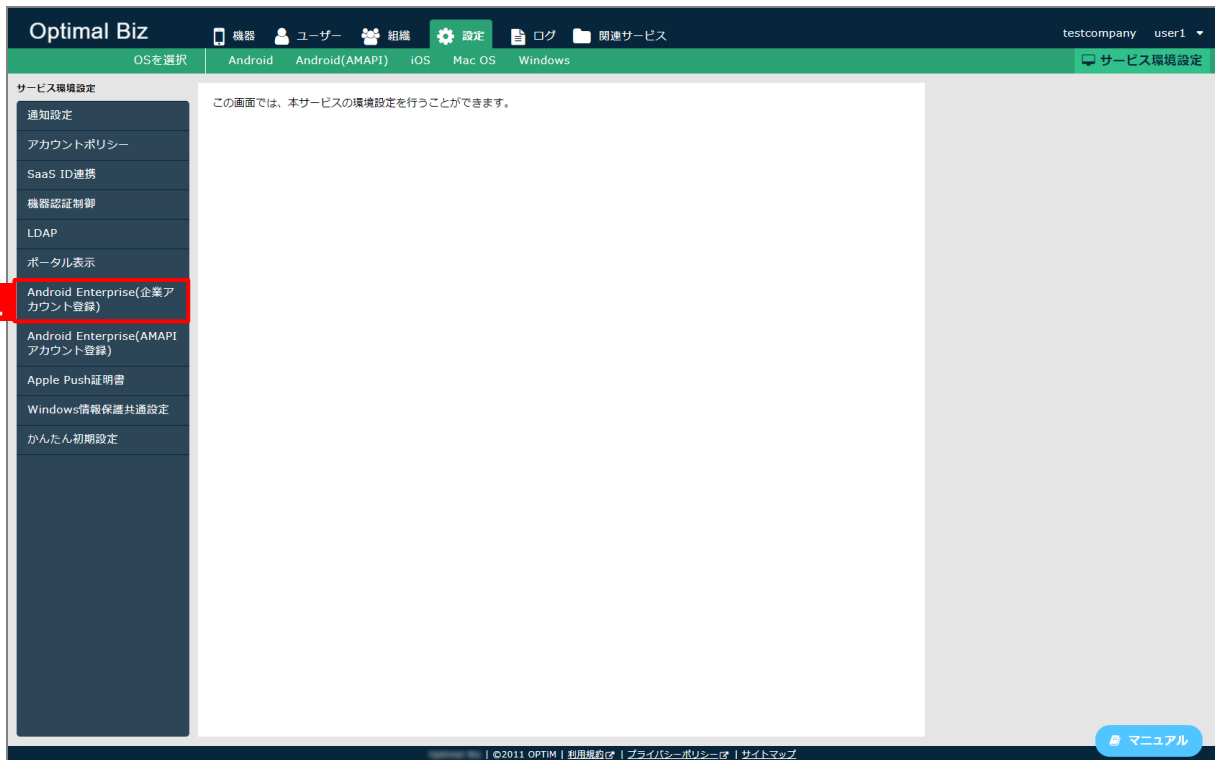
⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



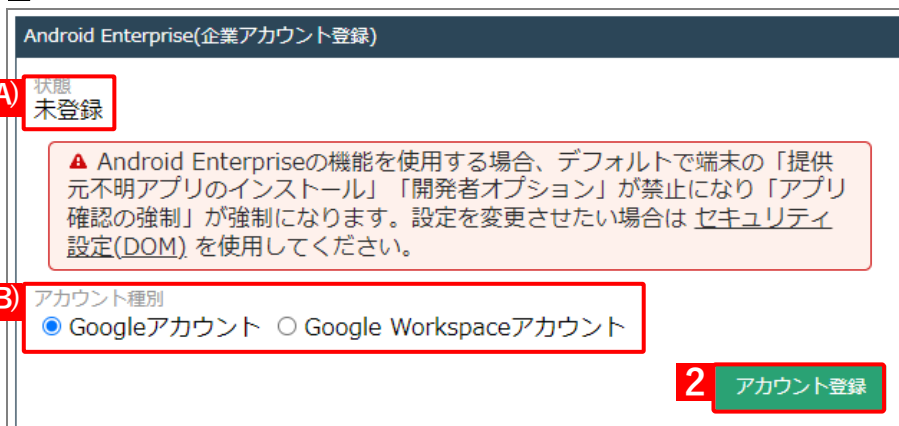
- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

 @gmail.com
 は個人のメールアドレス
 のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

[仕事用メールアドレスで再試行](#)



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

[新規ドメインを購入する](#)



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウント エンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5 登録

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑️ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



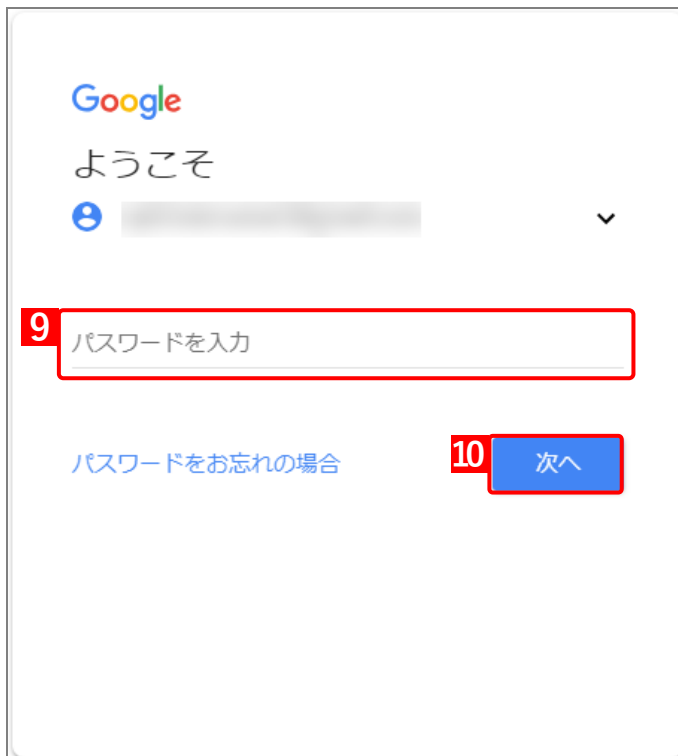
【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



【11】 [完了] をクリックします。



【12】 [スタートガイド] をクリックします。




【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

-  (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

前へ **16** 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

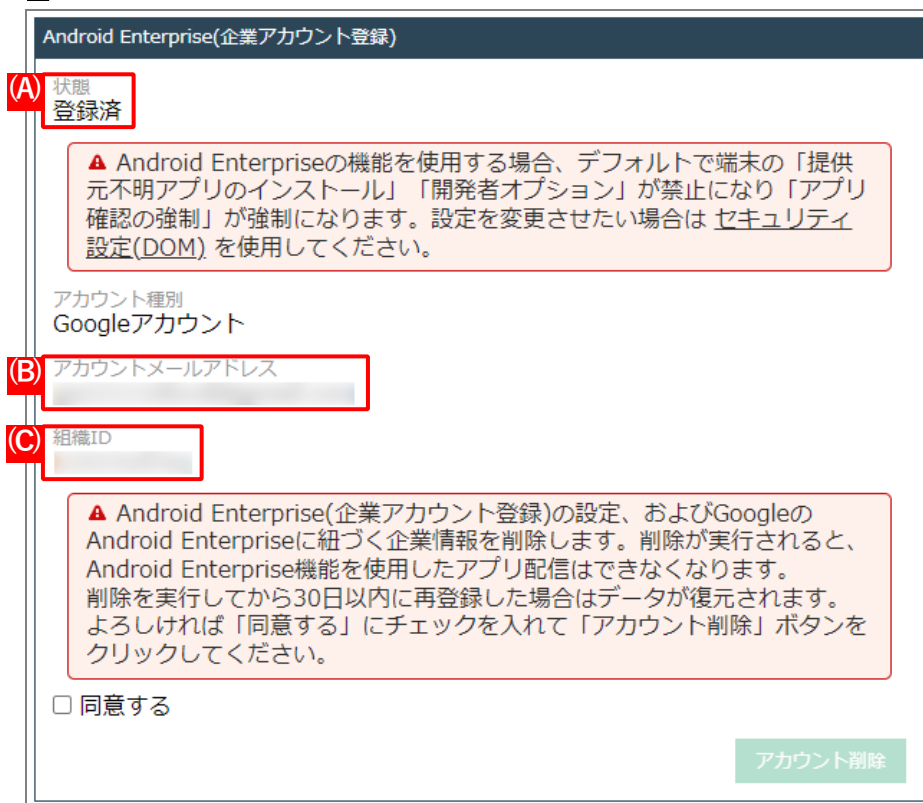
⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。

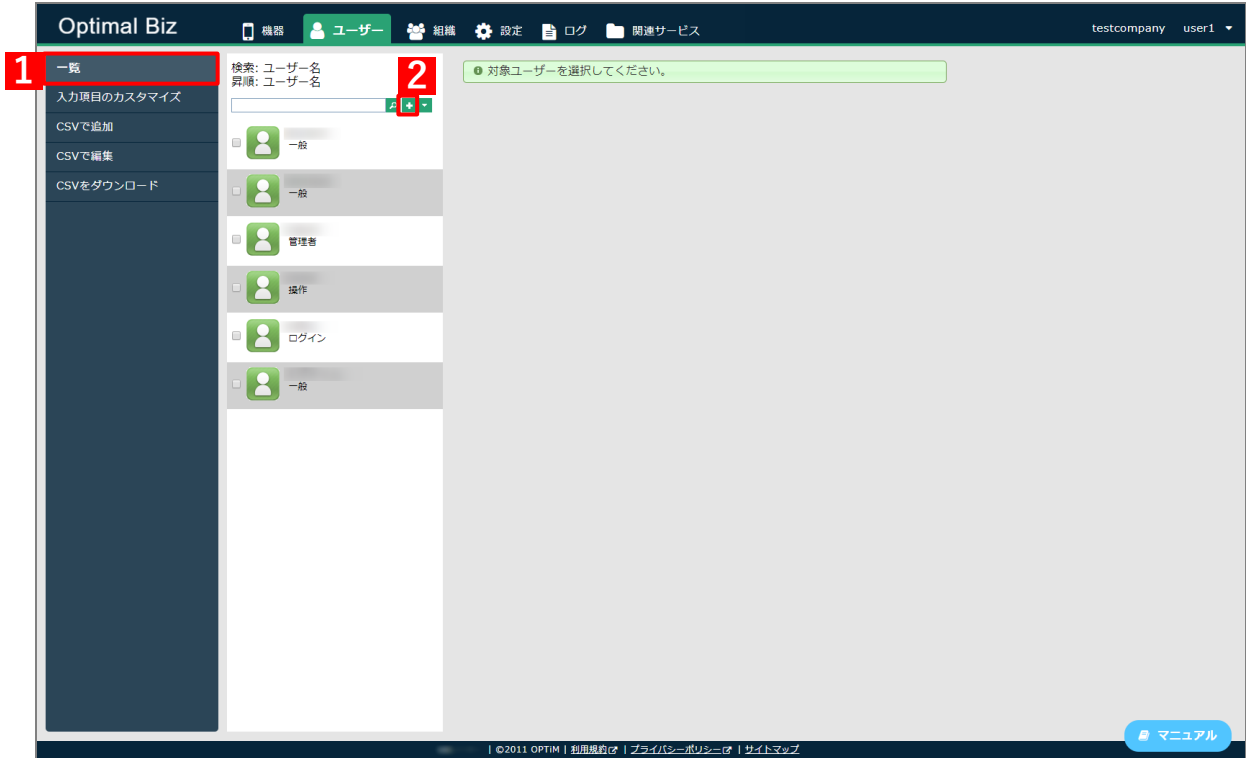
✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。




4.2 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



The screenshot displays the '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) form for a user. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Contains fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type) with radio buttons for '管理者' (Admin), '操作' (Operator), '閲覧者' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン' (Login), and '一般' (General), '組織' (Organization), '分類' (Classification) dropdown, and '機器認証制限' (Device Authentication Limit) with radio buttons for '制限なし' (No Limit), '制限あり' (Limit), and '認証禁止' (Prohibit Authentication).
- パスワード**: '現在のパスワード' (Current Password) field with a '編集' (Edit) button.
- 2段階認証**: '設定' (Settings) field with a '設定済み' (Settings Complete) status and a '設定削除' (Delete Settings) button.
- 機器**: '機器数' (Number of Devices) field showing '0'.
- SaaS ID連携**: 'Office 365' and 'Google Workspace' fields, both showing '(なし)' (None).

At the bottom of the form, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box and a '4' in a red square. The '名前' field is highlighted with a red box and a '3' in a red square.

4.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

🔗 SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【4】 [コピーしない] をタップします。

【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#biz3」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

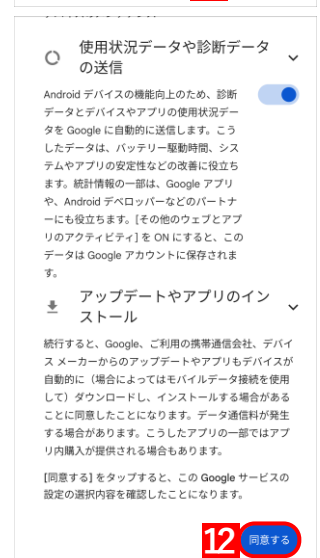


【11】 [もっと見る] をタップします。

- ✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



【12】 [同意する] をタップします。




【13】 [スキップ] をタップします。



【14】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【15】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

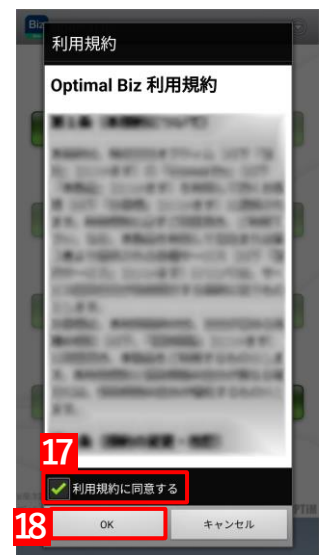


【16】 [ライセンス認証] をタップします。

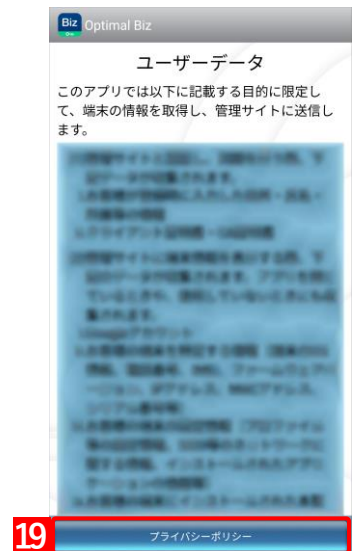


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【21】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

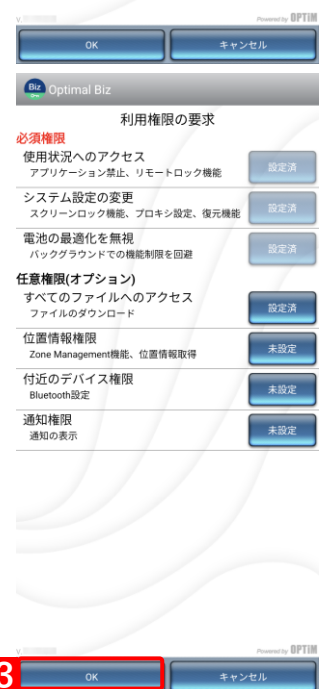


【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。



【23】 [OK] をタップします。



【24】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【25】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【26】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ☑ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【27】 必要事項を選択、入力します。**【28】 [次へ] をタップします。**

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



[29] [OK] をタップします。

⇒ キットिंगおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」 78 ページ



4.4 端末にユーザーを割り当てる

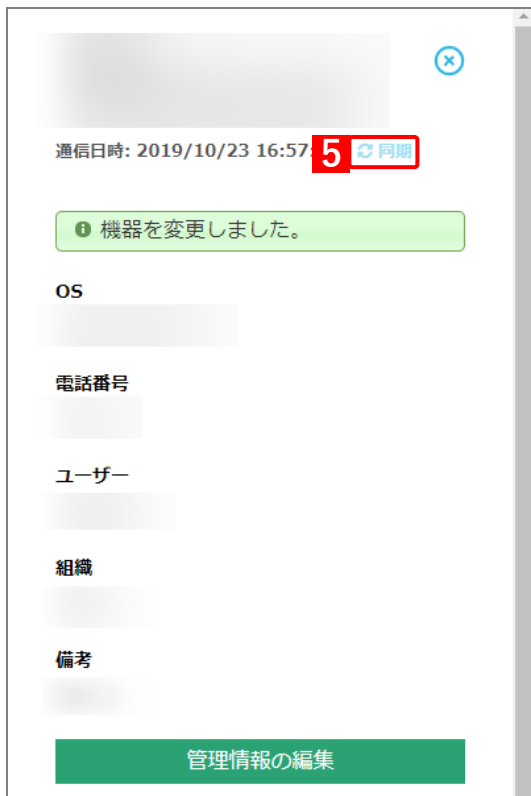
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [管理情報の編集] をクリックします。

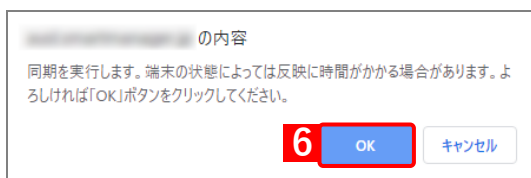
The screenshot shows the '機器' (Devices) management interface in Optimal Biz. The main area displays a table of devices. A red box labeled '1' highlights a specific device row. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

- 【3】 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- 【4】 [保存] をクリックします。

The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form. The '所属' (Affiliation) dropdown menu is open, and the 'ユーザー' (User) option is selected, highlighted by a red box labeled '3'. At the bottom of the form, the '保存' (Save) button is highlighted by a red box labeled '4'.

【5】 [同期] をクリックします。**【6】 [OK] をクリックします。**

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



4.5 Google Workspace アカウントを併用する

Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、端末にキッティング、ライセンス認証が完了したら、併用する Google Workspace アカウントを端末に追加します。

4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する

Google 管理コンソールで、Google Workspace アカウントを以下の設定にします。

● 端末管理機能の無効化

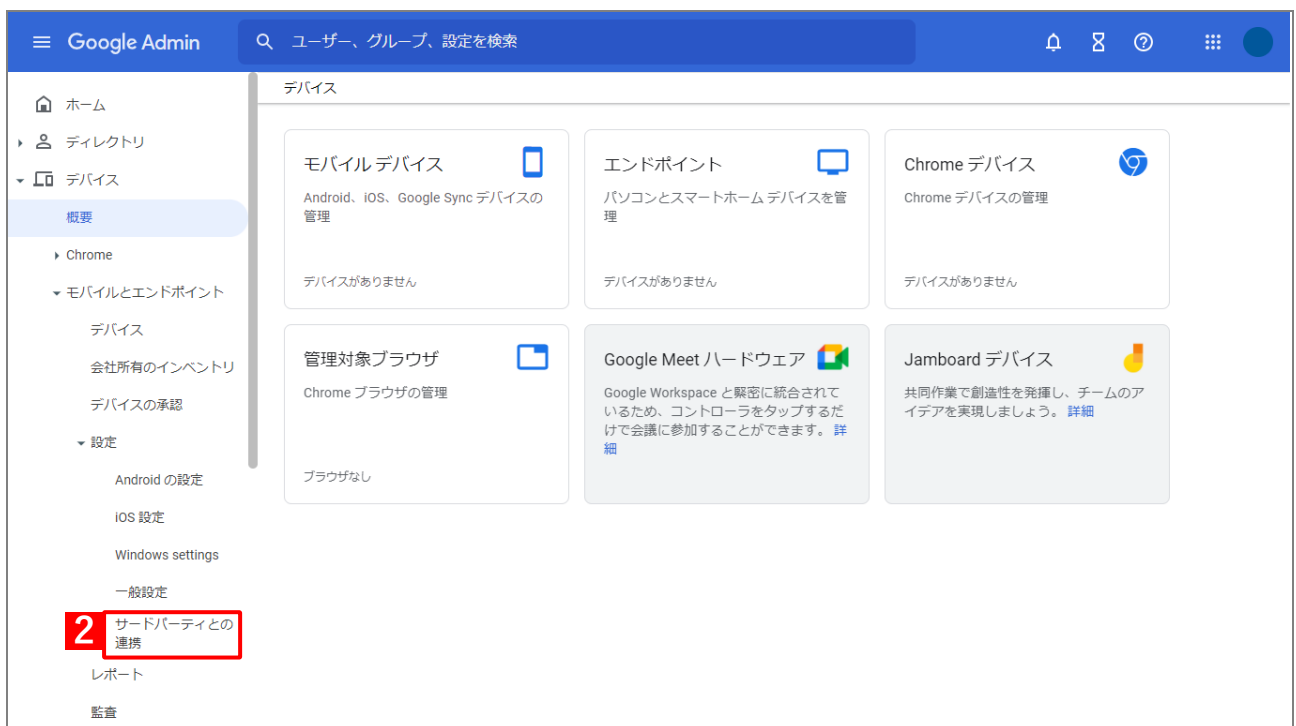
- ☑ 端末管理機能を有効にしていると、Google Workspace アカウントが使用できなくなったり、端末の初期化が必要になったりします。

● Google Play ストアの利用制限

- ☑ Google Play ストアの利用を制限していないと、業務に不要な Google Play ストア上のアプリをインストールできてしまいます。

[1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

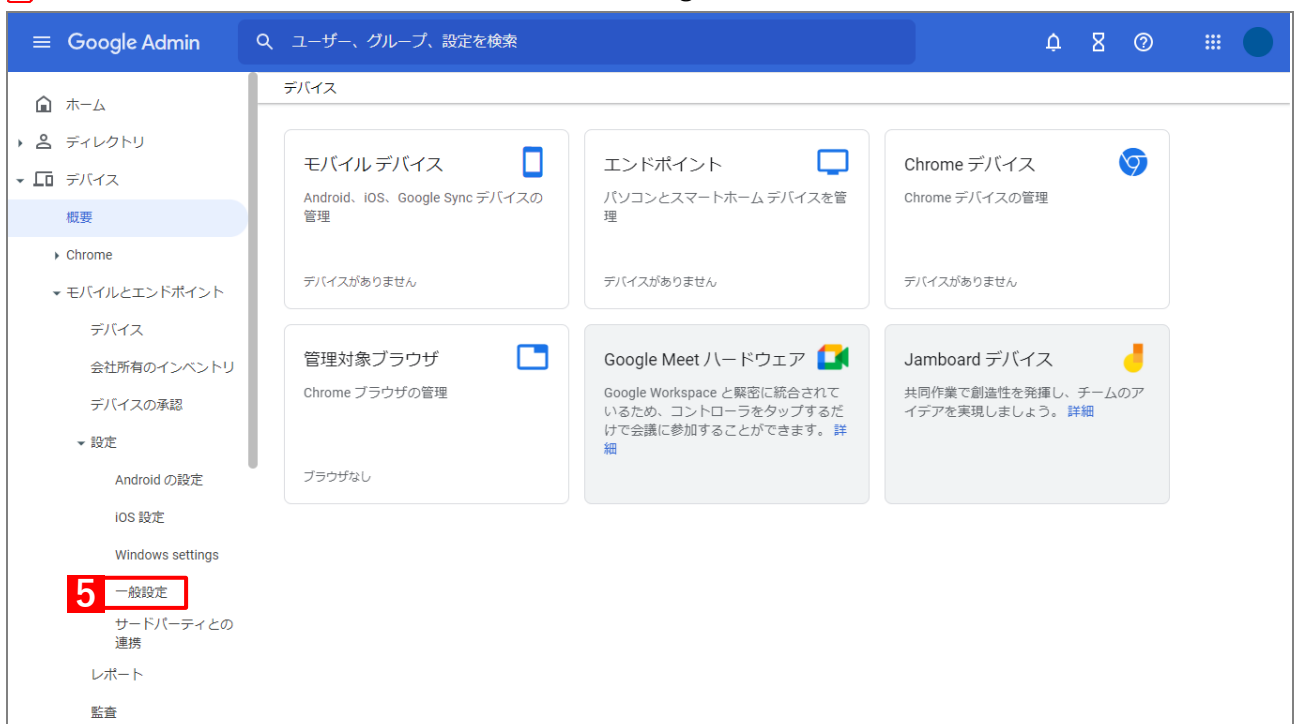
[2] [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



- 【3】 「Android EMM」 の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」 のチェックを外します。**
- 【4】 [保存] をクリックします。**



- 【5】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [一般設定] をクリックします。**
☑管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。



- 【6】 [全般] → [モバイル管理] をクリックします。**



【7】 「モバイル管理をオフにする（管理しない）」を選択します。

【8】 [保存] をクリックします。

モバイル管理
「
」で適用しました

ⓘ iOSの詳細管理を行うには、Apple プッシュ証明書を設定する必要があります。 [証明書を設定](#)

すべてのデバイスに基本管理または詳細管理を適用するか、[カスタム] を選択してデバイスプラットフォームごとに管理を適用できます。 [機能の比較](#)

標準（エージェント不要）
シンプルなパスワード管理を適用し、仕事用アカウントをワイプできます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。 [機能を表示](#)


詳細（Device Policy アプリ要）
パスワードの要件の適用、アプリの管理、デバイスのリモートワイプを行えます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。 [機能を表示](#)

カスタム
デバイスプラットフォームごとに基本管理または詳細管理を適用できます。

7 **モバイル管理をオフにする（管理しない）**
管理者はデバイスを管理できません。仕事用データにアクセスしているデバイスは確認できます。

キャンセル **8** [保存](#)

【9】 [アプリ] → [その他の Google サービス] をクリックします。

 管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。

【10】 対象の組織を選択します。

【11】 「Google Play」をクリックします。



Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

アプリ > その他の Google サービス

すべての組織部門で、追加サービスへのアクセス（個別のコントロールなし）が有効になっています [変更](#)

でアプリのステータスを表示しています [サービスを追加](#)

サービス ↑	サービスのステータス	操作
<input type="checkbox"/> Google Fi	オフ	
<input type="checkbox"/> Google My Maps	オン	
<input type="checkbox"/> Google Pay	オン	
<input type="checkbox"/> Google Play	オン	
<input type="checkbox"/> Google Play Console	オン	
<input type="checkbox"/> Google Play ブックスパートナーセンター	オン	
<input type="checkbox"/> Google Public Data	オン	
<input type="checkbox"/> Google Search Console	オン	

1 ページあたりの行数: 50

ページ 1 / 2

【12】 「サービスのステータス」の「オフ（すべてのユーザー）」を選択します。

【13】 [保存] をクリックします。



サービスのステータス

サービスのステータス

オン（すべてのユーザー）

オフ（すべてのユーザー）

 大部分の変更は数分で反映されます。 [詳細](#)

未保存の変更が 1 件あります [キャンセル](#) [保存](#)

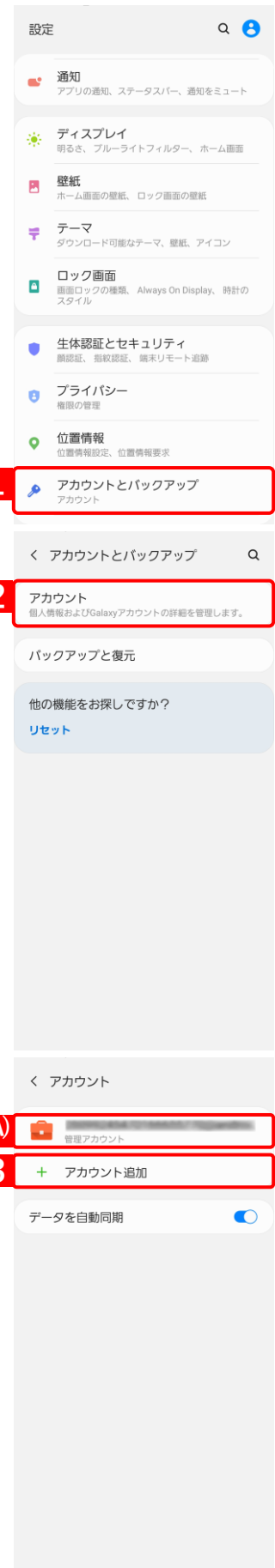
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する

端末の設定画面で、Google Workspace アカウントを追加します。

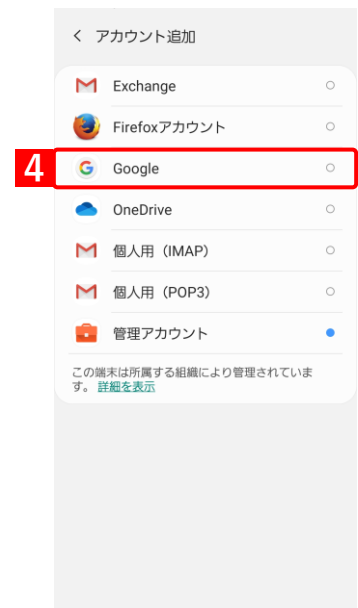
- 【1】** 端末の設定画面を表示して、[アカウントとバックアップ]をタップします。

- 【2】** [アカウント] をタップします。

- 【3】** [アカウント追加] をタップします。
✎ (A) Google アカウントが表示されています。



【4】 [Google] をタップします。



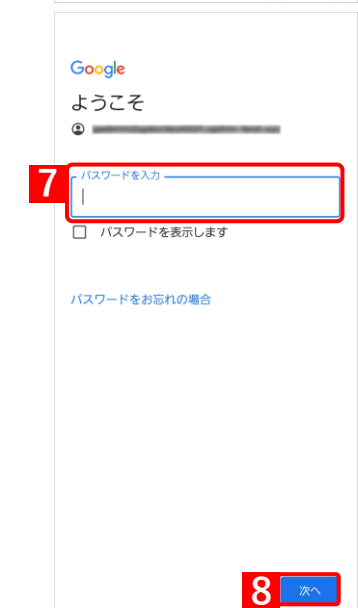
【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

【6】 [次へ] をタップします。

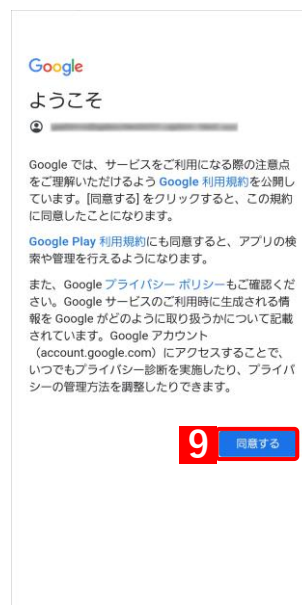


【7】 「パスワード」を入力します。

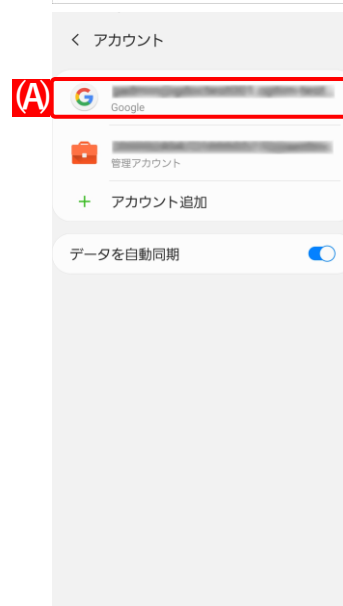
【8】 [次へ] をタップします。



[9] [同意する] をタップします。



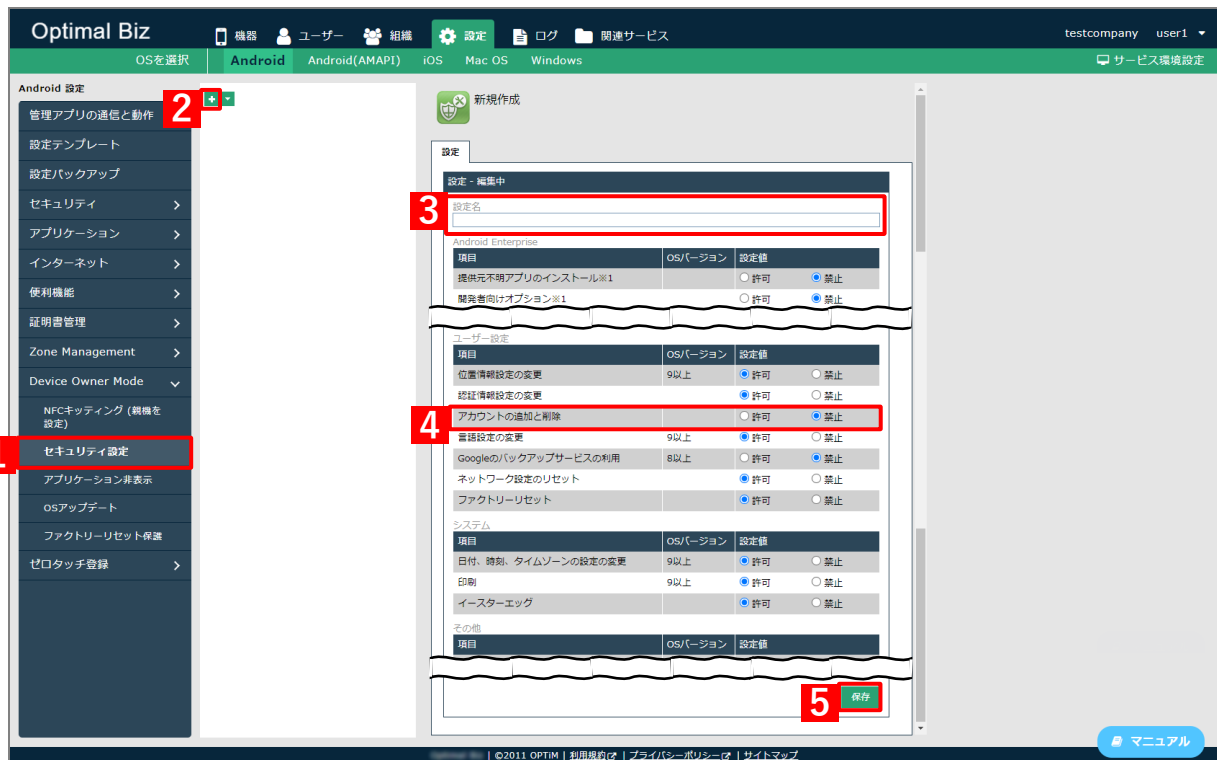
⇒ (A) Google Workspace アカウントが追加されました。





4.5.3 アカウントの追加を禁止する

Google Workspace アカウントを端末に追加したあと、私的利用のアカウントなどが追加できないように、管理サイトでアカウント追加を禁止する設定を行います。

- 【1】 [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [セキュリティ設定] をクリックします。
- 【2】 **+** をクリックし、作成画面を表示します。
 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- 【3】 設定名を入力します。
- 【4】 「アカウントの追加と削除」の [禁止] を選択します。
- 【5】 [保存] をクリックします。



- 【6】 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 →  → 「設定」の [設定の割り当て] → [セキュリティ設定(DOM)] から適用します。
 適用の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の設定」 - 「(設定 - Android) 設定の割り当て」

5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う


Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google Workspace アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。Google Workspace アカウントを連携設定として登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行い、トークンを発行してください。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google Workspace アカウントが必要です。
- Google との連携設定で Google Workspace アカウントを登録している場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL から Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。


 <https://play.google.com/work/termservice>

強制インストールの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」
－ 「アプリを強制インストールする」


- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」 89 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」 95 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

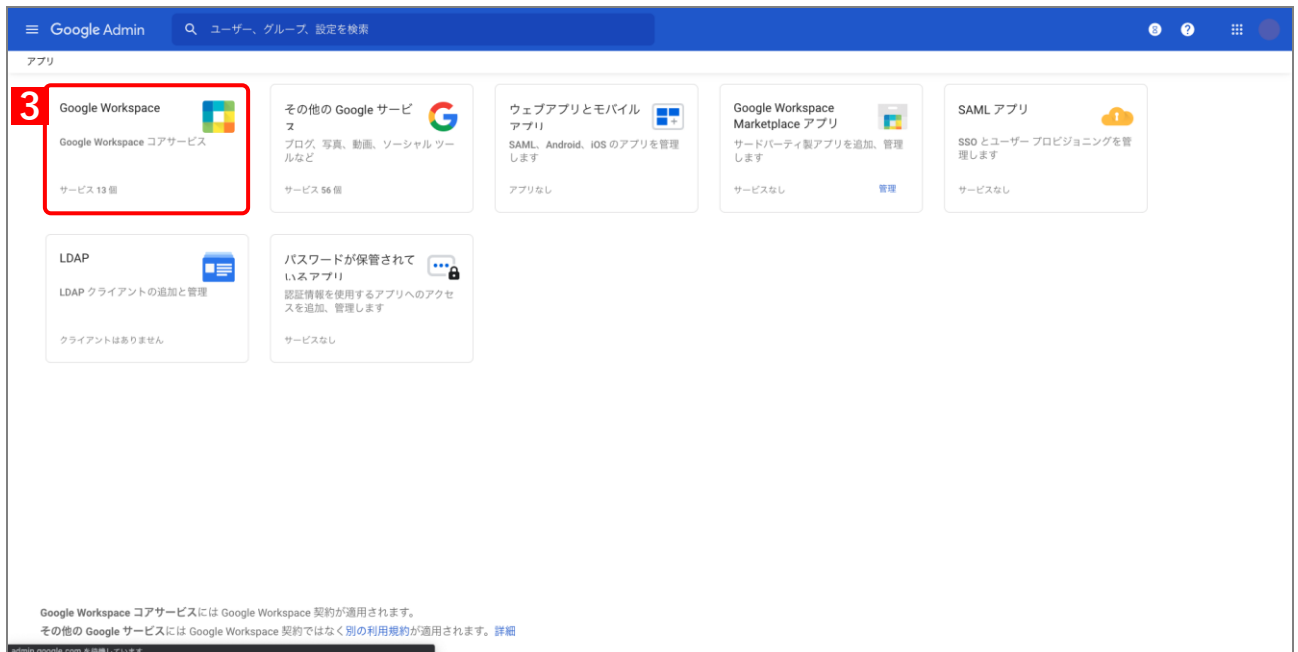
5.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

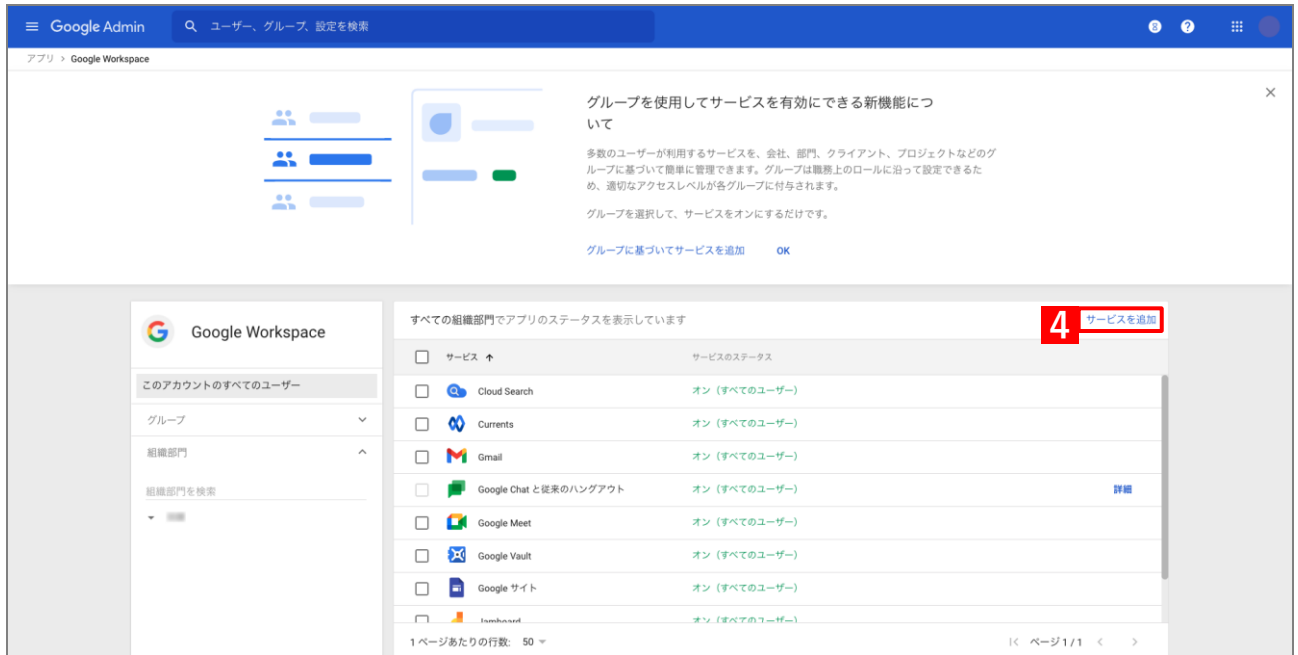
- [1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。**
- [2] [アプリ] をクリックします。**



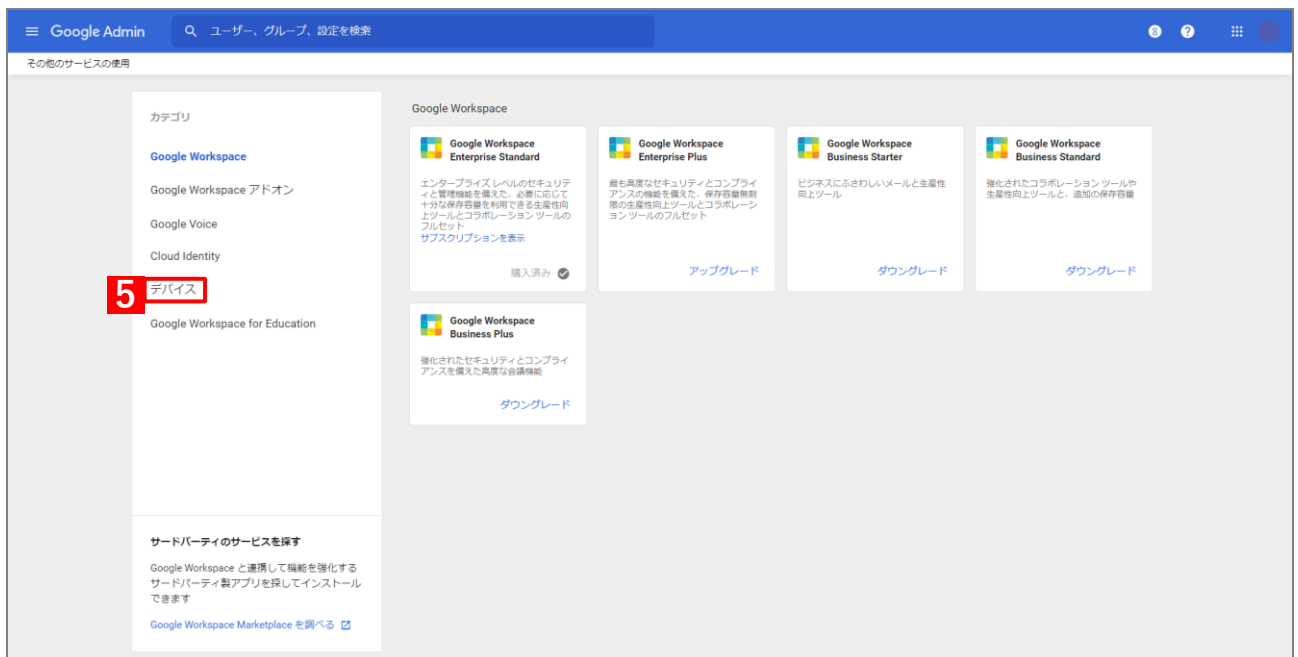
- [3] [Google Workspace] をクリックします。**




[4] [サービスを追加] をクリックします。

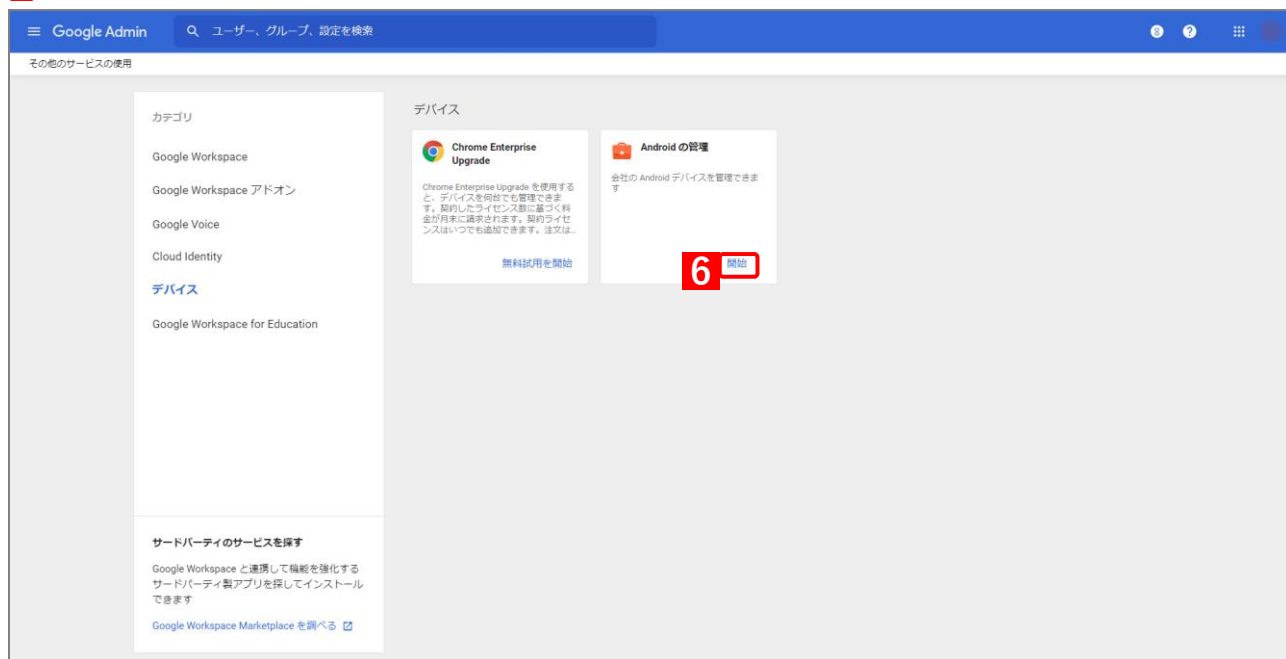


[5] [デバイス] をクリックします。

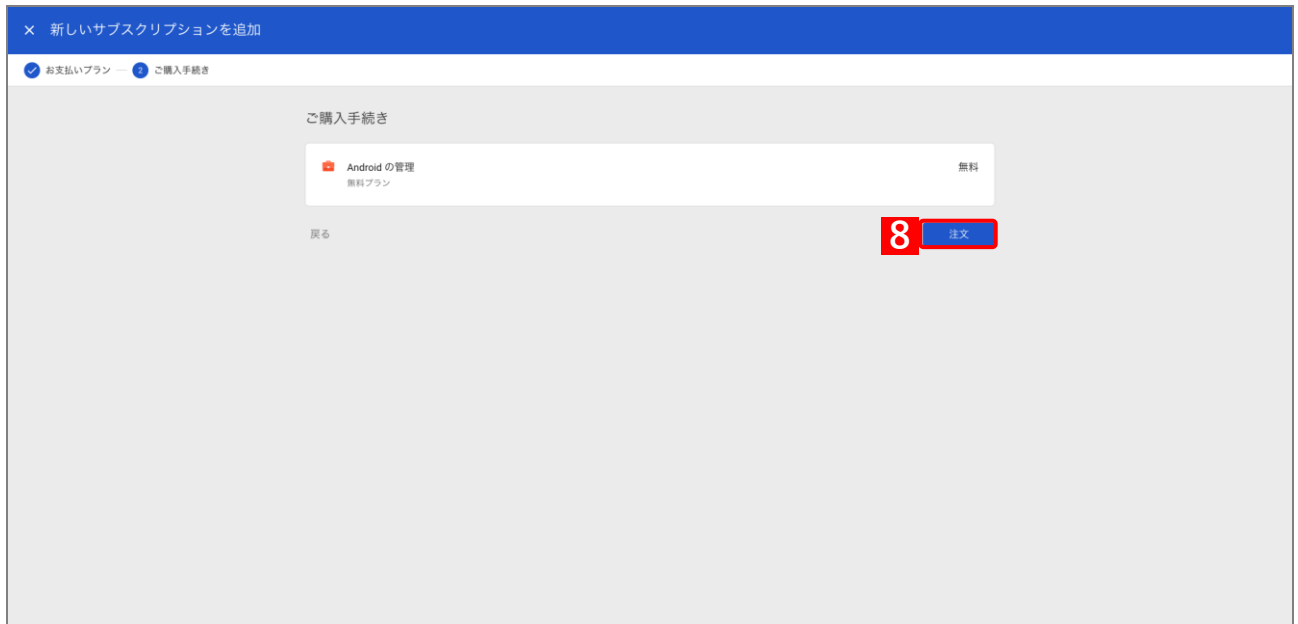


【6】 「Android の管理」 の 「開始」 をクリックします。

 本操作により、料金が発生することはありません。

**【7】 「ご購入手続き」 をクリックします。**

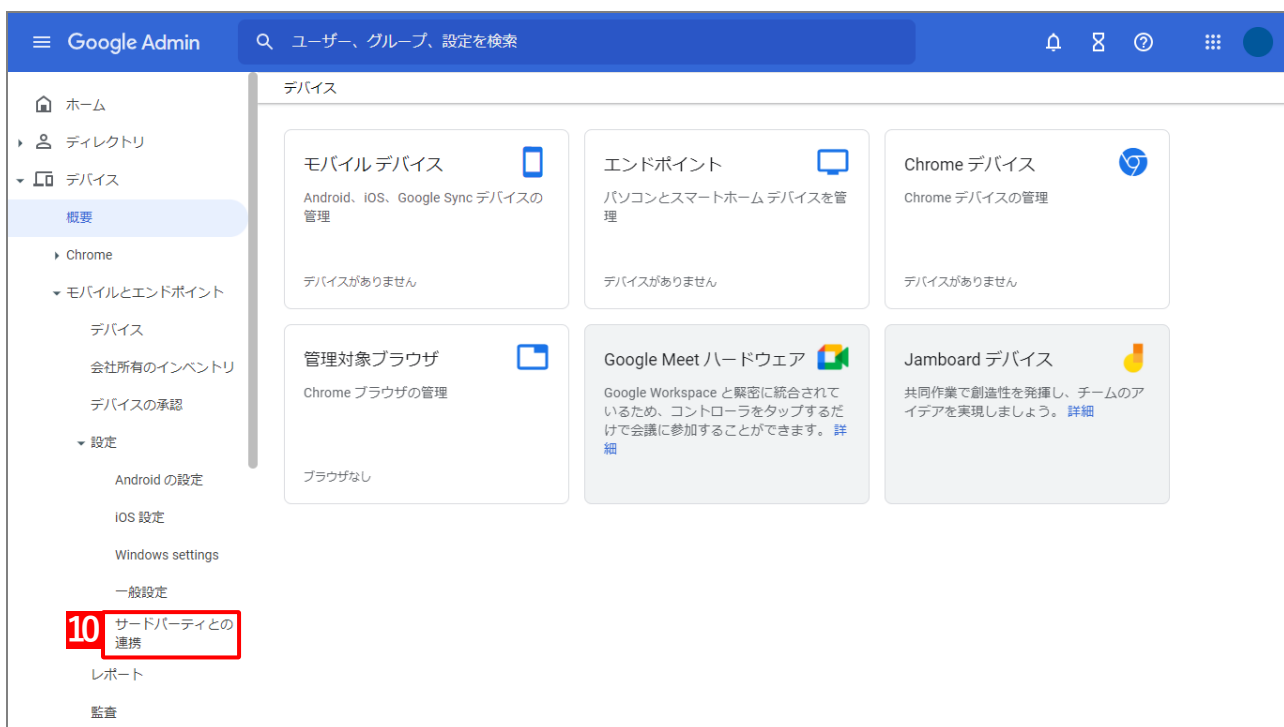
- [8]** [注文] をクリックします。
⇒管理コンソールが表示されます。



- [9]** [デバイス] をクリックします。



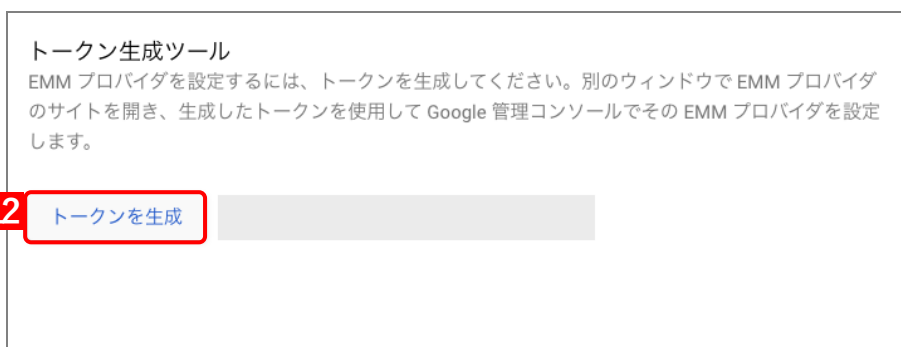
【10】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。


トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13** コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。**【15】 「保存」をクリックします。**

 「保存」をクリックすると、メッセージ画面が表示される場合があります。[×] でメッセージ画面を閉じてください。

Android EMM
「」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

14 サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM プロバイダの管理

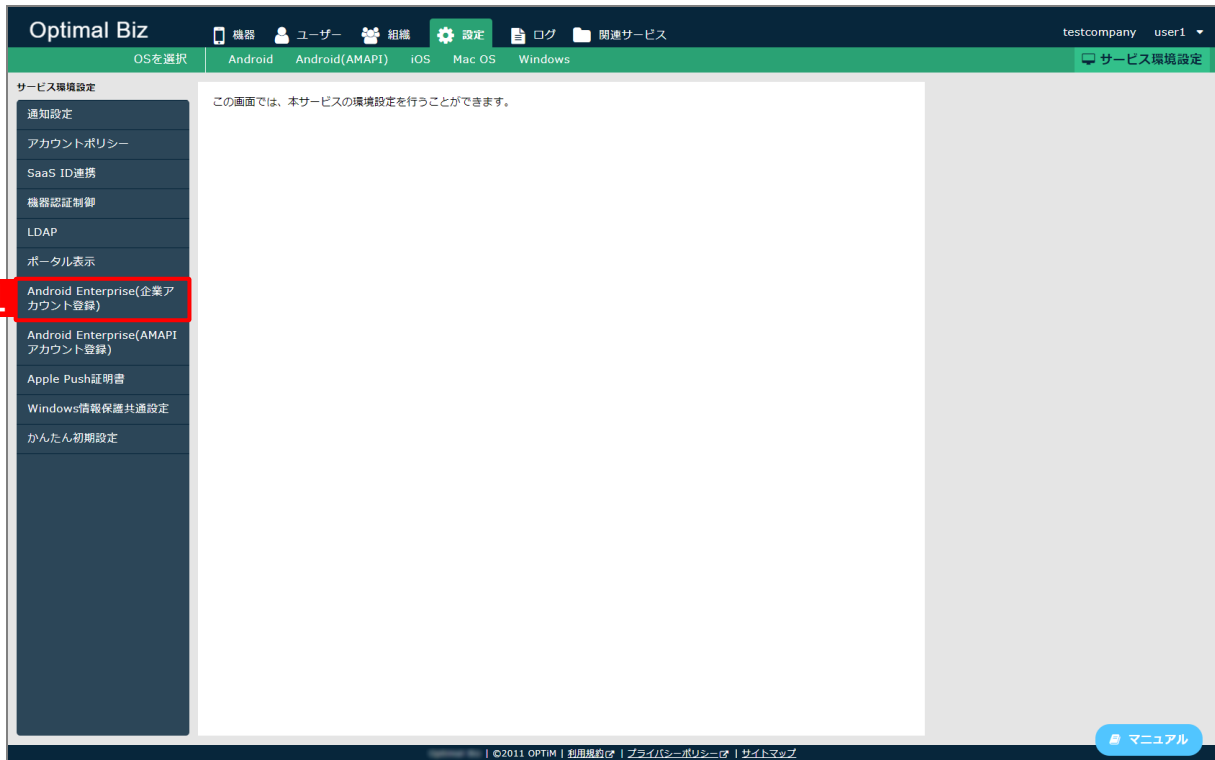
未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15**

5.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

[3] <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxxx.co.jp」になります。

[5] [アカウント登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It includes a status indicator '(A) 状態 未登録', a warning box about default settings, account type selection with 'Google Workspaceアカウント' selected (callout 2), a URL 'https://play.google.com/work/termservice' (callout 3), input fields for 'ドメイン' and 'EMMトークン' (callout 4), and a green 'アカウント登録' button (callout 5).

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

○ Googleアカウント **2** ● Google Workspaceアカウント

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。

3 <https://play.google.com/work/termservice>

4 ドメイン
EMMトークン

5 アカウント登録

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン
[Redacted]
EMMトークン
[Redacted]

(C) 組織ID
[Redacted]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

同意する

[アカウント削除](#)

5.3 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。


- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。


The screenshot displays the Optimal Biz user management interface. The top navigation bar includes '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organization), '設定' (Settings), 'ログ' (Logs), and '関連サービス' (Related Services). The user 'testcompany user1' is logged in. The sidebar on the left has a red box labeled '1' around the '一覧' (List) button. The main area shows a search bar with a red box labeled '2' around the '+' button. Below the search bar is a list of users, with the first user '一般' (General) highlighted in yellow. The user profile form for '一般' is open, showing fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID', 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type), '組織' (Organization), '分類' (Classification), '機器認証制限' (Device Authentication Restriction), 'パスワード' (Password), '2段階認証' (2FA), '機器' (Device), and 'SaaS ID連携' (SaaS ID Integration). The 'パスワード' field has a '編集' (Edit) button, and the '2段階認証' field has a '設定済み' (Settings Complete) button. The '機器' field has a '0' value. The 'SaaS ID連携' field has 'Office 365 (なし)' and 'Google Workspace (なし)'. A 'マニュアル' (Manual) button is visible in the bottom right corner.

[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

[4] 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。

 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[5] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理 | 「Appとブック」設定 | アクセス制御 | その他 | 操作

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

4 メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・フリーズ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

パスワード

現在のパスワード

編集

2段階認証

設定
設定済み

設定削除

機器

機器数
0

SaaS ID連携

Office 365
(なし)

Google Workspace
(なし)

取消 **5** 保存

5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キティング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。

The screenshot displays the 'Optimal Biz' user management interface. The top navigation bar includes 'ユーザー' (Users) and 'testcompany user1'. The left sidebar contains options like '一覧' (List), 'CSVで追加' (Add via CSV), 'CSVで編集' (Edit via CSV), and 'CSVをダウンロード' (Download CSV). The main area shows a list of users with columns for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kana), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type), '組織' (Organization), '分類' (Classification), and '機器認証制限' (Device Authentication Limit). A red box labeled '1' highlights the '一般' (General) user in the list. The right panel shows the user's profile details, including '管理情報' (Management Information), 'パスワード' (Password), '2段階認証' (2-step authentication), '機器' (Device), and 'SaaS ID連携' (SaaS ID integration). A red box labeled '2' highlights the '編集' (Edit) button at the bottom of the profile.

[3] 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows the '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) page for a user. The page is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Fields for Name (名前), Kana (フリガナ), Surname (姓), Given Name (名), User ID (ユーザーID), and Email Address (メールアドレス). The Email Address field is highlighted with a red box and labeled '3'. Below these fields are radio buttons for User Type (ユーザー種別): Administrator (管理者), Operator (操作), Viewer (閲覧者), Lock/Wipe (ロック・ワイプ), Login (ログイン), and General (一般). There is also a dropdown for Organization (組織) and a dropdown for Classification (分類).
- パスワード**: A section for password management with a '編集' (Edit) button.
- 2段階認証**: A section for two-step authentication with a '設定済み' (Settings complete) status and a '設定削除' (Delete settings) button.
- 機器**: A section for device management showing '機器数' (Number of devices) as 0.
- SaaS ID連携**: A section for SaaS ID integration showing 'Office 365 (なし)' and 'Google Workspace (なし)'.

At the bottom of the form, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box and labeled '4'.

5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする

以下の手順で、Google Workspace アカウントによる端末のキッティングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【13】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

🔗 SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【4】 [コピーしない] をタップします。

【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

- ☑管理サイトのユーザーに Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、ライセンス認証に失敗します。

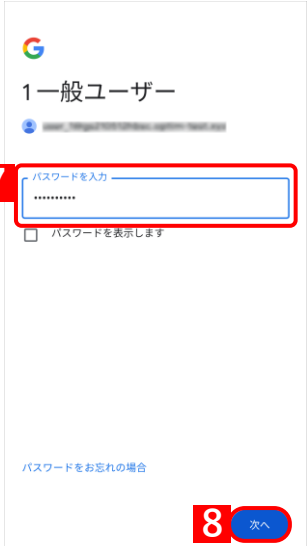
🔗「既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する」100 ページ

【6】 [次へ] をタップします。



【7】 「パスワード」を入力します。

【8】 [次へ] をタップします。



Google
1 一般ユーザー

7 パスワードを入力
.....
 パスワードを表示します

パスワードをお忘れの場合

8 次へ

【9】 [同意する] をタップします。



Google
1 一般ユーザー

Google では、サービスをご利用になる際の注意点をご理解いただけるよう Google 利用規約を公開しています。
[同意する] をクリックすると、この規約に同意したことになります。

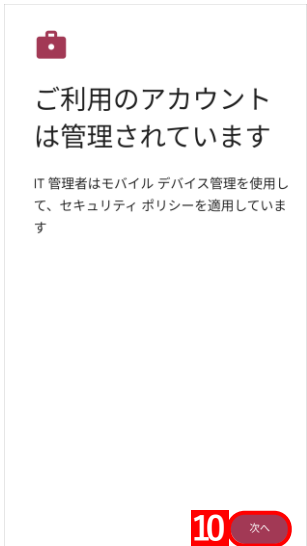
Google Play 利用規約にも同意すると、アプリの検索や管理を行えるようになります。

また、Google プライバシーポリシーもご確認ください。
Google サービスのご利用時に生成される情報を Google がどのように取り扱うかについて記載されています。
Google アカウント (account.google.com) にアクセスすることで、いつでもプライバシー診断を実施したり、プライバシーの管理方法を調整したりできます。

9 同意する

今はこのアカウントを追加しない

【10】 [次へ] をタップします。



📁

ご利用のアカウント
は管理されています

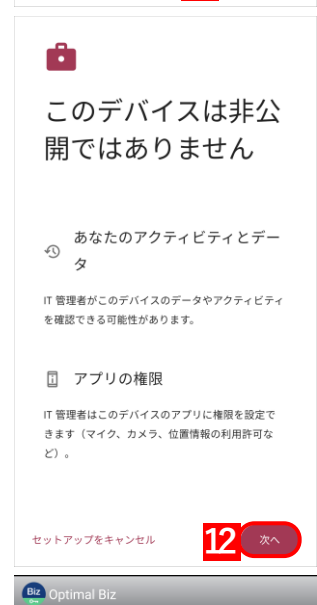
IT 管理者はモバイル デバイス管理を使用して、セキュリティ ポリシーを適用しています

10 次へ

【11】 [同意して続行] をタップします。




【12】 [次へ] をタップします。




【13】 [OK] をタップします。



【14】 [もっと見る] をタップします。

 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【15】 [同意する] をタップします。**【16】 [スキップ] をタップします。**





Google サービス

Android Enterprise
後で有効または無効にする方法など、各サービスの詳細を確認するにはタップします。データは Google の [プライバシーポリシー](#) に従って使用されます。



位置情報

 位置情報の使用 



位置情報の利用許可が設定されているアプリやサービスがお使いのデバイスの位置情報を使用することを許可します。Google は位置情報を定期的に収集し、このデータを匿名の方法で活用して位置情報の精度や位置情報を利用したサービスを改善します。

 スキャンの許可 

14 [もっと見る](#)

 使用状況データや診断データの送信 


Android デバイスの機能向上のため、診断データとデバイスやアプリの使用状況データを Google に自動的に送信します。こうしたデータは、バッテリー駆動時間、システムやアプリの安定性などの改善に役立ちます。統計情報の一部は、Google アプリや、Android デベロッパなどのパートナーにも役立ちます。[その他のウェブとアプリのアクティビティ] を ON にすると、このデータは Google アカウントに保存されます。

 アップデートやアプリのインストール 

続行すると、Google、ご利用の携帯通信会社、デバイスメーカーからのアップデートやアプリもデバイスが自動的に（場合によってはモバイルデータ接続を使用して）ダウンロードし、インストールする場合があります。データ通信料が発生する場合があります。こうしたアプリの一部ではアプリ内購入が提供される場合もあります。


[同意する] をタップすると、この Google サービスの設定の選択内容を確認したことになります。

15 [同意する](#)



スマートフォンでの スワイプ動作

「ホームに戻る」、「戻る」、「アプリを切り替える」の操作方法を確認できます



16 [スキップ](#) [試してみる](#)

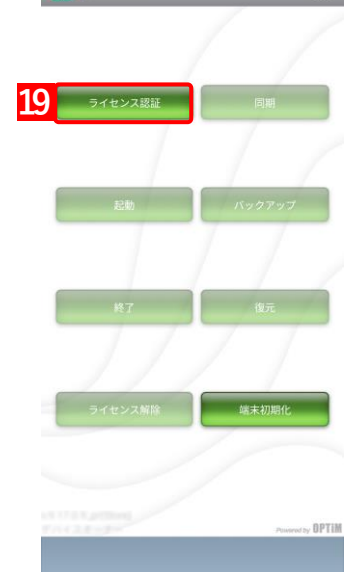
- 【17】 画面下部からスワイプします。**
⇒ ホーム画面に移動します。



- 【18】 [Optimal Biz] をタップします。**
✎ ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

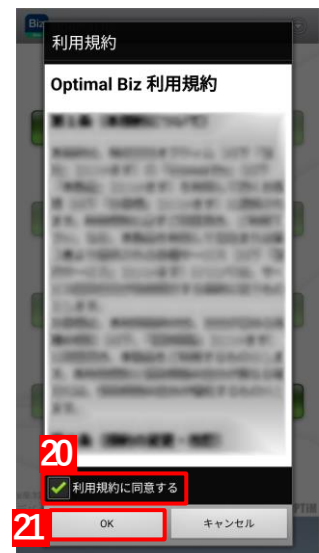


- 【19】 [ライセンス認証] をタップします。**

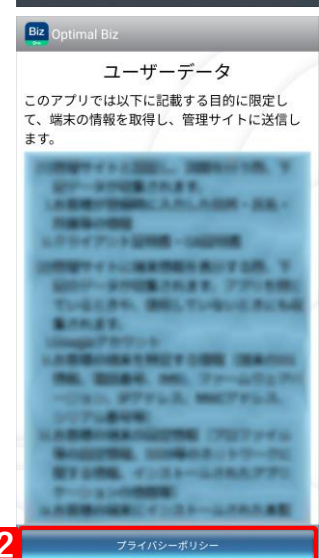


【20】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【21】 [OK] をタップします。



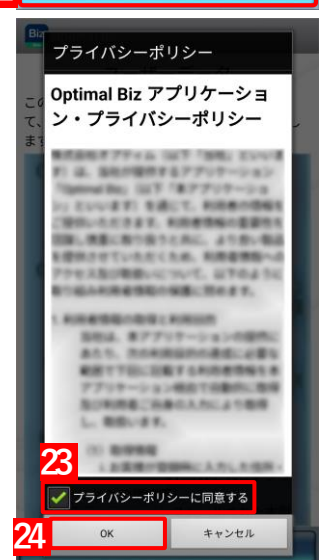
【22】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【23】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

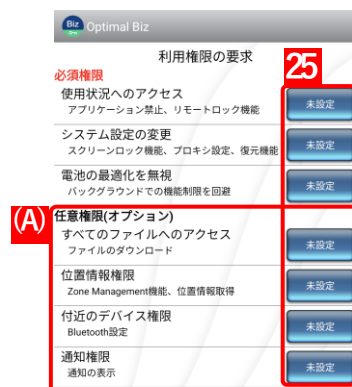
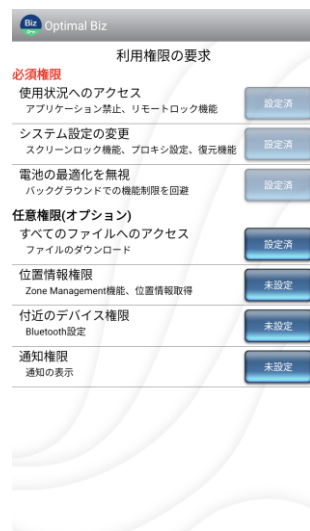
【24】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

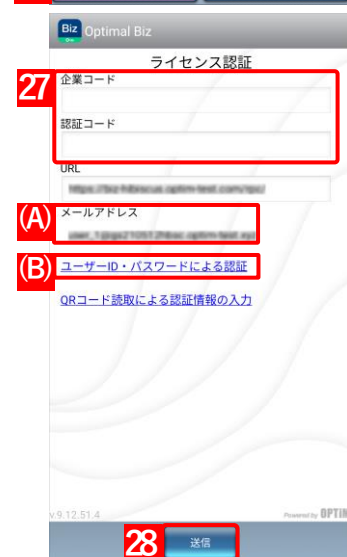


【25】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

**【26】 [OK] をタップします。****【27】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。**

- ✎ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ Google Workspace アカウントが、(A) 「メールアドレス」として表示されます。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

**【28】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【29】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- ✎手順【30】～【32】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【30】 必要事項を選択、入力します。**【31】 [次へ] をタップします。**

- ✎あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ✎機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【32】 [OK] をタップします。

⇒キittingおよびライセンス認証が完了しました。



6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う


ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。

ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。

注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。
[🔗 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/](https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/)
- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 - 🔗 「Google アカウントを登録する」 112 ページ
 - 🔗 「Google API の認証設定を行う」 132 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

6.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

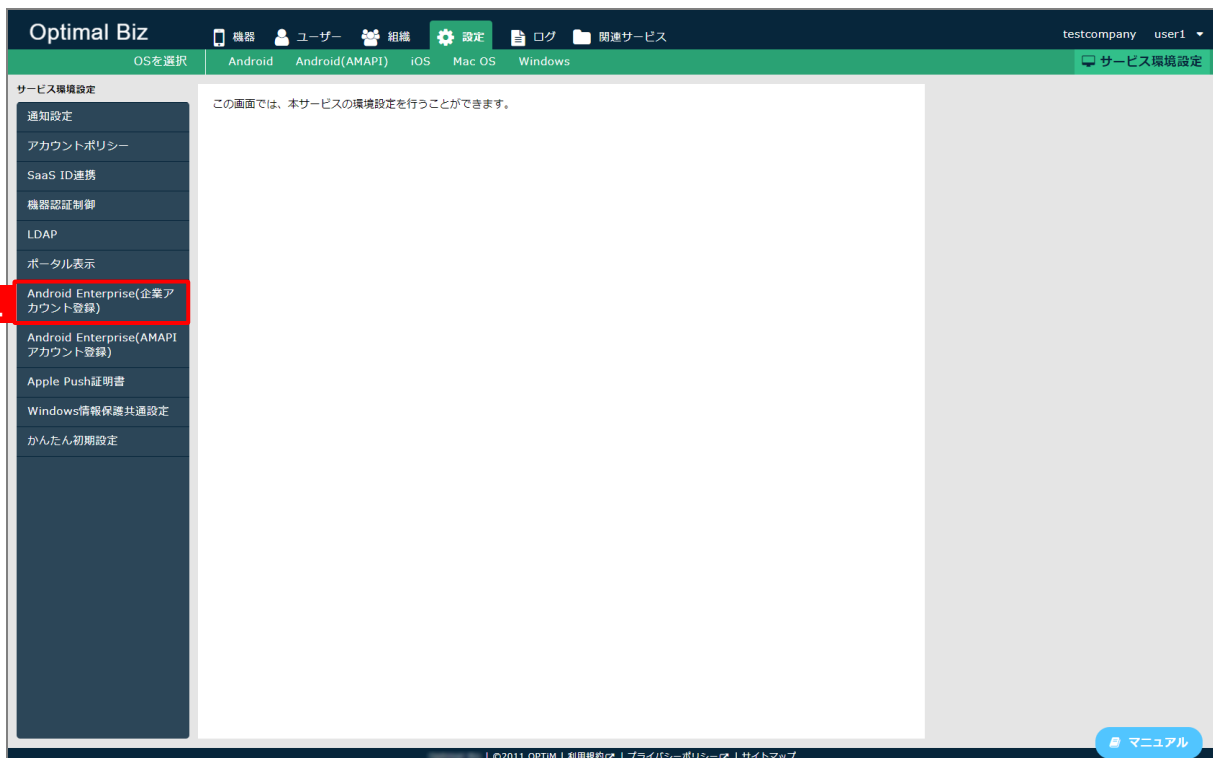
- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合
 - ✔ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。
- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合
 - ✔ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。
- Gmail のメールアドレスを登録する場合

6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ✔ Google が推奨する登録方法です。
- ✔ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- ✎ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

⚠ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者向けオプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

(B) アカウント種別
 Googleアカウント Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

- ❏すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ❏ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒情報登録画面が表示されます。

**[6] 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。****[7] [続行] をクリックします。**

✍️名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。

The screenshot shows the Android account verification form with the following fields and options:

Android 🌿

.....

お客様に関する情報

6

U * 必須項目

名*

姓*

会社名*

国*
日本


お知らせの設定
* 必須項目

ヒント、最新機能、特典情報などをお知らせするメールの受信を希望されますか*?

はい いいえ

7 続行

【8】 [次へ] をクリックします。**【9】** 8 文字以上のパスワードを入力します。**【10】** [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 [次へ] をクリックします。




【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。


The screenshot shows the Google login interface. At the top, the Google logo and the text 'ようこそ' (Welcome) are displayed. Below this is a search bar with a profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. A red box labeled '14' highlights the password input field, which contains the text 'パスワードを入力' and a series of dots representing the password. Below the input field is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). At the bottom left, there is a link that says 'パスワードをお忘れの場合' (If you've forgotten your password). At the bottom right, there is a blue button labeled '15' and '次へ' (Next).

- 【16】 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】 [コードを取得] をクリックします。



本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
日本 ▼

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

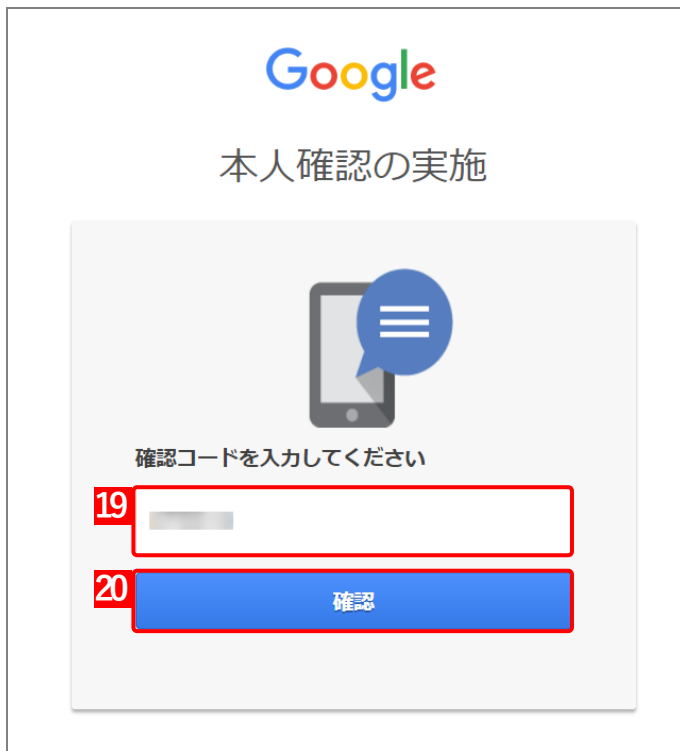
17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、[サポート オプション](#)をご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。



【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

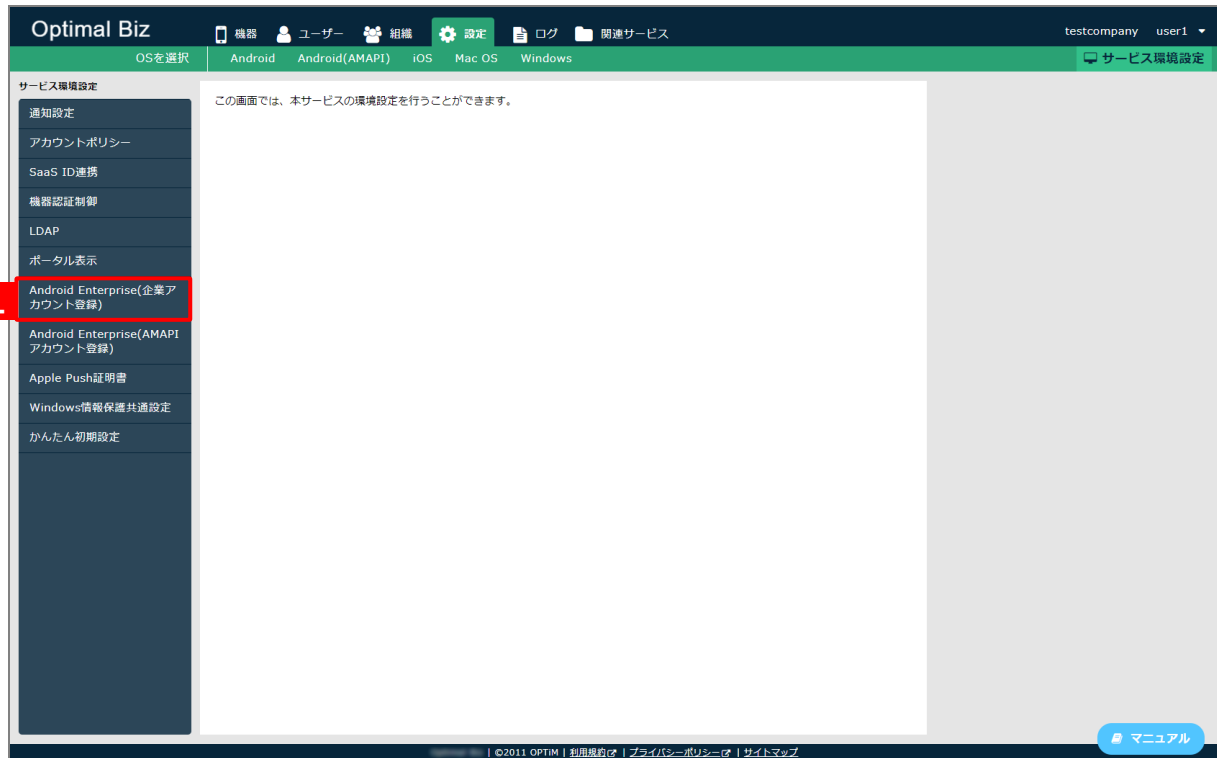
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

☑ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✎ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。
- (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

(B) アカウント種別
 Googleアカウント
 Google Workspaceアカウント

2 アカウント登録

【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。

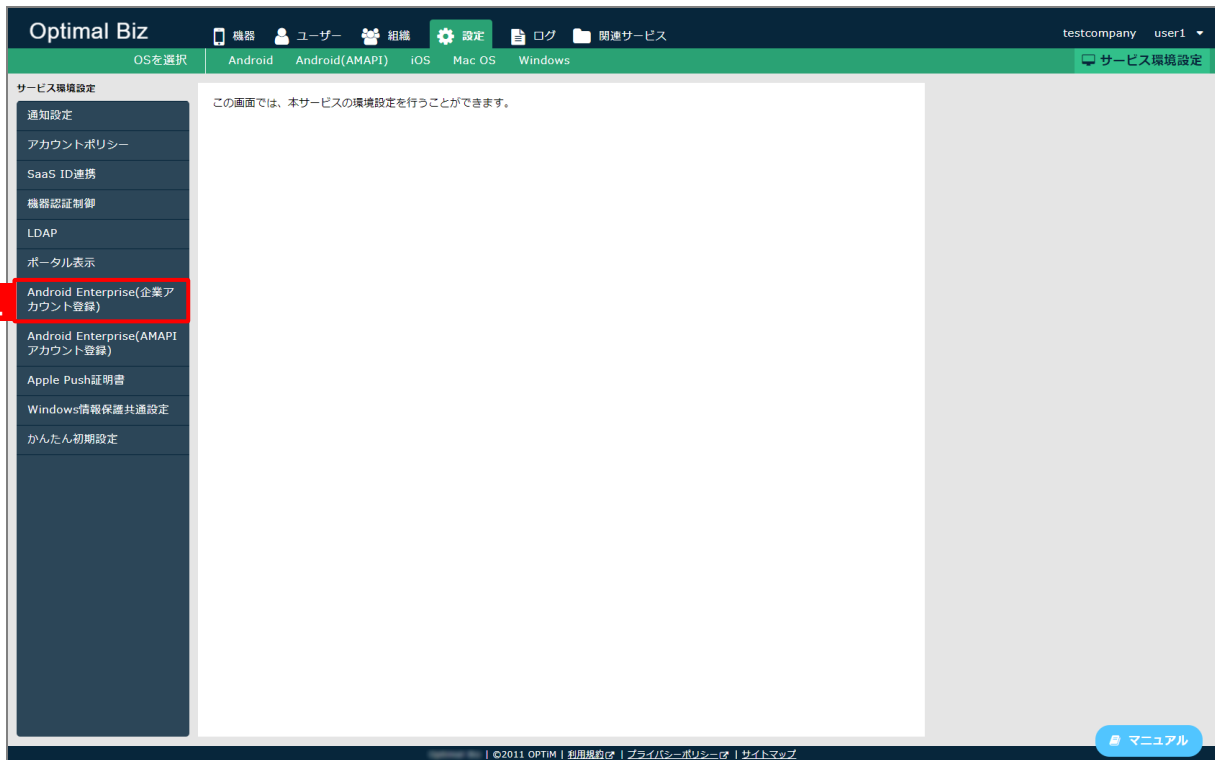
⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



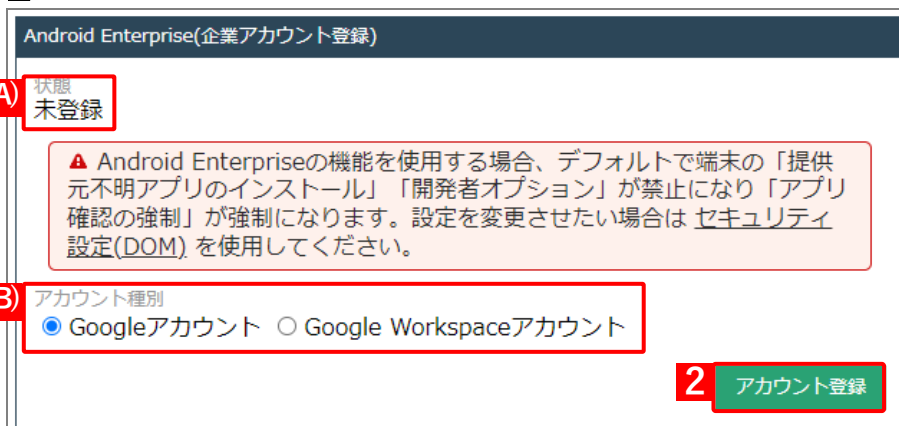
- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

@gmail.com
は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、
name@company.com のような仕事
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対
応する name@company.com のメ
ールアドレスがない場合は、新しい
ドメインを購入してから登録を再試
行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす
る場合は、managed Google Play
アカウントエンタープライズを作
成できます。

このアカウントを使用して、
Chromebook や Chrome ブラウザ
などの他の Google サービスを管理
することはできません。詳細

5 登録

【6】 [ログイン] をクリックします。

☑️ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



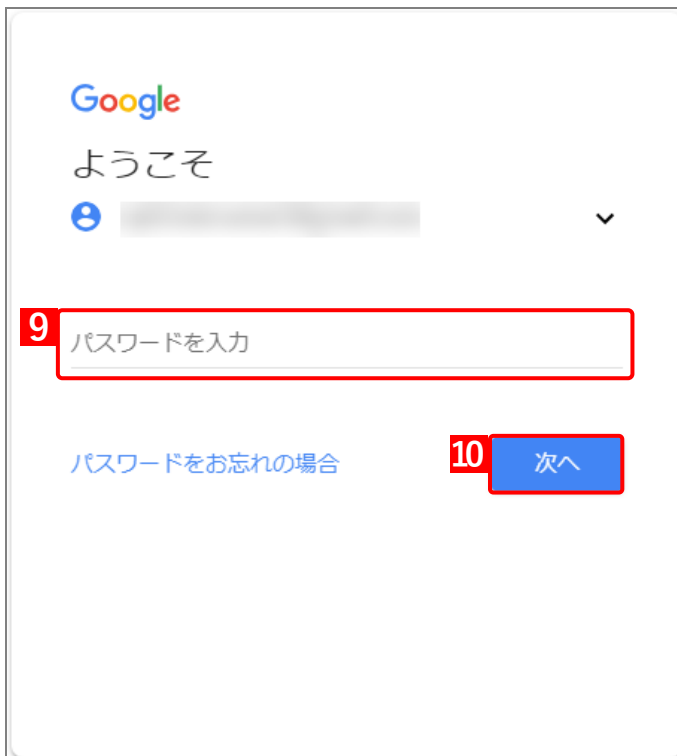
【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



【11】 [完了] をクリックします。



【12】 [スタートガイド] をクリックします。




【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。

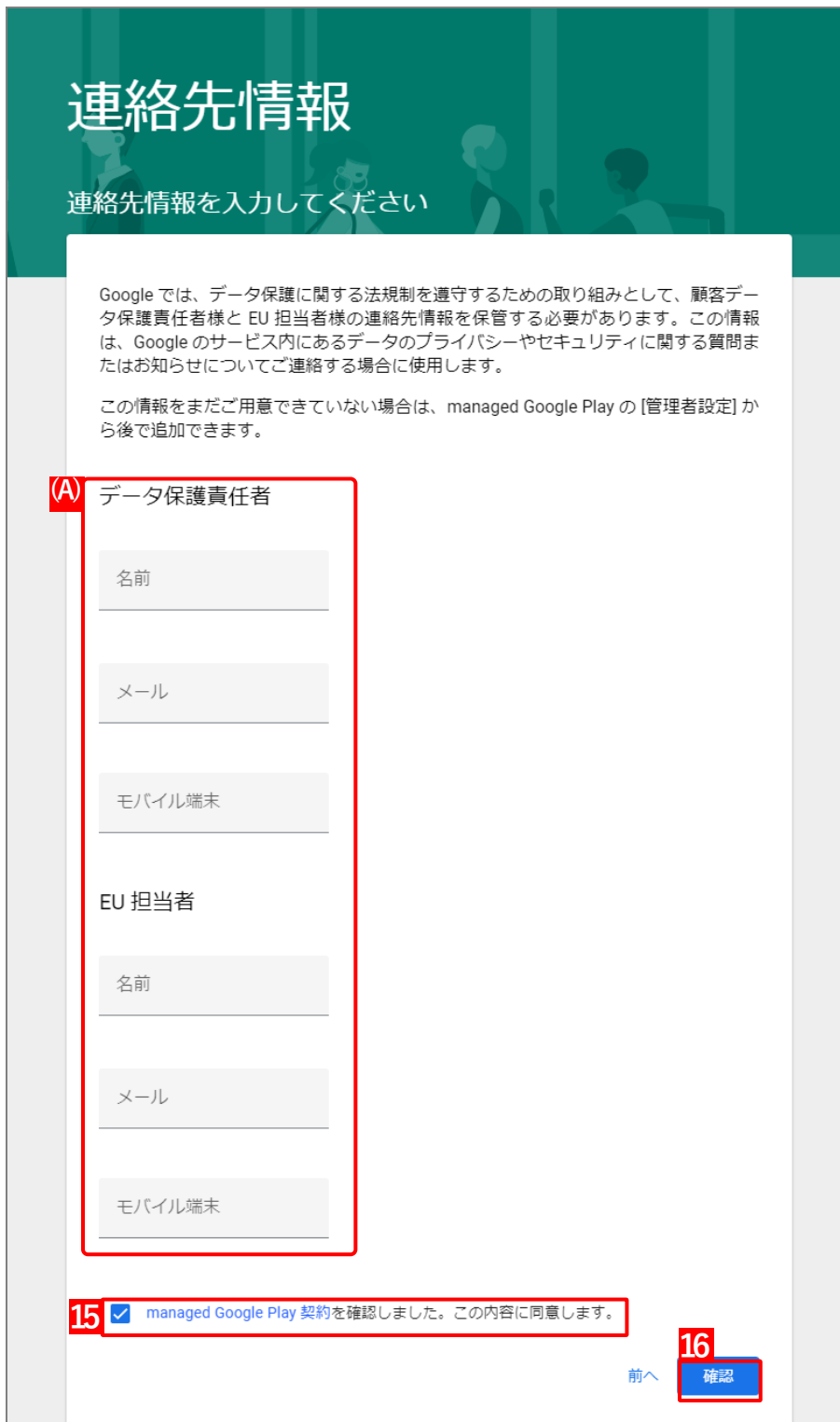


【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

-  (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>



連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

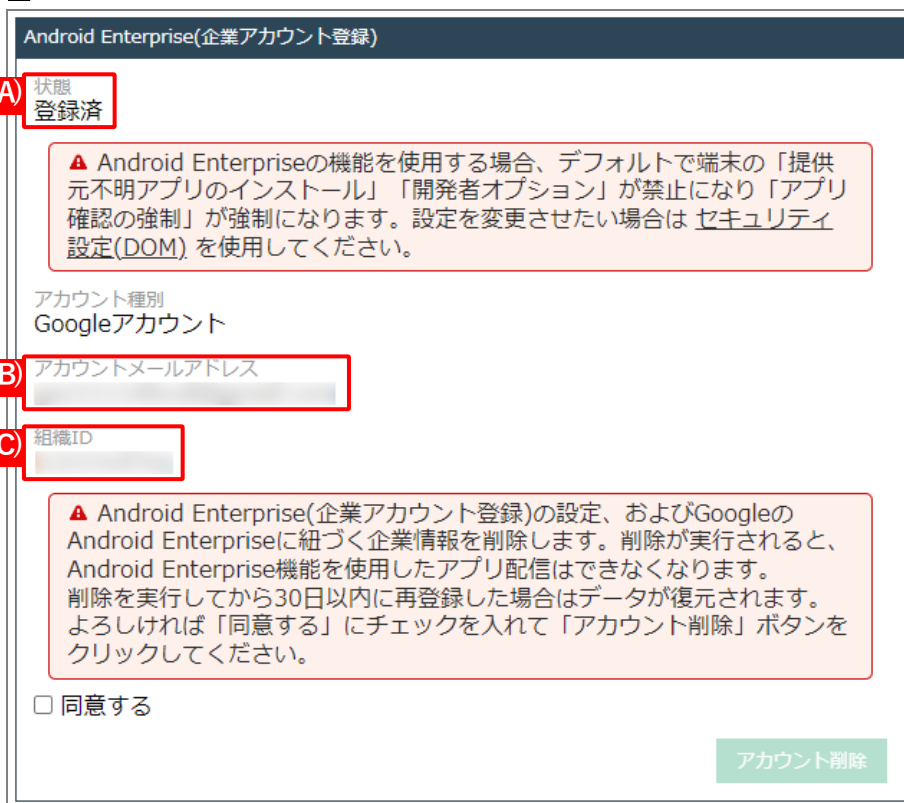
前へ **16** 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。



6.2 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

- ☑ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- ☑ 利用する Google アカウントがすでにブラウザーに登録されている場合は、本操作は不要です。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [Google アカウント登録] をクリックします。

The screenshot shows the Optimal Biz management console. The top navigation bar includes 'Optimal Biz', '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organization), '設定' (Settings), 'ログ' (Logs), and '関連サービス' (Related Services). The user is logged in as 'testcompany user1'. The main content area is titled 'Android 設定' (Android Settings) and contains a list of steps for zero-touch setup. Step 1, 'Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける' (Link Google account and company/organization email address), is the active step. It includes instructions to link a company email address to a Google account. A red box labeled '2' highlights the 'Google アカウント登録' (Google Account Registration) link. The left sidebar has a red box labeled '1' highlighting the '利用登録' (Use Registration) link under the 'ゼロタッチ登録' (Zero Touch Setup) section. At the bottom of the page, there is a 'マニュアル' (Manual) button and a copyright notice for ©2011 OPTIM.

【3】 Google アカウント作成画面が表示されます。

「姓」「名」「メールアドレス」「パスワード」「パスワードの確認」を入力します。

✔ 「メールアドレス」には、企業ドメインのメールアドレスを入力してください。

✔ (A) [代わりに Gmail アカウントを作成] をクリックすると、Gmail アカウントで作成することになりますので、クリックはしないでください。必ず現在のメールアドレスで作成してください。

【4】 [次へ] をクリックします。

Google
Google アカウントの作成

3 姓 名

メールアドレス
このメールアドレスがご自身のものであることの確認が必要になります。
代わりに Gmail アカウントを作成 (A)

パスワード パスワードの確認
半角英字、数字、記号を組み合わせて 8 文字以上で入力してください

代わりにログイン

4 次へ

1つのアカウントで Google のすべてのサービスをご利用いただけます。

【5】 「コードを入力」に、手順【3】で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。**【6】 [確認] をクリックします。**

Google
メールアドレスの確認

宛てにお送りした確認コードを入力してください。見つからない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

5 コードを入力

戻る

6 確認

【7】 「電話番号」「生年月日」「性別」を入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



Google
Google へようこそ

7 電話番号 (省略可)

Google では、アカウントのセキュリティ保護に電話番号を使用します。電話番号が他のユーザーに公開されることはありません。

年 月 日
生年月日

性別

個人情報
個人情報は非公開であり、安全です

この情報が必要な理由

戻る 8 次へ

【9】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。



Google
プライバシー ポリシーと利用規約

また Google では、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いの端末全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスペル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

設定はご自身で管理いただけます
アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。

Google が収集するデータやそのデータの用途は、ユーザーが管理できます


その他の設定

キャンセル 9 同意する

[10] 以下の画面が表示されたら、登録が完了です。

6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする

登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

6.2.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ゼロタッチポータル] をクリックします。

The screenshot shows the Optimal Biz web interface. The left sidebar has a menu with '利用登録' (Registration) highlighted by a red box and labeled '1'. The main content area shows a list of steps for zero-touch setup. Step 2, 'ゼロタッチポータルにログインできるようにする' (Enable login to the zero-touch portal), has a red box around the 'ゼロタッチポータル' (Zero Touch Portal) link, labeled '2'. The interface includes a top navigation bar with '設定' (Settings) and 'Android' tabs, and a footer with copyright information and a 'マニュアル' (Manual) link.

- [3]** 登録した Google アカウントを選択します。

The screenshot shows the Google account selection screen. The title is 'アカウントの選択' (Select account). There are three account options, each with a circular profile picture and the text 'ログアウトしました' (Logged out). The first option is highlighted with a red box and labeled '3'. Below the options is a link for '別のアカウントを使用' (Use another account) and a link for 'アカウントを削除' (Remove account).

[4] 「I accept the Terms of Service.」にチェックを入れます。

[5] [同意する] をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will post any modification to this Agreement to the Terms URL

4 I accept the Terms of Service.

5 同意する 同意しない

6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。

The screenshot shows the 'Optimal Biz' settings interface. The left sidebar has a red box around '利用登録' (Use Registration) with a red '1' next to it. The main content area shows a list of steps. Step 4, 'API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う' (Perform API settings and JSON file download), is highlighted with a red box and a red '2'. Within this step, the link 'Android Device Provisioning Partner APIの登録' (Register Android Device Provisioning Partner API) is highlighted with a red box.

- [3]** 関連付けした「メールアドレス」を選択します。

The screenshot shows the 'アカウントの選択' (Select Account) screen. The first option, represented by a green circle and labeled 'ログアウトしました' (Logged out), is highlighted with a red box and a red '3' next to it. The second option, represented by a teal circle, is also labeled 'ログアウトしました'. The third option, represented by a grey circle, is labeled '別のアカウントを使用' (Use another account). At the bottom, there is a link 'アカウントを削除' (Delete account).

- 【4】** 初回ログイン時のみ、利用規約に同意画面が表示されます。
利用規約にチェックを入れます。
- 【5】** [同意して続行] をクリックします。

 Google Cloud Platform

へようこそ

Google Cloud Platform のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを 1 か所で作成し、管理します。

国

日本

4 利用規約

私は、[Google Cloud Platform の利用規約](#)、および[適用されるサービスと API の利用規約](#)に同意します。

最新情報をメールで通知

Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

5 同意して続行

- 【6】** Google Cloud Platform 画面が表示されます。任意の「プロジェクト名」を入力します。

Google Cloud Platform

新しいプロジェクト

割り当て内の残りのプロジェクト数は 12 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。 [詳細](#)

[MANAGE QUOTAS](#)

6 プロジェクト名 *

プロジェクト ID: 。後で変更することはできません。 [編集](#)

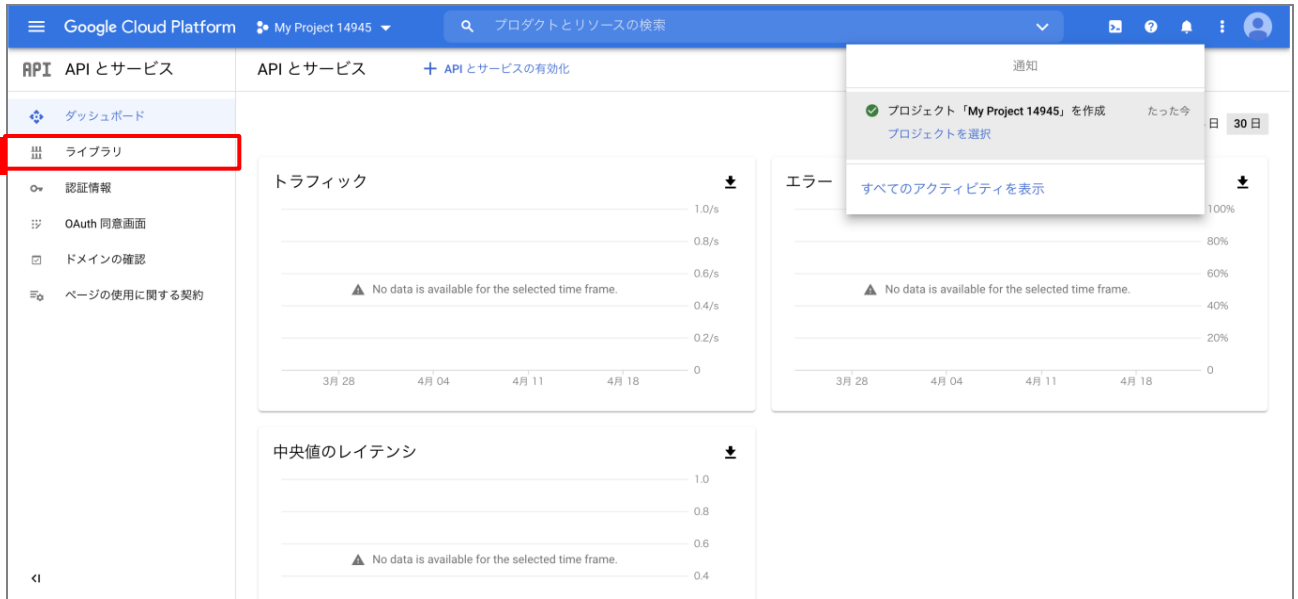
場所 *

組織なし [参照](#)

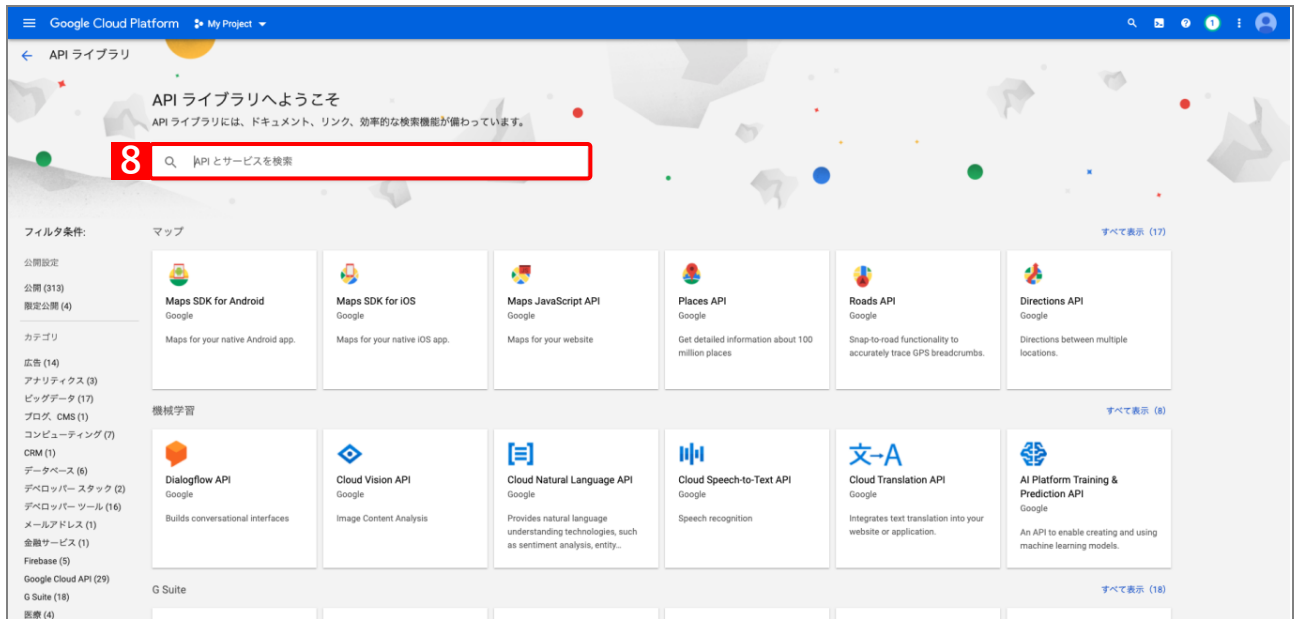
親組織またはフォルダ

作成 キャンセル

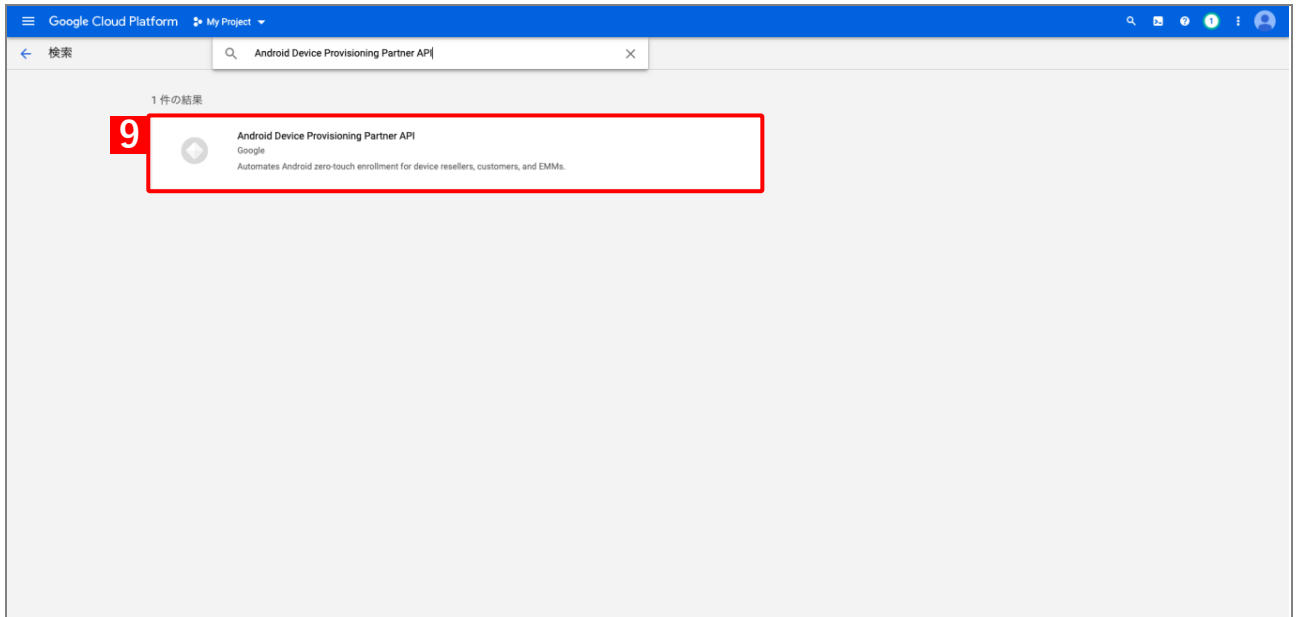
[7] 「ライブラリ」 をクリックします。



[8] 「API とサービス検索」 に「Android Device Provisioning Partner API」と入力し、検索します。



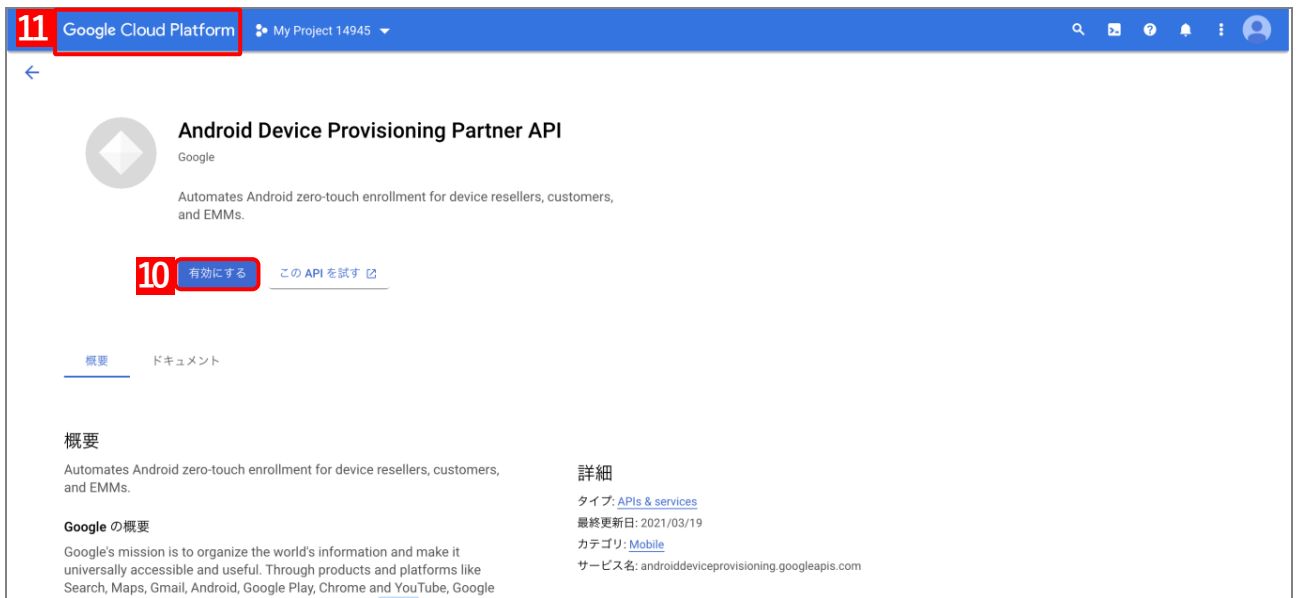
【9】 表示結果の [Android Device Provisioning Partner API] をクリックします。



【10】 [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

【11】 [Google Cloud Platform] をクリックします。



【12】 [認証情報] をクリックします。

The screenshot shows the Google Cloud Platform console for the 'Android Device Provisioning Partner API'. The left sidebar has a red box around the 'Authentication' tab with the number '12'. The main content area shows a warning message: 'この API を使用するには、認証情報が必要になる可能性があります。開始するには、[認証情報を作成] をクリックしてください。' and a '認証情報を作成' button. Below this is a 'Details' section with the following information:


- 名前: Android Device Provisioning Partner API
- 提供者: Google
- サービス名: androiddeviceprovisioning.googleapis.com
- 概要: Automates Android zero-touch enrollment for device resellers, customers, and EMMs.
- 有効化のステータス: 有効

At the bottom of the details section is a 'チュートリアルとドキュメント' section with a 'Learn more' link. To the right is a 'レスポンスコード別のトラフィック' chart showing '要求数/秒 (2時間の平均)' with a y-axis from 0 to 1.0/s and an x-axis from 3月28 to 4月18. The chart shows 'No data is available for the selected time frame.' and a '指標を表示' button.

【13】 [同意画面を構成] をクリックします。

The screenshot shows the 'Authentication info' page in the Google Cloud Platform console. At the top, there are buttons for '+ 認証情報を作成' and '削除'. Below this is a section titled 'この API と互換性のある認証情報' with a warning message: '必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。' and a red box around the '同意画面を構成' button with the number '13'. Below this is an 'OAuth 2.0 クライアント ID' section with a table header: '名前', '作成日 ↓', '種類', 'クライアント ID'. Below the header, it says '表示する OAuth クライアントがありません'. Below this is a 'サービス アカウント' section with a table header: 'メール', '名前 ↑'. Below the header, it says '表示するサービス アカウントがありません'. At the top right of the 'サービス アカウント' section is a link: 'サービスアカウントを管理'.

【14】 [作成] をクリックします。

-  (A) 「User Type」を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

(A) User Type

内部 

組織内のユーザーのみが使用できます。検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。

外部 

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、[アプリの確認](#)が必要となる場合があります。

14 **作成**

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

- [15]** 「アプリ名」に「Optimal Biz」と入力します。
- [16]** 「ユーザー サポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- [17]** 「承認済みドメイン」に「optim.co.jp」と入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。
✂ [Enter] キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- [18]** 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- [19]** [保存して次へ] をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

15 同意を求めるアプリの名前

16 ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

アプリのロゴ [参照](#)
ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します


17 **承認済みドメイン** ⓘ
同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

デベロッパーの連絡先情報

18 これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

19

【20】 [保存して次へ] をクリックします。

 スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。 [詳細](#)

[スコープを追加または削除](#)


🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

20 [保存して次へ](#) キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面 —
 スコープ —
 3 **テストユーザー** —
 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

[+ ADD USERS](#)

☰ 表をフィルタリング ?

⚠ 悪用を防ぐために、ユーザーは追加できても削除できません

ユーザー情報
表示する行がありません

21 [保存して次へ](#) キャンセル

[22] 設定内容を確認して、[ダッシュボードに戻る] をクリックします。

アプリ登録の編集

指定されていません

[アプリケーション利用規約] リンク
指定されていません

承認済みドメイン
[REDACTED]

連絡先メールアドレス
[REDACTED]

スコープ 編集

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

テストユーザー 編集

[REDACTED] ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

表をフィルタリング

ユーザー情報
表示する行がありません

22 [ダッシュボードに戻る](#)

[23] OAuth 同意画面が表示されます。[アプリ公開] をクリックします。

Google Cloud Platform ▶ My Project ▶ OAuth 同意画面

API とサービス

- ◆ ダッシュボード
- ☰ ライブラリ
- 🔍 認証情報
- 🔍 **OAuth 同意画面**
- 🔍 ドメインの確認
- 🔍 ページの使用に関する契約

OptimalBiz [アプリを編集](#)

公開ステータス ●

テスト

23 [アプリを公開](#)

ユーザーの種類

外部 ●

内部へ

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

[+ ADD USERS](#)

[REDACTED] ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

[SHOW MORE](#)

OAuth レート上限

ガイド

- Google OAuth 同意画面
- OAuth 同意画面とは何ですか?
- OAuth 同意のスコープとは
- 機密性の高い API スコープとはどのようなものですか?
- 制限付き API スコープとはどのようなものですか?
- アプリ登録プロセス
- どのような情報が必要ですか?
- アプリは Google の確認を受ける必要がありますか?
- アプリの確認を受けなかった場合はどうなりますか?
- 確認プロセスにかかる時間はどの程度ですか?
- アプリを使用できるユーザーは何人ですか?
- ドメインの所有権の確認
- 他に必要な確認事項

[24] メッセージを確認して、**[確認]** をクリックします。

本番環境に push しますか？

Google アカウントを持つすべてのユーザーがアプリを使用できるようにします。

検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。10 個以上のドメインの追加、ロゴのアップロード、プライベートまたは制限されたスコープのリクエストなど、今後アプリの構成を変更する場合は、[検証を受けるために送信](#)する必要があります。

キャンセル **24** **確認**

[25] 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。**[26]** **[認証情報]** をクリックします。

The screenshot shows the Google Cloud Platform console for a project named 'My Project'. The main content area displays the 'OAuth consent screen' configuration for the application 'OptimalBiz'. The 'Auth status' is set to 'Production' (本番環境). The 'Auth info' (認証情報) tab is selected in the left sidebar. The 'Auth info' section shows the 'Auth status' as 'Production' and the 'Auth info' as 'Not required' (検証は不要です). The 'Auth info' section also shows the 'Auth info' as 'Not required' (検証は不要です).

[27] **[認証情報を作成]** をクリックします。**[28]** **[OAuth クライアント ID]** を選択します。

The screenshot shows the 'Auth info' (認証情報) page in the Google Cloud Platform console. The 'API key' (API キー) section is expanded, and the 'OAuth client ID' (OAuth クライアント ID) option is selected. The 'API key' section shows the 'API key' as 'API キー' and the 'OAuth client ID' as 'OAuth クライアント ID'. The 'API key' section also shows the 'API key' as 'API キー' and the 'OAuth client ID' as 'OAuth クライアント ID'.

- [29]** 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから、「ウェブアプリケーション」を選択します。
- [30]** 任意で「名前」を入力します。
- [31]** 「承認済みリダイレクト URI」の [URI を追加] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

29 アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

30 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

i 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 **?**
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI **?**
ウェブサーバーからのリクエストに使用します


URI

https://www.example.com

31 + URI を追加

作成 キャンセル

【32】 「URI」に「https://biz3.optim.co.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。(※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。)

 警告メッセージが表示された場合は、手順【17】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【33】 [作成] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

アプリケーションの種類*
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

名前*
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 

ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI 

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 URI

+ URI を追加

33 作成 キャンセル

[34] [OK] をクリックします。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

i [OAuth 同意画面](#)が確認されるまで、OAuth では[プライベート データにかかわるスコープのログイン](#)が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があります、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID

クライアント シークレット

34 **OK**

[35] ダウンロードアイコンをクリックして、JSON ファイルをダウンロードします。

認証情報 [+ 認証情報を作成](#) [削除](#)

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	制限	キー
表示する API キーがありません				

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	
<input type="checkbox"/>	ウェブクライアント 1	2021/01/20	ウェブアプリケーション	1851415656456-op9...	  

35

サービス アカウント

[サービス アカウントを管理](#)

<input type="checkbox"/>	メール	名前 ↑
表示するサービス アカウントがありません		

6.2.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- [1]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [2]** 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- [3]** [アカウント登録] をクリックします。

Optimal Biz

Android 設定

1. Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける

会社・組織用のメールアドレスをGoogleアカウントとして利用できるよう、関連付けを行います。
以下のリンクより、登録を行ってください。
[Googleアカウント登録](#)

※ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意し、関連付けを行ってください。
※ Google Workspaceアカウントをご利用、もしくは既に関連付けを行っている場合は不要です。

2. ゼロタッチポータルにログインできるようにする

ゼロタッチ対応端末の購入元から、ゼロタッチポータルログイン情報を入手し、1.で作成したメールアドレスでログインできるようにしてください。
詳細な手順は端末購入元にご確認ください。

3. ゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意する

以下のリンクよりゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意してください。
[ゼロタッチポータル](#)

4. API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う

以下のリンクからGoogle APIsにアクセスし、Android Device Provisioning Partner APIの登録を行います。
[Android Device Provisioning Partner APIの登録](#)

登録後、JSONファイルをダウンロードします。
詳細な手順は以下のマニュアルをご覧ください。
[Androidキッティングマニュアル](#)

5. JSONファイルをアップロードする

4.でダウンロードしたJSONファイルをアップロードします。

JSONファイル選択

1 [ファイルを選択](#) 選択されていません

JSONファイルを作成する際にポータルにログインしたアカウントのメールアドレスをお忘れにならないよう、以下のGoogleアカウントメールアドレス欄に入力してください。

2

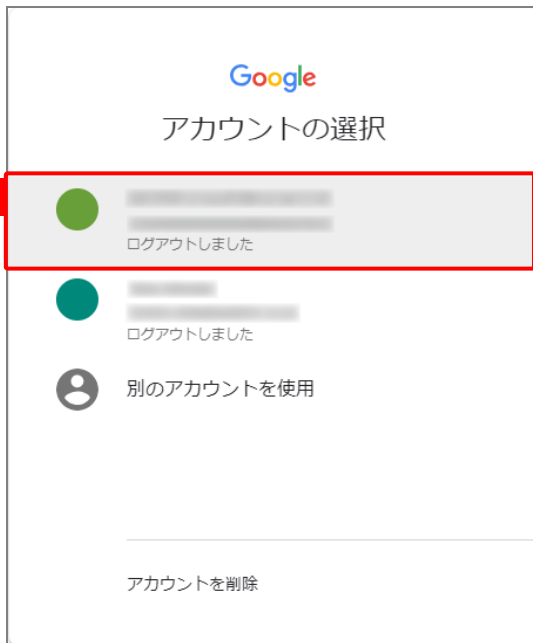
3 [アカウント登録](#)

© 2011 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

**【4】 Google のログイン画面にリダイレクトします。
登録した Google アカウントを選択します。**

⇒警告画面が表示されます。



【5】 [詳細] をクリックします。



【6】 [ドメイン (安全でないページ) に移動] をクリックします。

Google アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxx.co.jp」と表示されます。

このアプリは Google で確認されていません

アプリが、Google アカウントのプライベートな情報へのアクセスを求めています。デベロッパー () と Google によって確認されるまで、このアプリを使用しないでください。

デベロッパーの場合は、この画面が表示されないようにするには確認リクエストを送信してください。詳細

詳細を非表示 安全なページに戻る

リスクを理解し、デベロッパー () を信頼できる場合のみ、続行してください。

6 (安全ではないページ) に移動

【7】 [continue] をクリックします。

Google にログイン

が Google アカウントへのアクセスを求めています

(安全ではないページ) に移動

このアクセス権を付与することで、 は以下のことができるようになります。

- zero-touch 登録に対応している Android デバイスと企業向けモバイル管理 (EMM) 設定の管理です。詳細

を信頼できることを確認

お客様の機密情報をこのサイトやアプリと共有することがあります。アクセス権の確認、削除は、Google アカウントでいつでも行えます。

Google でデータ共有を安全に行う方法についての説明をご覧ください。

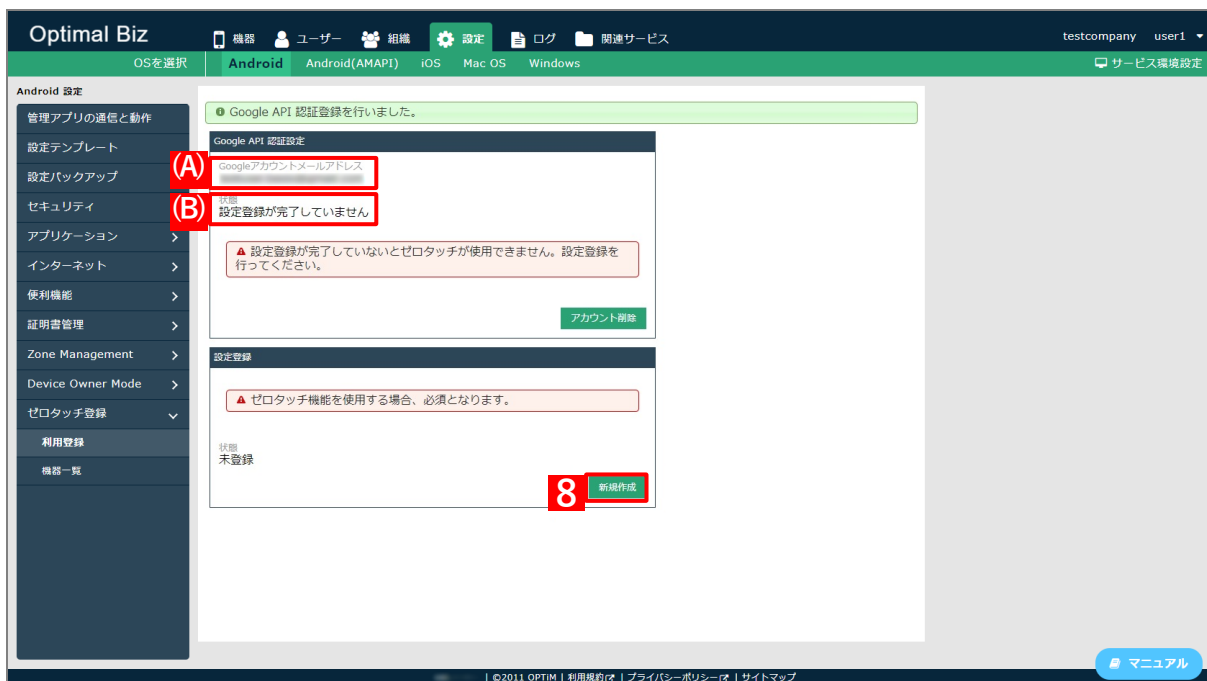
のプライバシー ポリシーと利用規約をご覧ください。

キャンセル Continue

7

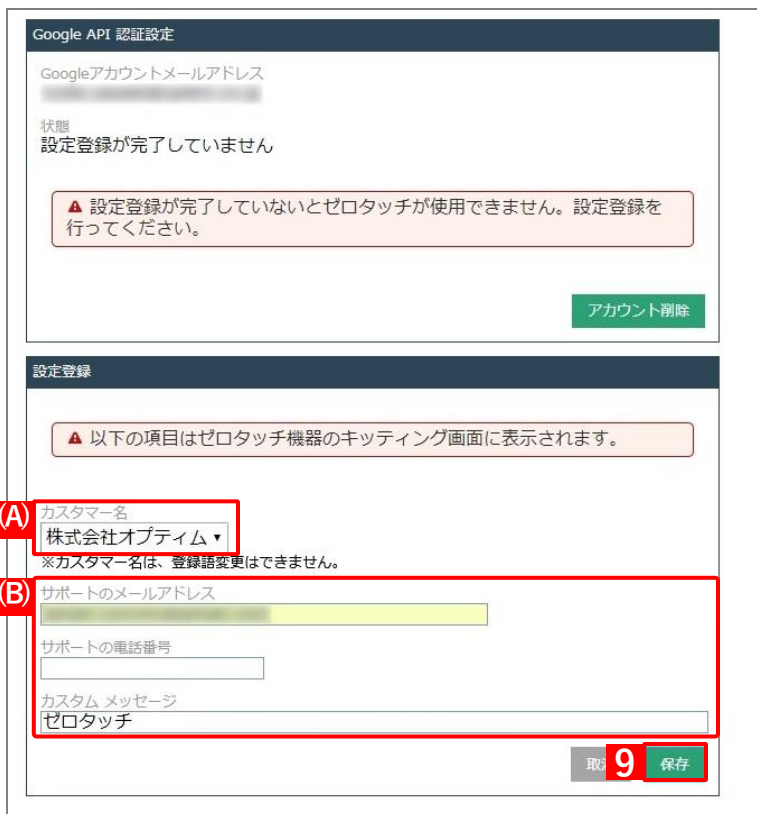
【8】設定登録を行います。[新規作成] をクリックします。

- ✎ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。
- ✎ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。



【9】[保存] をクリックします。

- ✎ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



【10】 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

⇒ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Googleアカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

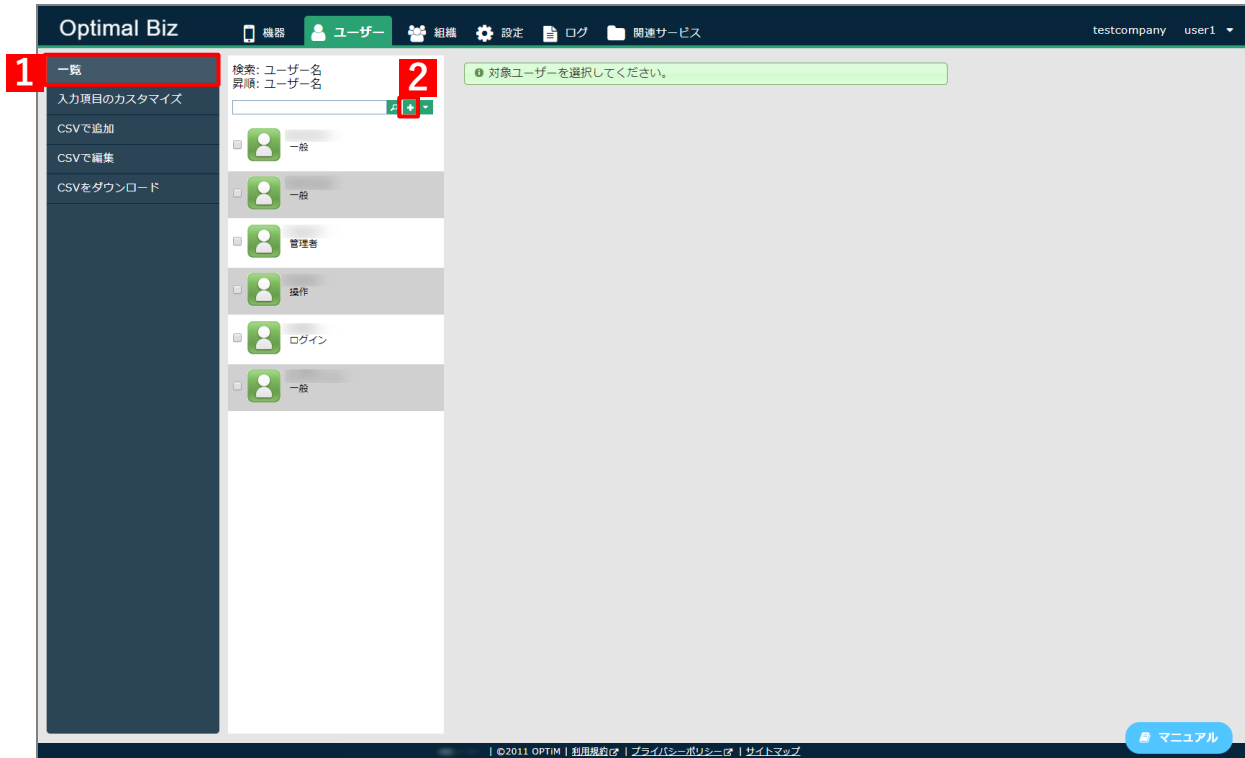
カスタム メッセージ

(C) 編集


6.3 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



The screenshot displays the '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) page. The left sidebar contains the following fields and options:

- 名前 (Name): (highlighted with a red box and '3')
- フリガナ (Kana):
- 姓 (Surname):
- 名 (Given Name):
- ユーザーID (User ID):
- メールアドレス (Email Address):
- ユーザー種別 (User Type):
 - 管理者 (全ての操作ができます)
 - 操作
 - 閲覧者 (変更操作ができません)
 - ロック・ワイプ
 - ログイン (個別に権限を設定)
 - 一般 (ログインできません)
- 組織 (Organization):
- 分類 (Classification): (未分類) (dropdown)
- 機器認証制限 (Device Authentication Limit):
 - 制限なし
 - 制限あり 台
 - 認証禁止

At the bottom of the sidebar are buttons for '取消' (Cancel) and '保存' (Save) (highlighted with a red box and '4').

The main content area includes:

- パスワード (Password): 現在のパスワード (*****), 編集 (Edit)
- 2段階認証 (2-step authentication): 設定済み (Setting complete), 設定削除 (Delete setting)
- 機器 (Devices): 機器数 (Number of devices): 0
- SaaS ID連携 (SaaS ID integration): Office 365 (なし), Google Workspace (なし)

6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

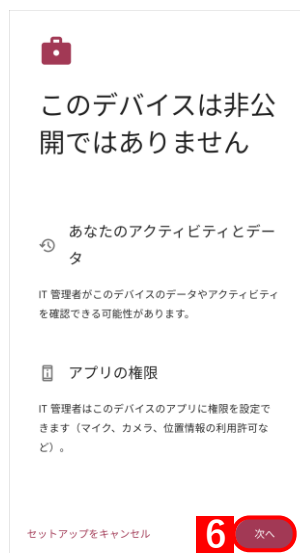
⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

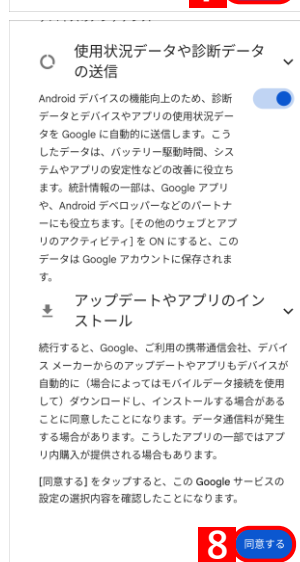
📖 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 169 ページ

- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

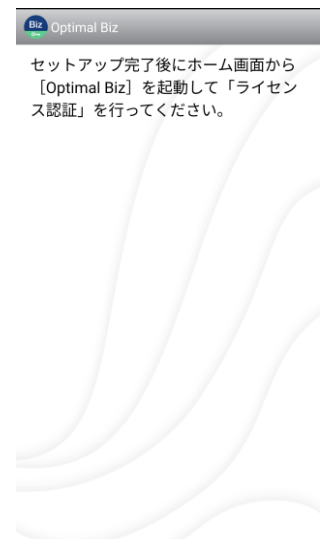
【4】 [次へ] をタップします。**【5】 [同意して続行] をタップします。**

【6】 [次へ] をタップします。**【7】 [もっと見る] をタップします。**

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。

**【8】 [同意する] をタップします。**

【9】 [OK] をタップします。




【10】 [スキップ] をタップします。



【11】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【12】 [Optimal Biz] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

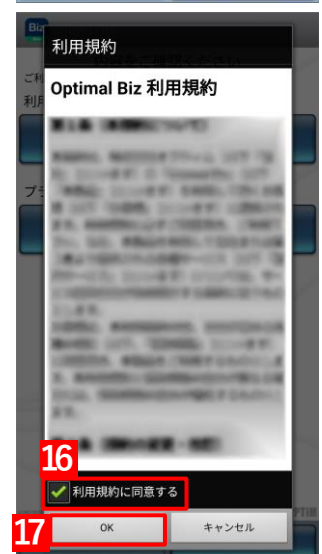
**【13】 [ライセンス認証] をタップします。****【14】 [OK] をタップします。**

【15】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【16】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

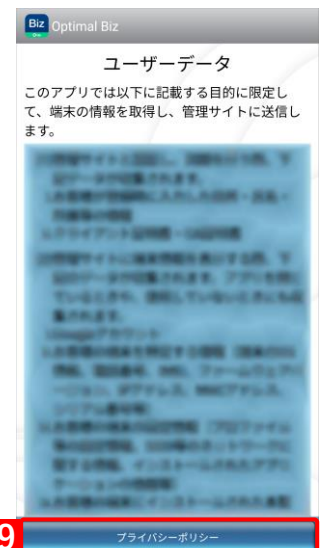
【17】 [OK] をタップします。



【18】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



- 【19】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【20】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
【21】 [OK] をタップします。

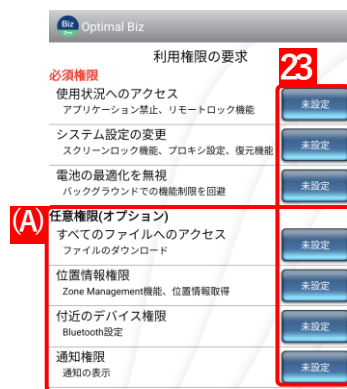
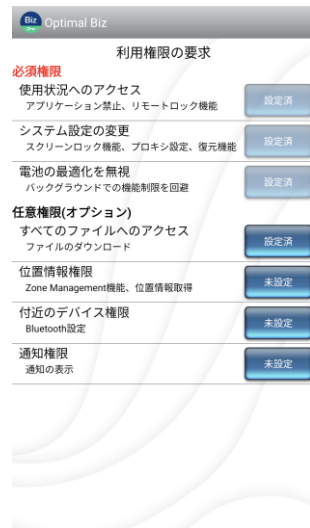


- 【22】** [OK] をタップします。
 ⇒ 権限要求画面が表示されます。

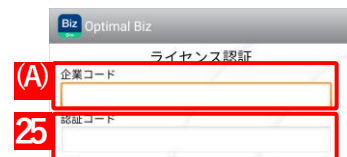


[23] 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
 - (A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

**[24] [OK] をタップします。****[25] 「認証コード」を入力します。**

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

**[26] [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【27】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- ✍️手順【28】～【30】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【28】 必要事項を選択、入力します。**【29】 [次へ] をタップします。**

- ✍️あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✍️管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ✍️機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【30】 [OK] をタップします。

⇒キittingおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🔗「端末にユーザーを割り当てる」167 ページ



6.5 端末にユーザーを割り当てる

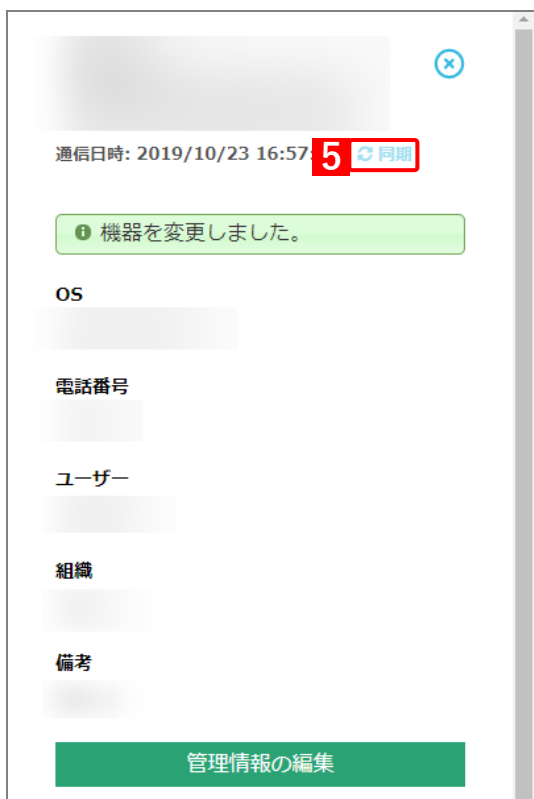
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

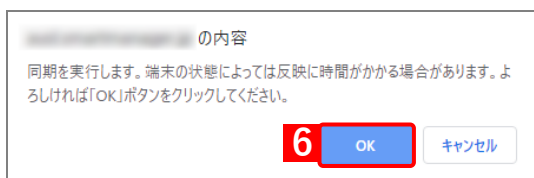
The screenshot shows the Optimal Biz interface. On the left, there is a navigation menu with options like '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', etc. The main area displays a table of devices under the heading '機器'. The table has columns for '機器名', 'OS', '電話番号', 'ユーザー', '組織', '通信日時', and '詳細'. One row is highlighted in orange, and a red box with the number '1' is placed over it. On the right sidebar, there is a '管理情報の編集' button highlighted with a red box and the number '2'. Below this button are other options like '設定の割り当て' and '設定テンプレートの割り当て'.

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。

The screenshot shows the '管理情報' (Management Information) form. At the top, there is a title '管理情報' and a timestamp '通信日時: 2019/10/23 16:57:54'. Below this, there is a '機器名' field. The '所属' (Affiliation) section has two radio buttons: 'ユーザー' (selected) and '組織'. A red box with the number '3' is placed over the 'ユーザー' dropdown menu. Below this, there is a '備考' (Remarks) field. At the bottom, there are two buttons: '保存' (Save) and '取消' (Cancel). The '保存' button is highlighted with a red box and the number '4'.

【5】 [同期] をクリックします。**【6】 [OK] をクリックします。**

⇒ 端末にユーザーが割り当てられます。



6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ✍ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ✍ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ✍ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ✍ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ✍ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。

- ✍ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

Optimal Biz

Android 設定

管理アプリの通信と動作

設定テンプレート

設定バックアップ

セキュリティ

アプリケーション

インターネット

便利機能

証明書管理

Zone Management

Device Owner Mode

ゼロタッチ登録

利用登録

機器一覧

最終同期表示日時: 2018/10/18 11:31

ゼロタッチ登録サーバ同期

IMEI/シリアル番号	ユーザー名	メーカー	ゼロタッチ登録設定更新日時	ゼロタッチ登録サーバ同期日時
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31

©2011 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う

ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。


ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。


注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。

 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/


- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」171 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」177 ページ

参考

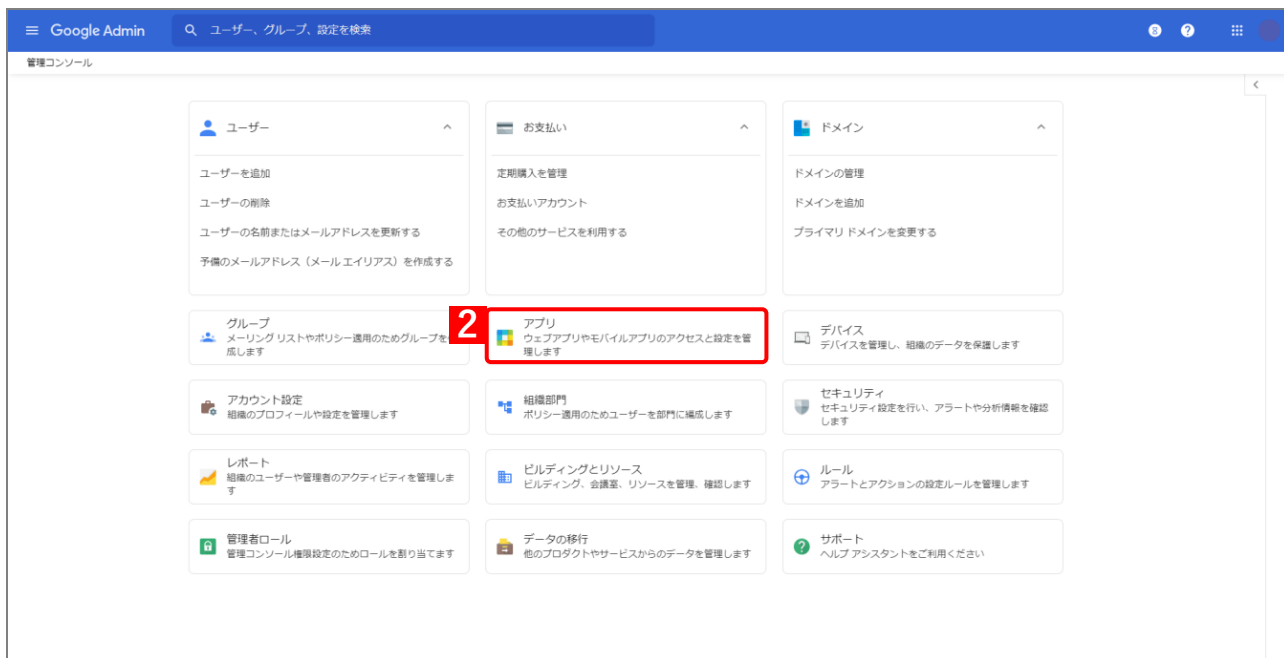
- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

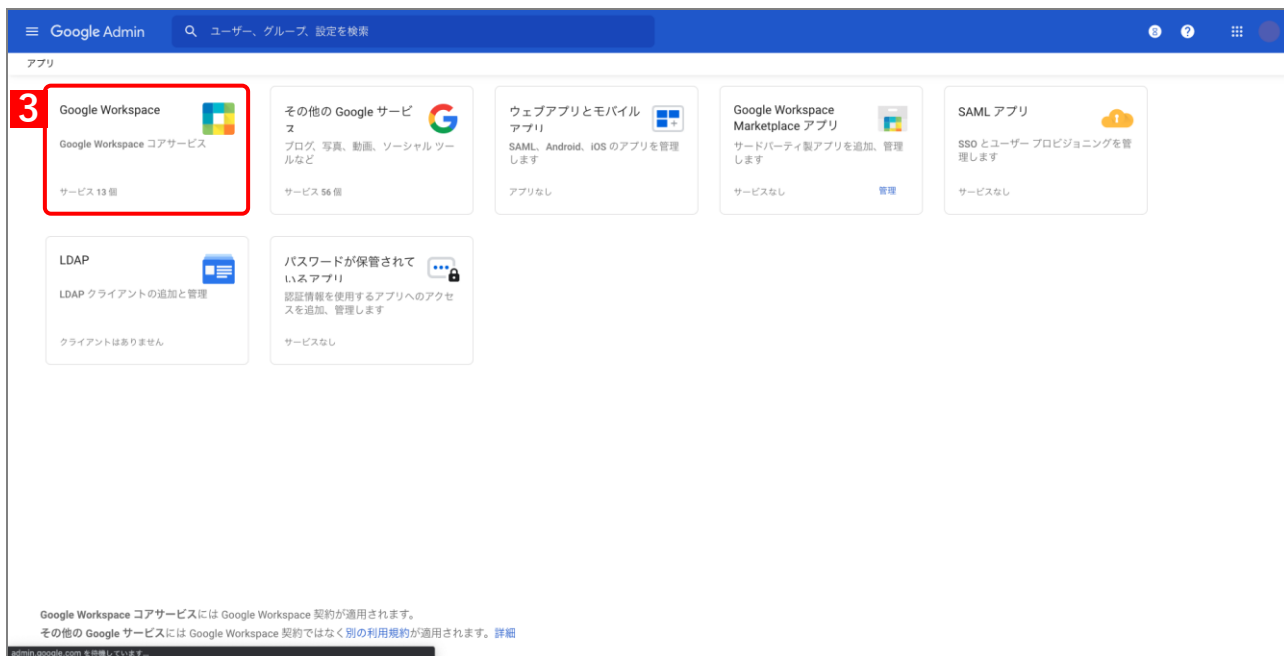
7.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

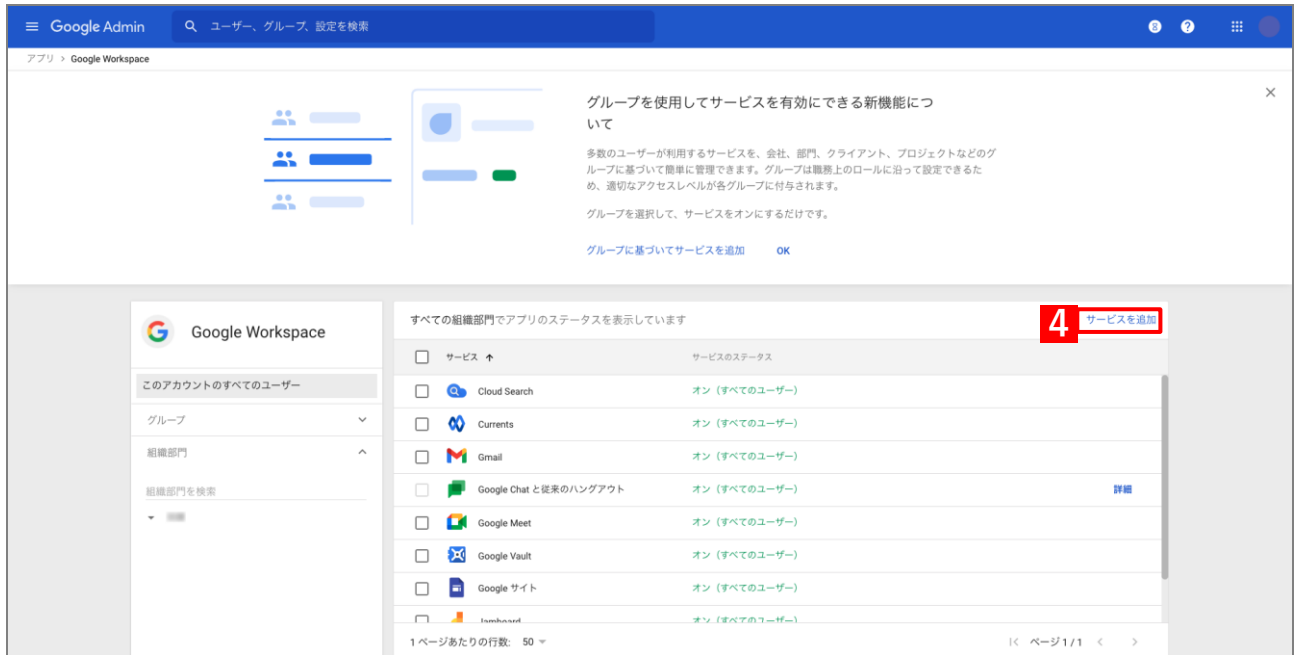
- [1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。
- [2] [アプリ] をクリックします。



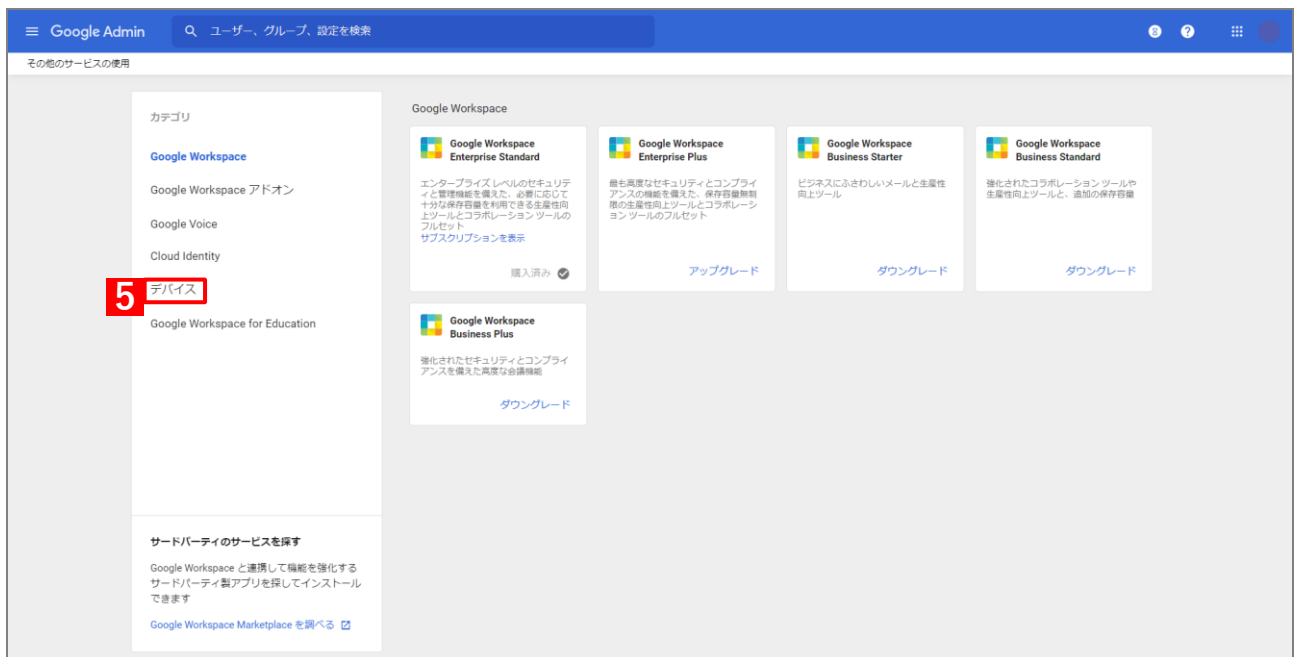
- [3] [Google Workspace] をクリックします。



[4] [サービスを追加] をクリックします。

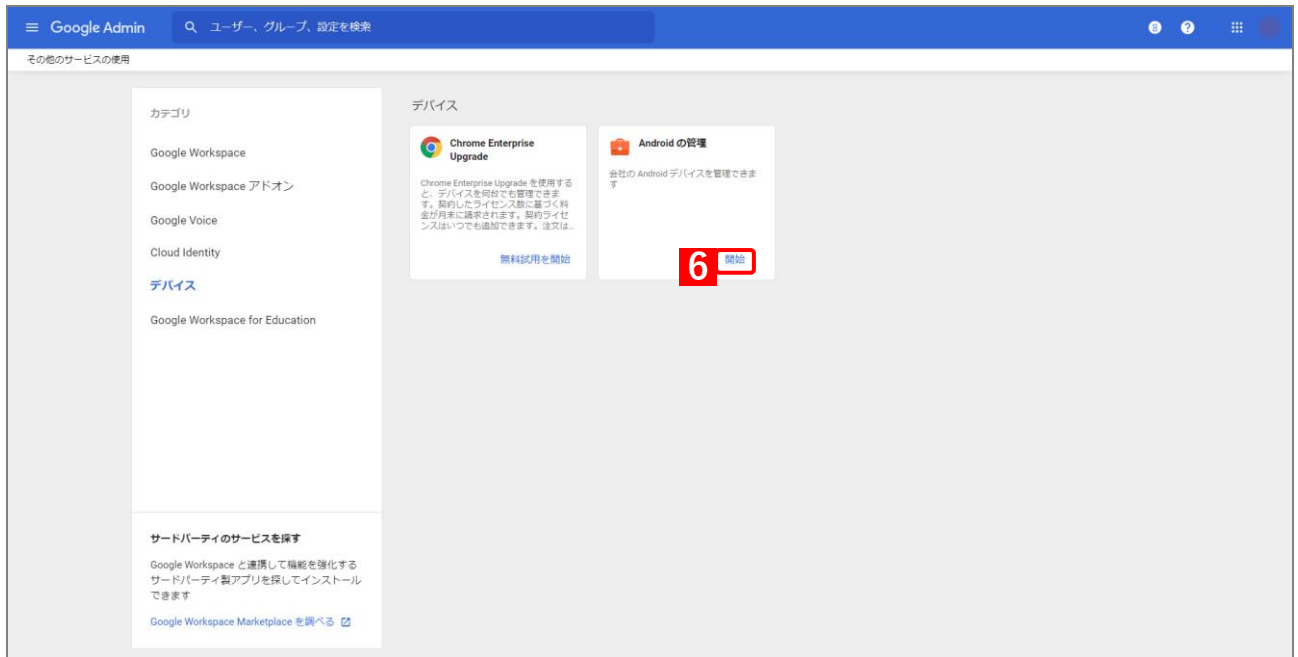


[5] [デバイス] をクリックします。

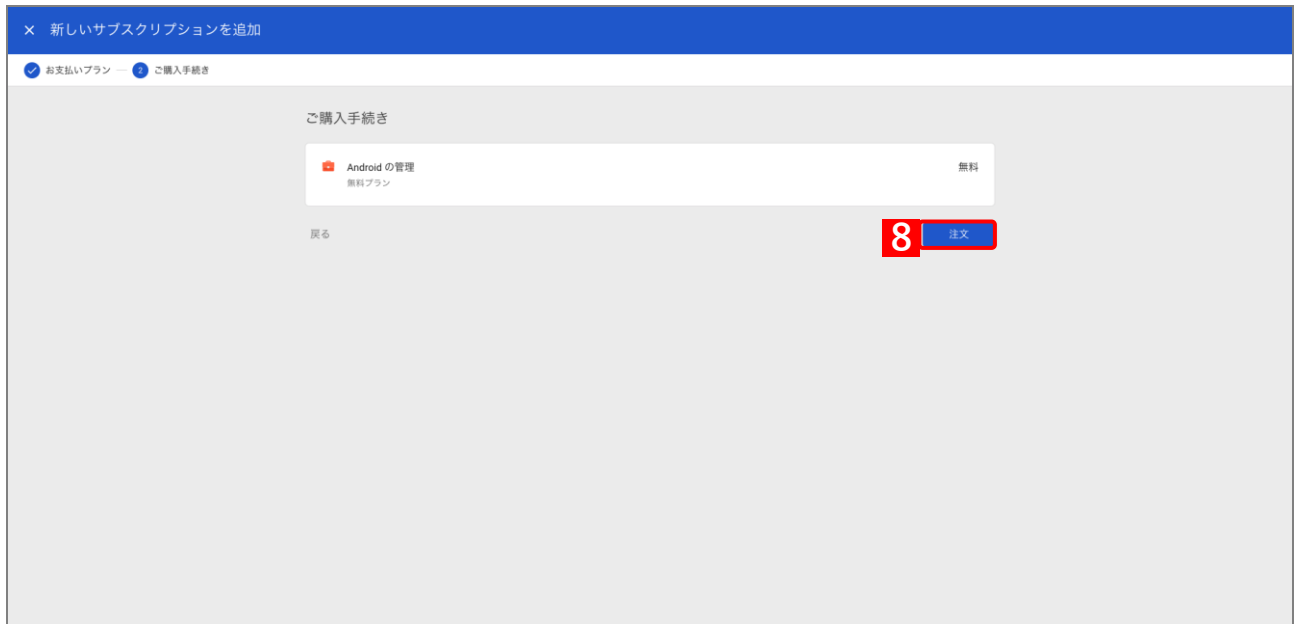


[6] 「Android の管理」の「開始」をクリックします。

本操作により、料金が発生することはありません。

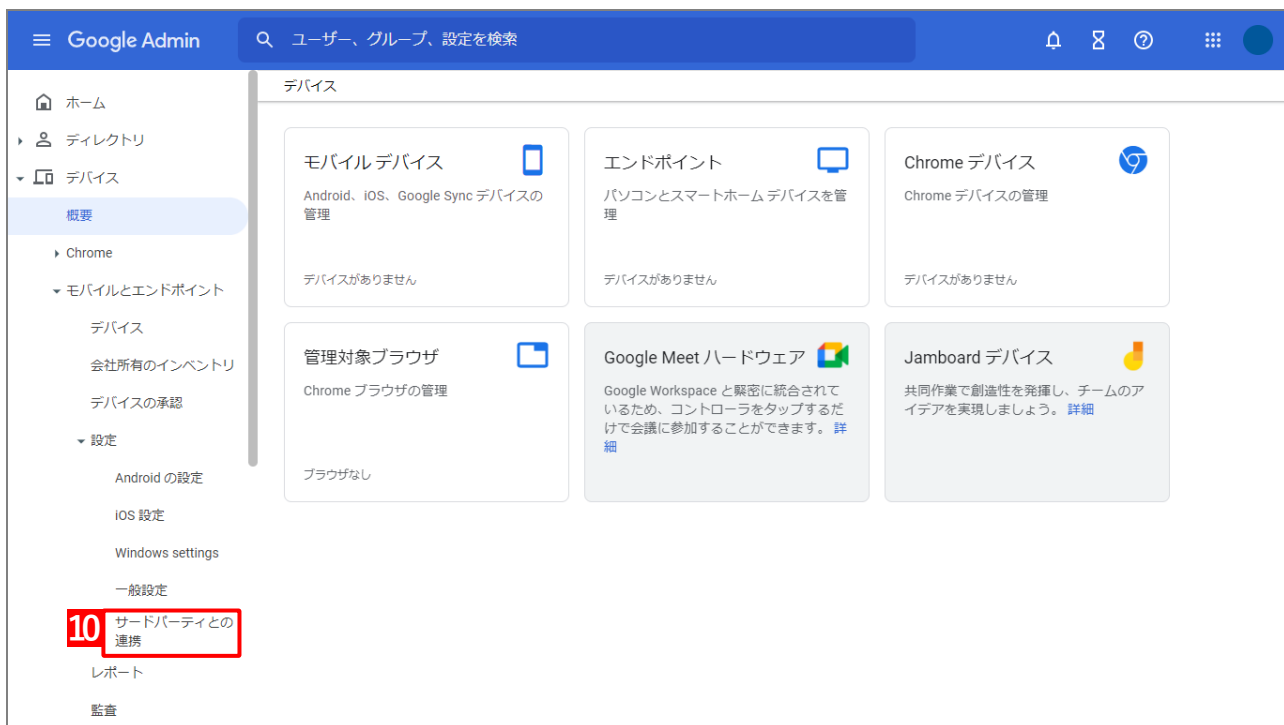
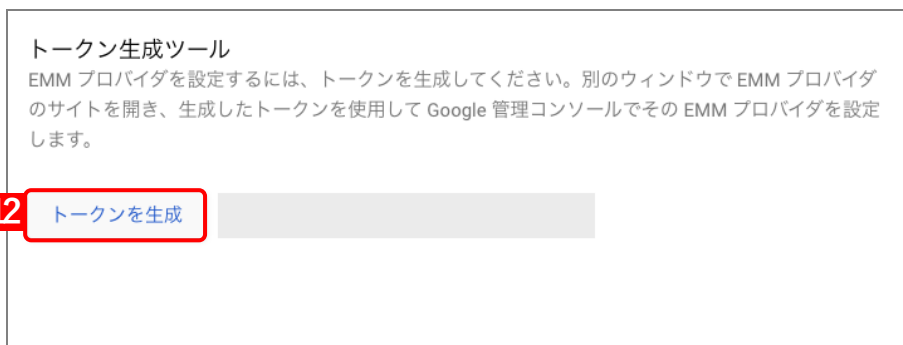
**[7]** 「ご購入手続き」をクリックします。

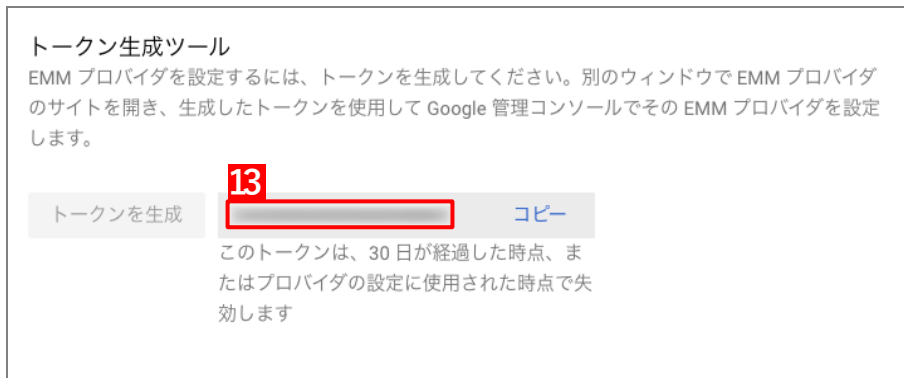
- [8]** [注文] をクリックします。
⇒管理コンソールが表示されます。




- [9]** [デバイス] をクリックします。



[10] [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。**[11]** [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。**[12]** [トークンを生成] をクリックします。

【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。**【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。****【15】 [保存] をクリックします。**

 [保存] をクリックすると、メッセージ画面が表示される場合があります。[×] でメッセージ画面を閉じてください。

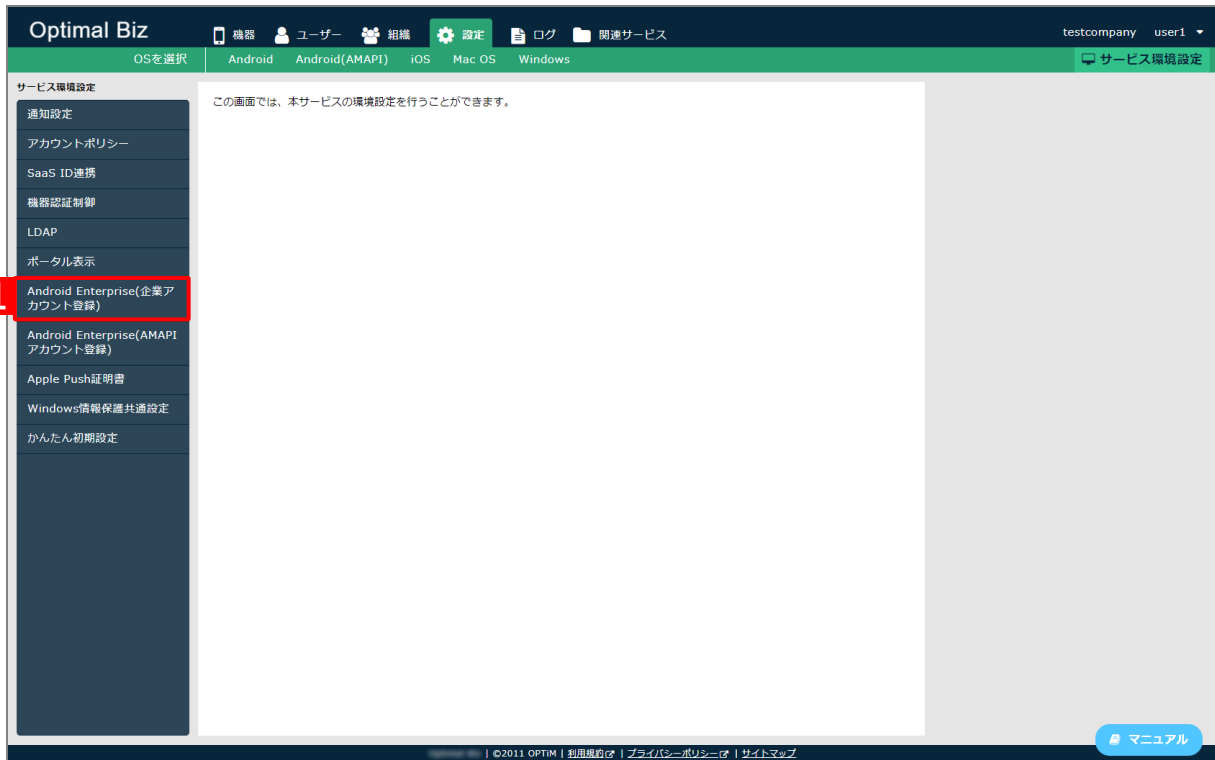


7.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

[3] <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxxx.co.jp」になります。

[5] [アカウント登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It features several callouts: (A) '状態 未登録' in the top left; (1) a warning box about default settings; (2) 'Google Workspaceアカウント' selected under 'アカウント種別'; (3) the URL 'https://play.google.com/work/termservice'; (4) input fields for 'ドメイン' and 'EMMトークン'; and (5) the 'アカウント登録' button in the bottom right.

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

○ Googleアカウント (2) ● Google Workspaceアカウント

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。

(3) <https://play.google.com/work/termservice>

(4) ドメイン
EMMトークン

(5) アカウント登録

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン
[Redacted]
EMMトークン
[Redacted]

(C) 組織ID
[Redacted]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

同意する

アカウント削除

7.3 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google Workspace アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

- ☑ ゼロタッチ端末を Google Workspace アカウントで利用する場合は、本製品と Google Workspace アカウントの連携設定が必要です。Google API の認証設定後に Google Workspace アカウントの連携設定はできません。そのため、必ずあらかじめ以下の操作を行ってください。

🔗 「トークンを発行する」171 ページ

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」177 ページ

7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

- ☑ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- ☑ 利用する Google アカウントがすでにブラウザーに登録されている場合は、本操作は不要です。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [Google アカウント登録] をクリックします。

The screenshot displays the 'Android 設定' (Android Settings) page in the Optimal Biz console. The left sidebar contains a navigation menu where '利用登録' (Registration) is selected and highlighted with a red box and the number '1'. The main content area shows a list of steps for setting up Google accounts. Step 1, 'Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける' (Associate Google account and company/organization email address), is highlighted. A red box around the 'Googleアカウント登録' (Register Google account) link is labeled with the number '2'. Below the steps, there is a text input field for the 'Googleアカウントメールアドレス' (Google account email address) and a green 'アカウント登録' (Register account) button. The footer of the page includes copyright information and a 'マニュアル' (Manual) link.

【3】 Google アカウント作成画面が表示されます。

「姓」「名」「メールアドレス」「パスワード」「パスワードの確認」を入力します。

✔ 「メールアドレス」には、企業ドメインのメールアドレスを入力してください。

✔ (A) [代わりに Gmail アカウントを作成] をクリックすると、Gmail アカウントで作成することになりますので、クリックはしないでください。必ず現在のメールアドレスで作成してください。

【4】 [次へ] をクリックします。

Google
Google アカウントの作成

3 姓 名

メールアドレス
このメールアドレスがご自身のものであることの確認が必要になります。

代わりに Gmail アカウントを作成 (A)

パスワード パスワードの確認
半角英字、数字、記号を組み合わせて 8 文字以上で入力してください

代わりにログイン 4 次へ

1つのアカウントで Google のすべてのサービスをご利用いただけます。

【5】 「コードを入力」に、手順【3】で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。**【6】 [確認] をクリックします。**

Google
メールアドレスの確認

宛てにお送りした確認コードを入力してください。見つからない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

5 コードを入力

戻る 6 確認

【7】 「電話番号」「生年月日」「性別」を入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

Google
Google へようこそ

7 電話番号 (省略可)

Google では、アカウントのセキュリティ保護に電話番号を使用します。電話番号が他のユーザーに公開されることはありません。

年 月 日
生年月日

性別

個人情報是非公開であり、安全です

この情報が必要な理由

戻る 8 次へ

【9】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。

Google
プライバシー ポリシーと利用規約

また Google では、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いの端末全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスペル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

設定はご自身で管理いただけます
アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。


Google が収集するデータやそのデータの用途は、ユーザーが管理できます

その他の設定
キャンセル 9 同意する

[10] 以下の画面が表示されたら、登録が完了です。

7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする

登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

7.3.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

[1] [ゼロタッチポータル] をクリックします。

The screenshot shows the 'Optimal Biz' interface for Android settings. The main content area lists five steps for setup. Step 1, 'Google アカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける', is highlighted with a red box and a red number '1'. The page includes a navigation menu on the left, a top header with 'Optimal Biz' and user information, and a footer with copyright and privacy policy links.

[2] 登録した Google アカウントを選択します。

The screenshot shows the Google account selection screen. The screen displays the Google logo and the title 'アカウントの選択'. There are three account options, each with a colored circle and a blurred name. The first two options are marked 'ログアウトしました'. The third option is '別のアカウントを使用'. At the bottom, there is a link for 'アカウントを削除'.

[3] 「I accept the Terms of Service.」 にチェックを入れます。

[4] [同意する] をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will

3 I accept the Terms of Service.

4 同意する 同意しない

7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。

The screenshot shows the 'Optimal Biz' settings interface. The left sidebar contains a menu with '利用登録' (Utilization Registration) highlighted by a red box and the number '1'. The main content area displays a list of steps for Android provisioning. Step 4, 'API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う' (Perform API settings and JSON file download), is highlighted by a red box and the number '2'. Within this step, the link 'Android Device Provisioning Partner API の登録' (Register Android Device Provisioning Partner API) is also highlighted by a red box.

- [3]** 関連付けした「メールアドレス」を選択します。

The screenshot shows the 'アカウントの選択' (Select Account) screen. The first option, a green circle with a blurred name and 'ログアウトしました' (Logged out), is highlighted by a red box and the number '3'. At the bottom, there is a link 'アカウントを削除' (Delete account).

- 【4】** 初回ログイン時のみ、利用規約に同意画面が表示されます。
利用規約にチェックを入れます。
- 【5】** [同意して続行] をクリックします。

Google Cloud Platform

へようこそ

Google Cloud Platform のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを 1 か所で作成し、管理します。

国

日本

4 利用規約

私は、[Google Cloud Platform の利用規約](#)、および[適用されるサービスと API の利用規約](#)に同意します。

最新情報をメールで通知

Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

5 同意して続行

- 【6】** Google Cloud Platform 画面が表示されます。任意の「プロジェクト名」を入力します。

Google Cloud Platform

プロジェクトとリソースの検索

新しいプロジェクト

⚠️ 割り当て内の残りのプロジェクト数は 12 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。 [詳細](#)

[MANAGE QUOTAS](#)

6 プロジェクト名 *

プロジェクト ID: [ID]. 後で変更することはできません。 [編集](#)

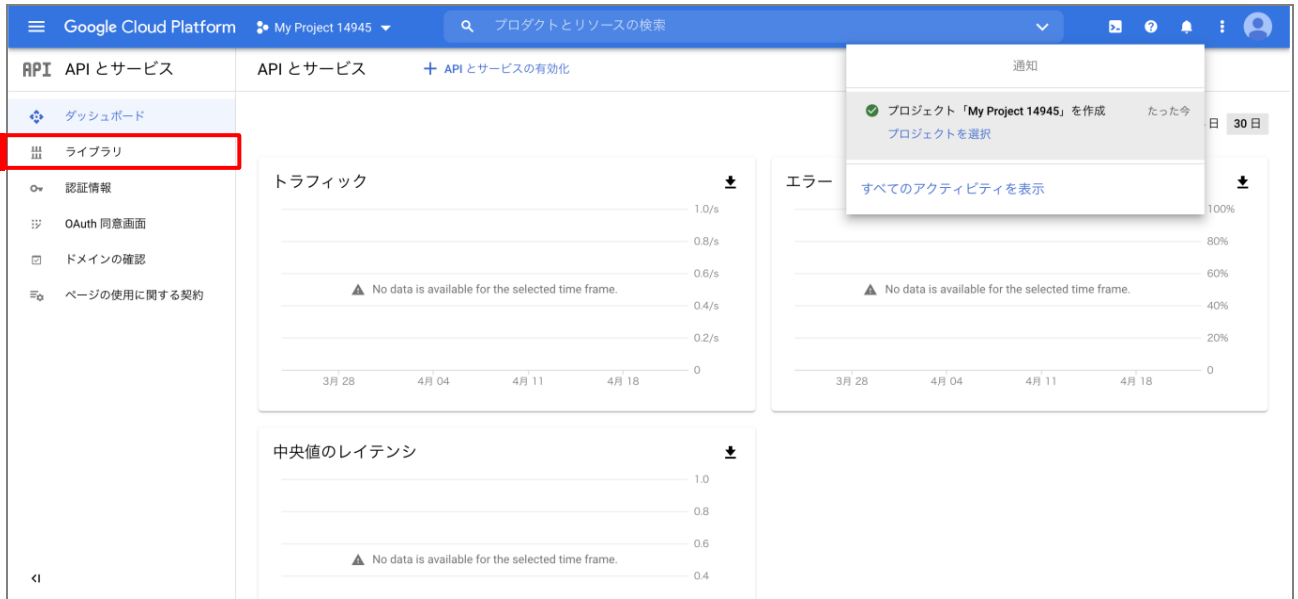
場所 *

🔍 組織なし [参照](#)

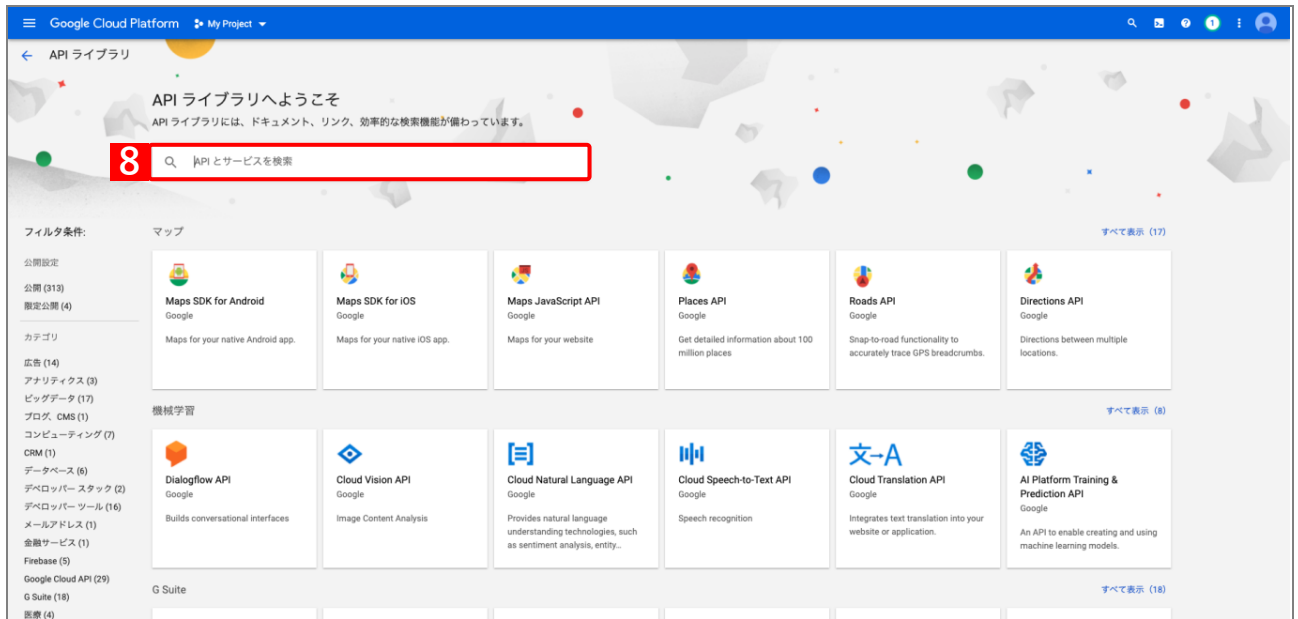
親組織またはフォルダ

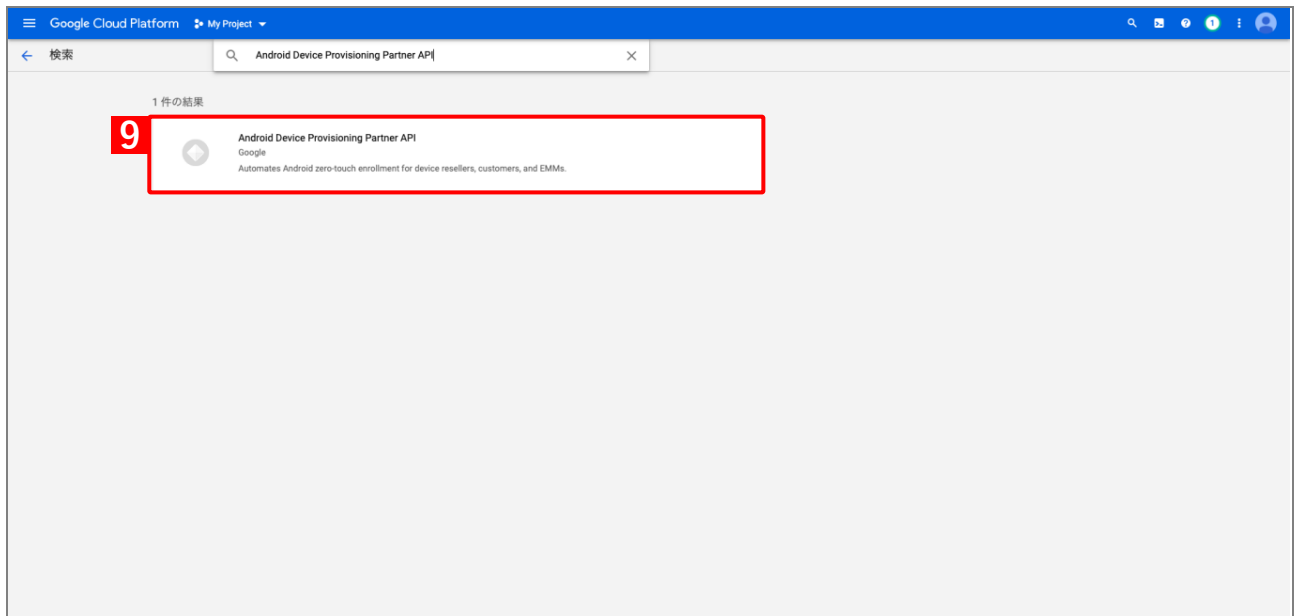
作成 キャンセル

[7] 「ライブラリ」をクリックします。

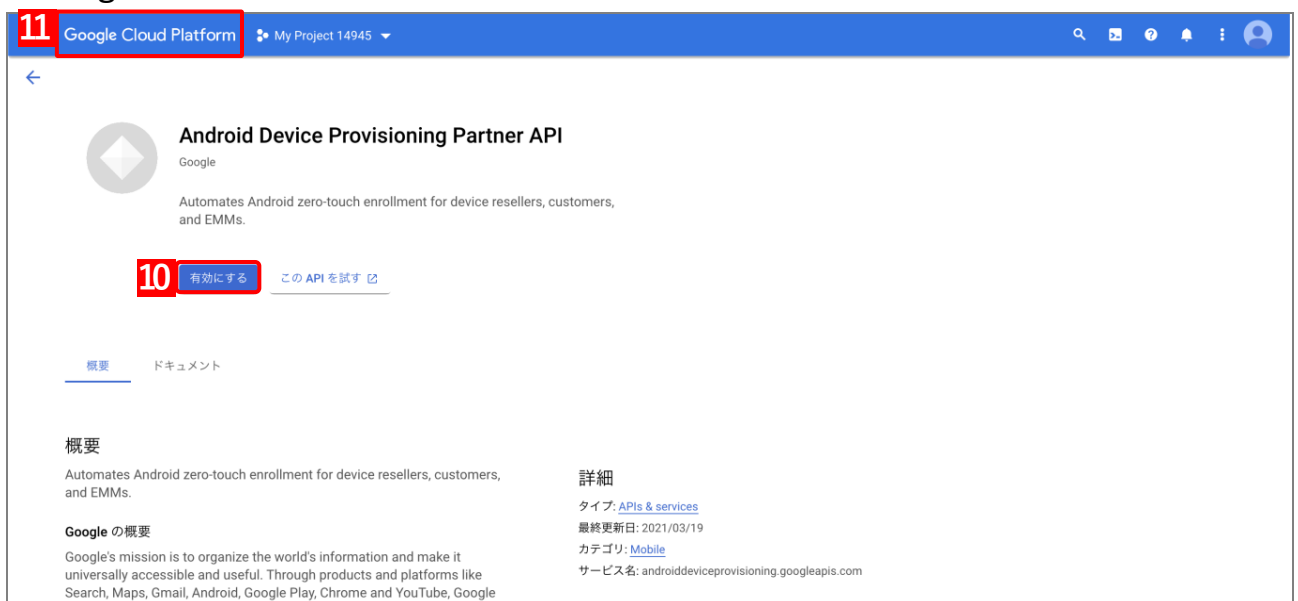


[8] 「API とサービス検索」に「Android Device Provisioning Partner API」と入力し、検索します。



【9】 表示結果の [Android Device Provisioning Partner API] をクリックします。**【10】** [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

【11】 [Google Cloud Platform] をクリックします。


【12】 **[認証情報]** をクリックします。



【13】 **[同意画面を構成]** をクリックします。



【14】 [作成] をクリックします。

-  (A) 「User Type」を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

(A) User Type

内部 

組織内のユーザーのみが使用できます。検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。

外部 

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、[アプリの確認](#)が必要となる場合があります。

14 **作成**

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

- [15]** 「アプリ名」に「Optimal Biz」と入力します。
- [16]** 「ユーザー サポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- [17]** 「承認済みドメイン」に「optim.co.jp」と入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。
✂ [Enter] キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- [18]** 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- [19]** [保存して次へ] をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

15 同意を求めるアプリの名前

16 ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

アプリのロゴ [参照](#)
ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します


17 **承認済みドメイン** ⓘ
同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

デベロッパーの連絡先情報

18 これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

19

【20】 [保存して次へ] をクリックします。

 スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。 [詳細](#)

[スコープを追加または削除](#)


🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

20 [保存して次へ](#) キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面 —
 スコープ —
 3 **テストユーザー** —
 4 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

[+ ADD USERS](#)

☰ 表をフィルタリング ?

⚠ 悪用を防ぐために、ユーザーは追加できても削除できません

ユーザー情報

表示する行がありません

21 [保存して次へ](#) キャンセル

[22] 設定内容を確認して、[ダッシュボードに戻る] をクリックします。

アプリ登録の編集

指定されていません

[アプリケーション利用規約] リンク
指定されていません

承認済みドメイン
[REDACTED]

連絡先メールアドレス
[REDACTED]

スコープ 編集

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

テストユーザー 編集

[REDACTED] ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

☰ 表をフィルタリング ?

ユーザー情報
表示する行がありません

22 [ダッシュボードに戻る](#)

[23] OAuth 同意画面が表示されます。[アプリを公開] をクリックします。

Google Cloud Platform ▶ My Project ▶ OAuth 同意画面

API とサービス

- ◆ ダッシュボード
- ☰ ライブラリ
- 🔍 認証情報
- 🔍 **OAuth 同意画面**
- 🔍 ドメインの確認
- 🔍 ページの使用に関する契約

23 [アプリを公開](#)

公開ステータス ●

テスト

ユーザーの種類

外部 ●

内部へ

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

[+ ADD USERS](#)

[REDACTED] ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

●

[SHOW MORE](#)

OAuth レート上限

ガイド

- Google OAuth 同意画面
- OAuth 同意画面とは何ですか? ▾
- OAuth 同意のスコープとは ▾
- 機密性の高い API スコープとはどのようなものですか? ▾
- 制限付き API スコープとはどのようなものですか? ▾
- アプリ登録プロセス
どのような情報が必要ですか? ▾
- アプリは Google の確認を受ける必要がありますか? ▾
- アプリの確認を受けなかった場合はどうなりますか? ▾
- 確認プロセスにかかる時間はどの程度ですか? ▾
- アプリを使用できるユーザーは何人ですか? ▾
- ドメインの所有権の確認 ▾
- 他に必要な確認事項 ▾

[24] メッセージを確認して、**[確認]** をクリックします。

本番環境に push しますか？

Google アカウントを持つすべてのユーザーがアプリを使用できるようにします。

検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。10 個以上のドメインの追加、ロゴのアップロード、プライベートまたは制限されたスコープのリクエストなど、今後アプリの構成を変更する場合は、[検証を受けるために送信](#)する必要があります。

キャンセル
24
確認

[25] 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。

[26] **[認証情報]** をクリックします。

The screenshot shows the Google Cloud Platform console for a project named 'My Project'. The left sidebar has '認証情報' (Credentials) highlighted with a red box and labeled '26'. The main content area shows the 'OAuth 同意画面' (OAuth consent screen) configuration for 'OptimalBiz'. The '確認ステータス' (Confirmation status) is '検証は不要です' (Verification is not required). The '公開ステータス' (Public status) is '本番環境' (Production), which is highlighted with a red box and labeled '25'. Below it, 'ユーザーの種類' (User types) is set to '外部' (External). The 'OAuth レート上限' (OAuth rate limits) section shows 'ユーザー数の上限' (User count limit) is set to '0'. The right sidebar contains a 'ガイド' (Guide) section with various links related to OAuth consent screens.

[27] **[認証情報を作成]** をクリックします。

[28] **[OAuth クライアント ID]** を選択します。

The screenshot shows the '認証情報' (Credentials) page in the Google Cloud Platform console. At the top, there is a '+ 認証情報を作成' (Create credentials) button, highlighted with a red box and labeled '27'. Below it, there are sections for 'API キー' (API keys) and 'OAuth 2.0' (OAuth 2.0). In the 'API キー' section, the 'OAuth クライアント ID' (OAuth client ID) option is selected and highlighted with a red box and labeled '28'. Below this, there are sections for 'サービス アカウント' (Service accounts) and 'OAuth 2.0' (OAuth 2.0) with various configuration options and buttons.

- [29]** 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから、「ウェブアプリケーション」を選択します。
- [30]** 任意で「名前」を入力します。
- [31]** 「承認済みリダイレクト URI」の [URI を追加] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

29 アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

30 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

i 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 **?**
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加


承認済みのリダイレクト URI **?**
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI
https://www.example.com

31 + URI を追加

作成 キャンセル

【32】 「URI」に「https://biz3.optim.co.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。(※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。)

 警告メッセージが表示された場合は、手順【17】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【33】 [作成] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

アプリケーションの種類*
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

名前*
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI 
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 URI

+ URI を追加

33 作成 キャンセル

[34] [OK] をクリックします。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

i [OAuth 同意画面](#)が確認されるまで、OAuth では[プライベートデータにかかわるスコープのログイン](#)が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があります、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID

クライアント シークレット

34 **OK**

[35] ダウンロードアイコンをクリックして、JSON ファイルをダウンロードします。

認証情報 [+ 認証情報を作成](#) [削除](#)

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	制限	キー
表示する API キーがありません				

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	
<input type="checkbox"/>	ウェブクライアント 1	2021/01/20	ウェブアプリケーション	1051415656456-op9...	  

35

サービス アカウント

[サービス アカウントを管理](#)

<input type="checkbox"/>	メール	名前 ↑
表示するサービス アカウントがありません		

7.3.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [3]** 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- [4]** [アカウント登録] をクリックします。

Optimal Biz

OSを選択 Android Android(AMAPI) iOS Mac OS Windows

Android 設定

管理アプリの通信と動作
設定テンプレート
設定バックアップ
セキュリティ
アプリケーション
インターネット
便利機能
証明書管理
Zone Management
Device Owner Mode
ゼロタッチ登録

1 利用登録

1. Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける
会社・組織用のメールアドレスをGoogleアカウントとして利用できるよう、関連付けを行います。
以下のリンクより、登録を行ってください。
[Googleアカウント登録](#)
※ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意し、関連付けを行ってください。
※ Google Workspaceアカウントをご利用、もしくは既に関連付けを行っている場合は不要です。

2. ゼロタッチポータルにログインできるようにする
ゼロタッチ対応端末の購入元から、ゼロタッチポータルログイン情報を入手し、
1.で作成したメールアドレスでログインできるようにしてください。
詳細な手順は端末購入元にご確認ください。

3. ゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意する
以下のリンクよりゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意してください。
[ゼロタッチポータル](#)

4. API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う
以下のリンクからGoogle APIsにアクセスし、Android Device Provisioning Partner APIの登録を行います。
[Android Device Provisioning Partner APIの登録](#)
登録後、JSONファイルをダウンロードします。
詳細な手順は以下のマニュアルをご覧ください。
[*Androidキッティングマニュアル](#)

5. JSONファイルをアップロードする
4.でダウンロードしたJSONファイルをアップロードします。
JSONファイル選択
2 ファイルを選択 選択されていません
JSONファイルを作成する際にポータルにログインしたアカウントのメールアドレスをお忘れにならないよう、
以下のGoogleアカウントメールアドレス欄に入力してください。

3 Googleアカウントメールアドレス

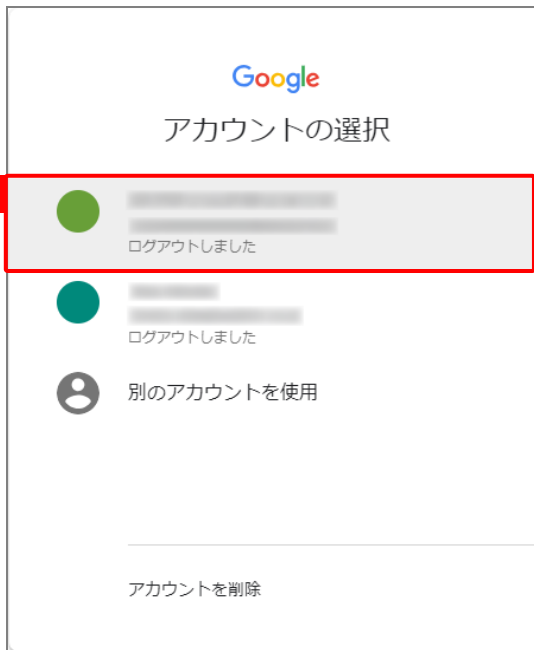
4 アカウント登録

©2011 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

[5] Google のログイン画面にリダイレクトします。
登録した Google アカウントを選択します。

⇒警告画面が表示されます。



[6] [詳細] をクリックします。



【7】 [ドメイン (安全でないページ) に移動] をクリックします。

Google アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxx.co.jp」と表示されます。





このアプリは Google で確認されていません

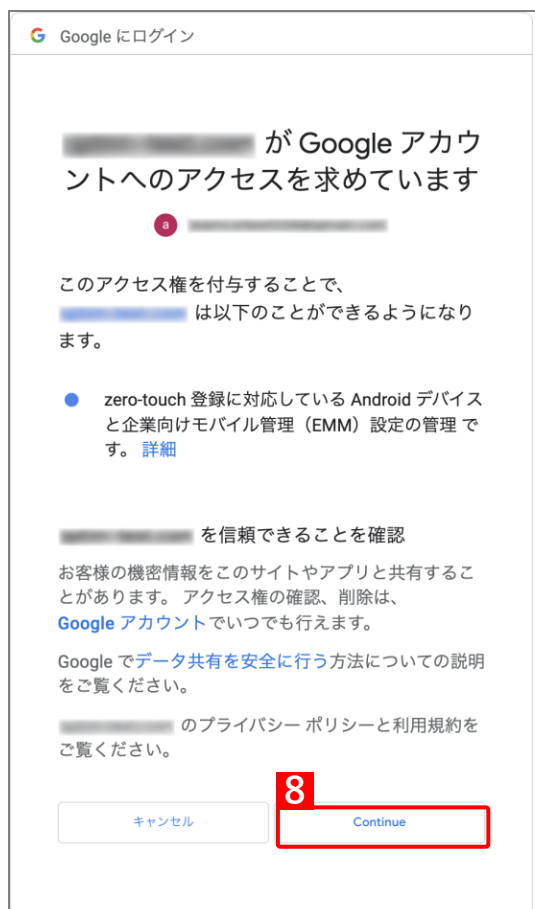
アプリが、Google アカウントのプライベートな情報へのアクセスを求めています。開発者 () と Google によって確認されるまで、このアプリを使用しないでください。

開発者の場合は、この画面が表示されないようにするには確認リクエストを送信してください。 [詳細](#)

[詳細を非表示](#) [安全なページに戻る](#)

リスクを理解し、開発者 () を信頼できる場合のみ、続行してください。

7 (安全ではないページ) に移動

【8】 [continue] をクリックします。

Google にログイン

が Google アカウントへのアクセスを求めています

このアクセス権を付与することで、 は以下のことができるようになります。

- zero-touch 登録に対応している Android デバイスと企業向けモバイル管理 (EMM) 設定の管理です。 [詳細](#)

を信頼できることを確認

お客様の機密情報をこのサイトやアプリと共有することがあります。アクセス権の確認、削除は、 [Google アカウント](#) でいつでも行えます。

Google で [データ共有を安全に行う方法](#) についての説明をご覧ください。

のプライバシー ポリシーと利用規約をご覧ください。

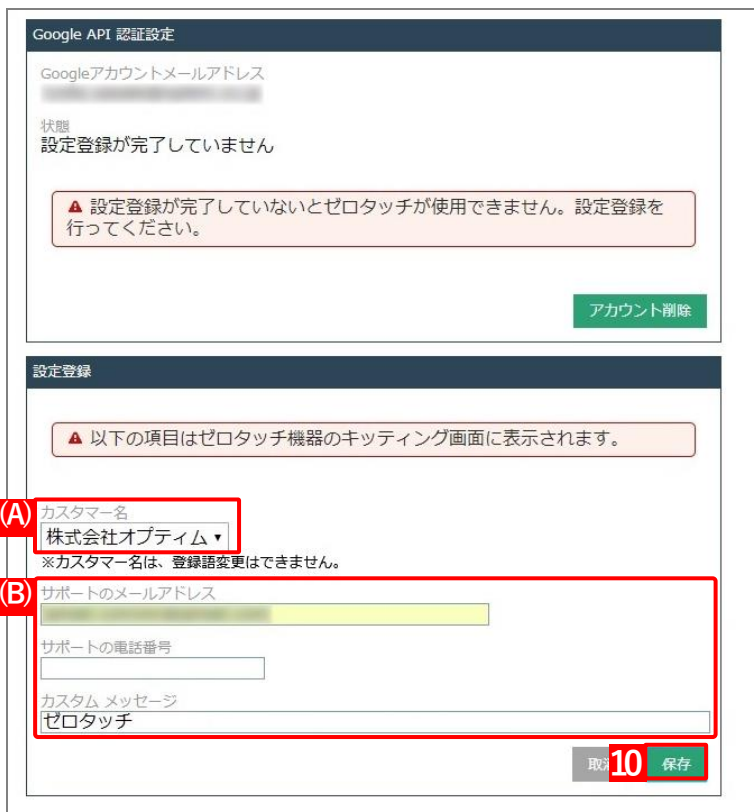
[キャンセル](#) **8** [Continue](#)

[9] 設定登録を行います。[新規作成] をクリックします。

- ❏ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。
- ❏ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。

**[10] [保存] をクリックします。**

- ❏ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



【11】 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

⇒ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Googleアカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

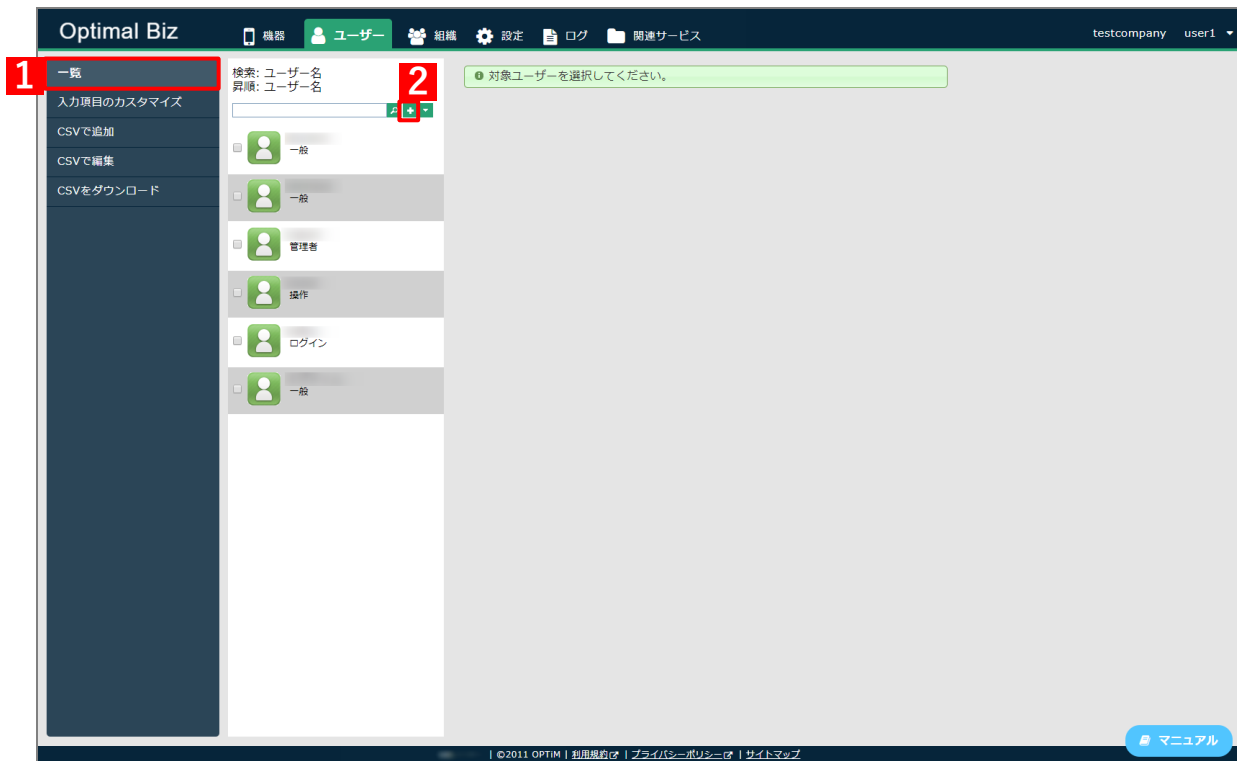
カスタム メッセージ

(C) 編集


7.4 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



The screenshot displays the '管理情報 - 編集' (Edit User Information) form. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Contains fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type) with radio buttons for '管理者' (Admin), '操作' (Operator), '閲覧者' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン' (Login), and '一般' (General), '組織' (Organization), '分類' (Classification) dropdown, and '機器認証制限' (Device Authentication Limit) with radio buttons for '制限なし' (No Limit), '制限あり' (Limit), and '認証禁止' (Prohibit Authentication).
- パスワード**: Contains '現在のパスワード' (Current Password) field with a '編集' (Edit) button.
- 2段階認証**: Contains '設定' (Settings) and '設定済み' (Settings Complete) status, with a '設定削除' (Delete Settings) button.
- 機器**: Contains '機器数' (Number of Devices) field showing '0'.
- SaaS ID連携**: Contains 'Office 365' and 'Google Workspace' status, both showing '(なし)' (None).

At the bottom of the form, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box and a red '4'.

7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。

The screenshot shows the Optimal Biz user management interface. On the left, there is a sidebar with navigation options: 一覧, 入力項目のカスタマイズ, CSVで追加, CSVで編集, and CSVをダウンロード. The main area displays a list of users with columns for name, role, and status. A red box labeled '1' highlights the first user in the list. To the right, the edit form for a user is shown, with a red box labeled '2' highlighting the '編集' (Edit) button. The form includes fields for name, kana name, gender, surname, user ID, email address, user type, organization, category, and device registration limit. It also has sections for password, two-factor authentication, and SaaS ID connection.

【3】 「メールアドレス」 に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 「保存」 をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows the '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) form. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Fields for Name (名前), Kana (フリガナ), Surname (姓), Given Name (名), User ID (ユーザーID), and Email Address (メールアドレス). The Email Address field is highlighted with a red box and a '3' in a red square.
- ユーザー種別**: Radio buttons for user roles: 管理者 (全ての操作ができます), 操作, 閲覧者 (変更操作ができません), ロック・ワイプ, ログイン (個別に権限を設定), and 一般 (ログインできません).
- 組織**: A dropdown menu for organization selection.
- 分類**: A dropdown menu for classification, currently set to '(未分類)'. The 'Save' button is highlighted with a red box and a '4' in a red square.
- 機器認証制限**: Radio buttons for device authentication limits: 制限なし, 制限あり (with a numeric input field), and 認証禁止.
- パスワード**: Section for password management, including '現在のパスワード' (Current Password) and a '編集' (Edit) button.
- 2段階認証**: Section for two-step authentication, including '設定' (Settings) and '設定済み' (Settings Complete) status, and a '設定削除' (Delete Settings) button.
- 機器**: Section for device management, including '機器数' (Number of Devices) set to 0.
- SaaS ID連携**: Section for SaaS ID integration, including 'Office 365 (なし)' and 'Google Workspace (なし)'.

Navigation tabs at the top include: 管理, 「Appとブック」設定, アクセス制御, その他, and 操作.

7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

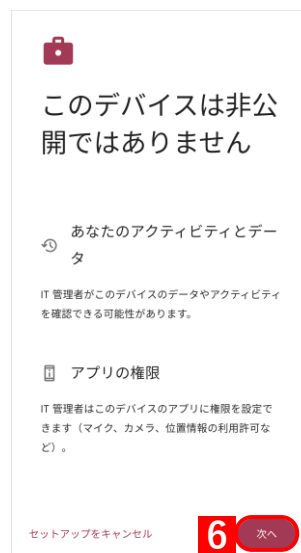
🔑 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 219 ページ

- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

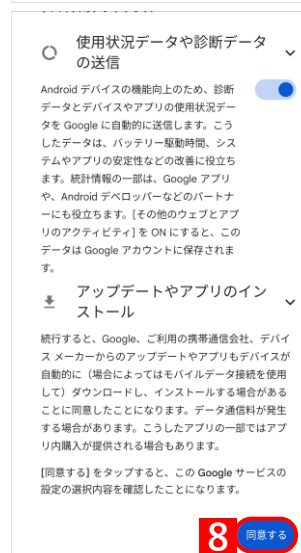
【4】 [次へ] をタップします。

【5】 [同意して続行] をタップします。

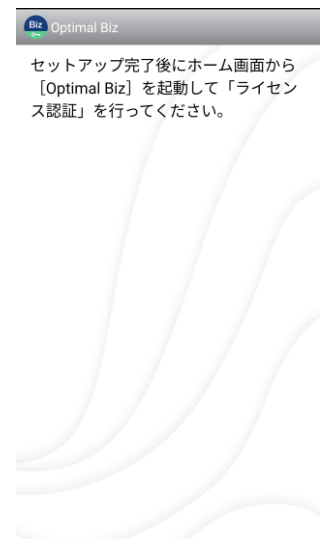


【6】 [次へ] をタップします。**【7】 [もっと見る] をタップします。**

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。

**【8】 [同意する] をタップします。**

【9】 [OK] をタップします。




【10】 [スキップ] をタップします。



【11】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【12】 [Optimal Biz] をタップします。

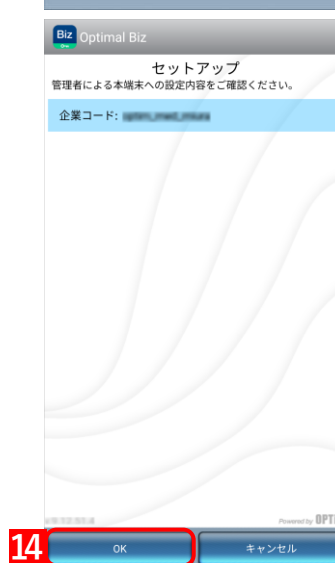
 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



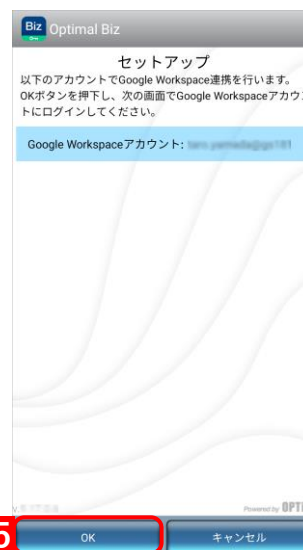
【13】 [ライセンス認証] をタップします。



【14】 [OK] をタップします。



【15】 [OK] をタップします。

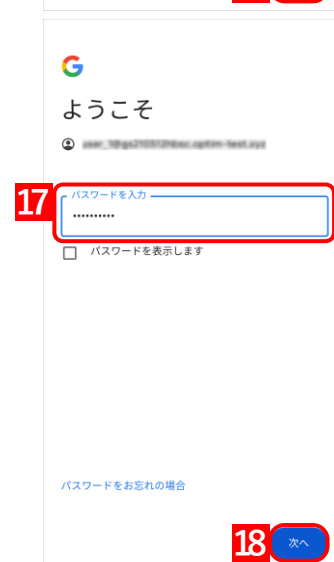


【16】 [次へ] をタップします。



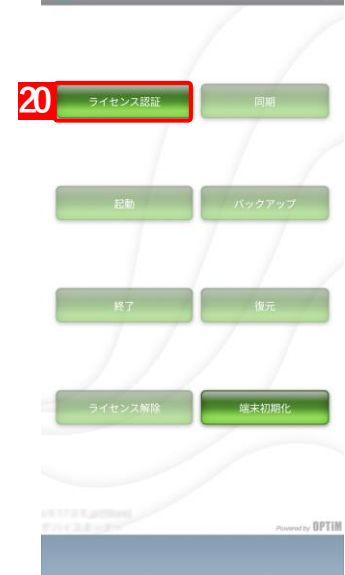
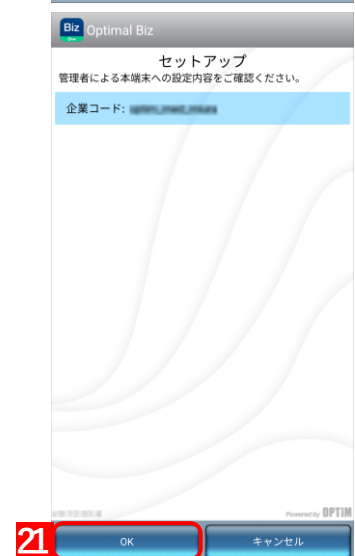
【17】 パスワードを入力します。

【18】 [次へ] をタップします。



【19】 [同意する] をタップします。

✎ Android 12 の場合は、すでにセットアップされている旨のメッセージが表示されるので、確認してください。

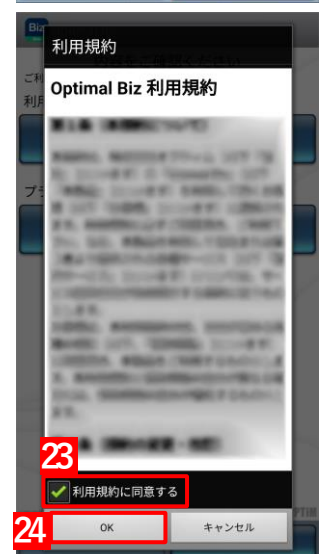
**【20】 [ライセンス認証] をタップします。****【21】 [OK] をタップします。**

【22】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【23】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

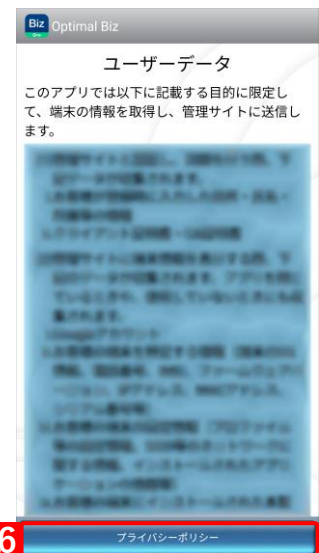
【24】 [OK] をタップします。



【25】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



【26】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【27】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【28】 [OK] をタップします。

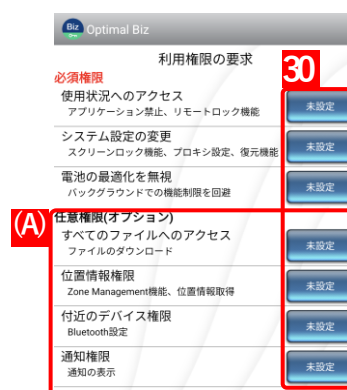
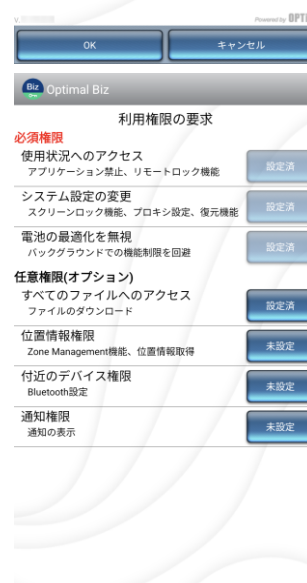


【29】 [OK] をタップします。
⇒ 権限要求画面が表示されます。

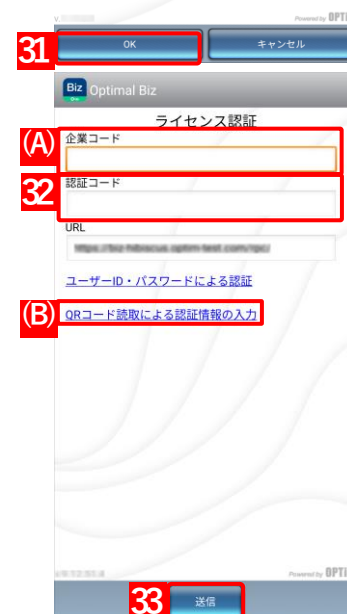


【30】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。

**【31】 [OK] をタップします。****【32】 「認証コード」を入力します。**

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

**【33】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

【34】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- ✎手順【35】～【37】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【35】 必要事項を選択、入力します。**【36】 [次へ] をタップします。**

- ✎あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ✎機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【37】 [OK] をタップします。

⇒キットニングおよびライセンス認証が完了しました。以下に進んでください。

🔗「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」219 ページ



7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ✍ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ✍ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ✍ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ✍ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ✍ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。

- ✍ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

The screenshot displays the 'Optimal Biz' management interface. The top navigation bar includes 'Optimal Biz', '機器', 'ユーザー', '組織', '設定', 'ログ', and '関連サービス'. The user is logged in as 'testcompany user1'. The main menu on the left has 'Android 設定' expanded, with '機器一覧' selected and highlighted by a red box labeled '1'. The main content area shows a table titled 'ゼロタッチ登録サーバ同期' with a '最終同期表示日時: 2018/10/18 11:31' header. The table has five columns: 'IMEI/シリアル番号', 'ユーザー名', 'メーカー', 'ゼロタッチ登録設定更新日時', and 'ゼロタッチ登録サーバ同期日時'. A red box labeled 'A' highlights the 'IMEI/シリアル番号' column header. A red box labeled '2' highlights the 'ゼロタッチ登録サーバ同期' button in the top right corner of the table area. The footer contains copyright information for OPTIM and links to '利用規約', 'プライバシーポリシー', and 'サイトマップ'. A 'マニュアル' button is visible in the bottom right corner.

8 その他のキッティング方法

QR コードで端末のキッティングを行います。

注意

- キッティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
- Android Enterprise を利用している場合は、あらかじめ管理サイトに Google アカウントの登録が必要です。詳細については、以下を参照してください。
[🔗 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」 12 ページ](#)
- Android 6.0 以上の端末で利用できます。ただし、端末によっては対応していない場合があります。詳細については、以下を参照してください。
[🔍 『Android エージェント対応端末表』](#)
- 🔍 動作保証の対象は、Android 11 以上です。
- 従来版エージェントから切り替える場合は、端末を初期化してからキッティングを行ってください。

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
[🔍 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」](#)

8.1 QRコードでキッティングする

QRコードを読み込んで、キッティングができます。

8.1.1 QRコードを表示する

- 【1】 [機器] → [認証手順] をクリックします。
- 【2】 [キッティング用 QR コード] をクリックします。

⇒ Device Owner Mode キッティング用 QR コードが表示されます。

表示された QR コードは「QRコードを端末に読み込む」手順【2】で端末に読み込みます。

- ☑ エージェントのバージョンが上がると、QRコードも変更になります。最新の QR コードは管理サイトを確認してください。

The screenshot displays the Optimal Biz web application interface. The top navigation bar includes the '機器' (Devices) tab, user information, and various settings icons. The left sidebar contains a menu with '認証手順' (Authentication Procedure) selected, indicated by a red box and the number '1'. The main content area shows the '認証手順' page, which includes instructions for Android and iOS. A red box and the number '2' highlight the 'キッティング用QRコード' (Kitting QR Code) link. The page also lists various authentication methods and provides links for downloading CSV files. The footer contains copyright information and a 'マニュアル' (Manual) button.

8.1.2 QR コードを端末に読み込む

工場出荷状態（初期設定画面）から設定を行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【8】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】初期設定画面を 6 回タップします。

⇒ カメラが起動します。

🔗 [始める] や [緊急連絡]などを避けて、タップしてください。

🔗 SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。

【2】以下を参照して、管理サイトで表示されている Device Owner Mode キッティング用 QR コードを読み込みます。

🔗 「QR コードを表示」 221 ページ



【3】 [スキップ] をタップします。

- ✎ モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。

【4】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

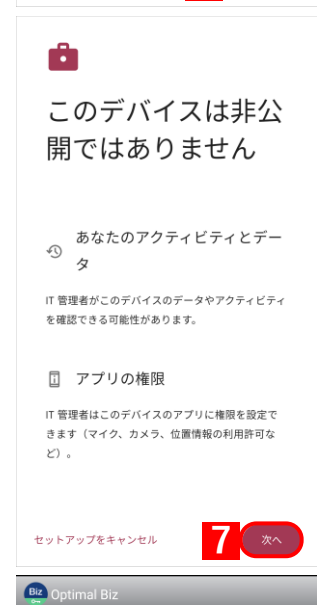
- ✎ 必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ✎ Android 13 以上、かつ有線 LAN を接続している場合でも Wi-Fi 接続が必要です。有線 LAN 接続を解除して Wi-Fi 接続を行ったあと、有線 LAN に接続し直してください。
- ✎ モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

【5】 [次へ] をタップします。

【6】 [同意して続行] をタップします。



【7】 [次へ] をタップします。

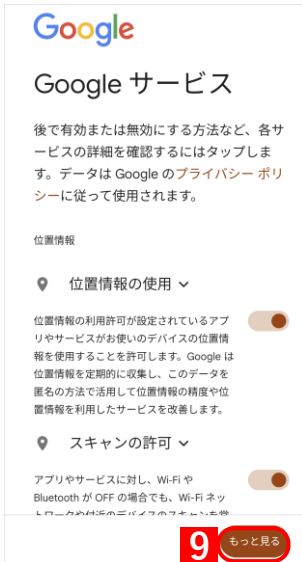


【8】 [OK] をタップします。



【9】 [もっと見る] をタップします。

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。

【10】 [同意する] をタップします。**【11】 [スキップ] をタップします。**


Google
Google サービス

後で有効または無効にする方法など、各サービスの詳細を確認するにはタップします。データは Google の [プライバシー ポリシー](#) に従って使用されます。

位置情報

📍 位置情報の使用 ▼

位置情報の利用許可が設定されているアプリやサービスがお使いのデバイスの位置情報を使用することを許可します。Google は位置情報を定期的に収集し、このデータを匿名の方法で活用して位置情報の精度や位置情報を利用したサービスを改善します。

📍 スキャンの許可 ▼

アプリやサービスに対し、Wi-Fi や Bluetooth が OFF の場合でも、Wi-Fi ネットワークや近隣のデバイスの IP アドレスを

9 もっと見る

🔄 使用状況データや診断データの送信 ▼

Android デバイスの機能向上のため、診断データとデバイスやアプリの使用状況データを Google に自動的に送信します。こうしたデータは、電池寿命、システムやアプリの安定性などの改善に役立ちます。統計情報の一部は、Google アプリや、Android デベロッパなどのパートナーにも役立ちます。[その他のウェブとアプリのアクティビティ] を ON にすると、このデータは Google アカウントに保存されます。

📶 アップデートやアプリのインストール ▼

続行すると、Google、ご利用の携帯通信会社、デバイスメーカーからのアップデートやアプリもデバイスが自動的に（場合によってはモバイルデータ接続を使用して）ダウンロードし、インストールする場合があります。データ通信料が発生する場合があります。こうしたアプリの一部ではアプリ内購入が提案される場合もあります。


[同意する] をタップすると、Google 利用規約に同意したことになります。また、この Google サービスの設定の選択内容も確認したことになります。注: Google サービスを使用した際のデータの取り扱いについては、[Google プライバシー ポリシー](#) をご覧ください。

10 同意する

🏠

スマートフォンでの
スワイプ動作

「ホームに戻る」、「戻る」、「アプリを切り替える」の操作方法を確認できます



11 スキップ 試してみる

- 【12】** 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



- 【13】** [Optimal Biz] をタップします。
✎ ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

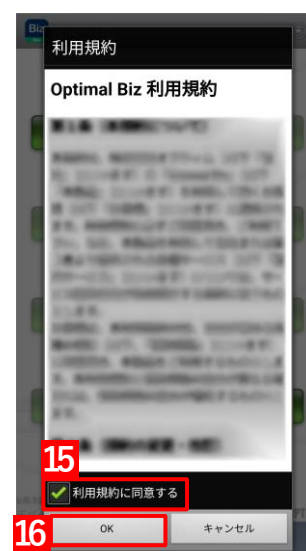


- 【14】** [ライセンス認証] をタップします。

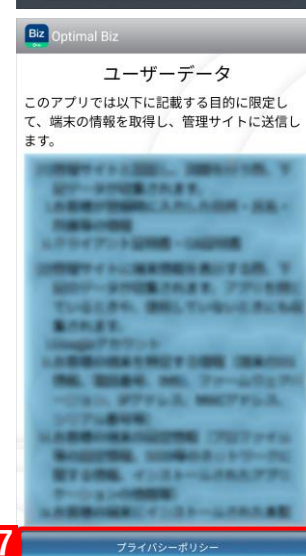


【15】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【16】 [OK] をタップします。



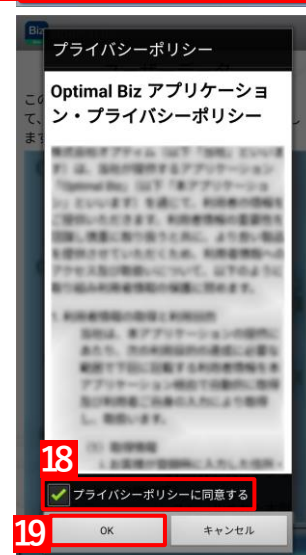
【17】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【18】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

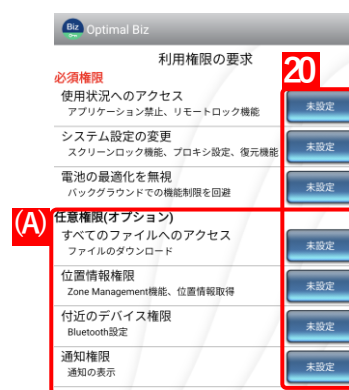
【19】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

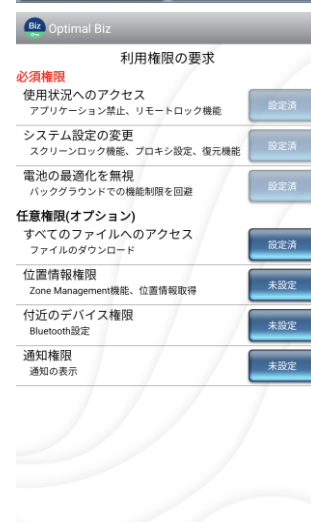


【20】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✎ Android 11 以上でエージェントバージョン 9.19.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「すべてのファイルへのアクセス」が表示されます。条件を満たしていない場合は、「ストレージ権限」が表示されます。
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
 (A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。



【21】 [OK] をタップします。



【22】 「認証コード」を入力します。

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



【23】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【24】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- ✎手順【25】～【27】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

【25】 必要事項を選択、入力します。**【26】 [次へ] をタップします。**

- ✎あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

📖『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ✎機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

【27】 [OK] をタップします。

⇒キッティングおよびライセンス認証が完了しました。



9 Optimal Biz – Google 間の連携設定を変更する

「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」で登録した Google Workspace アカウントまたは、Google Workspace アカウントの削除や再登録ができます。

9.1 Google アカウントを削除する

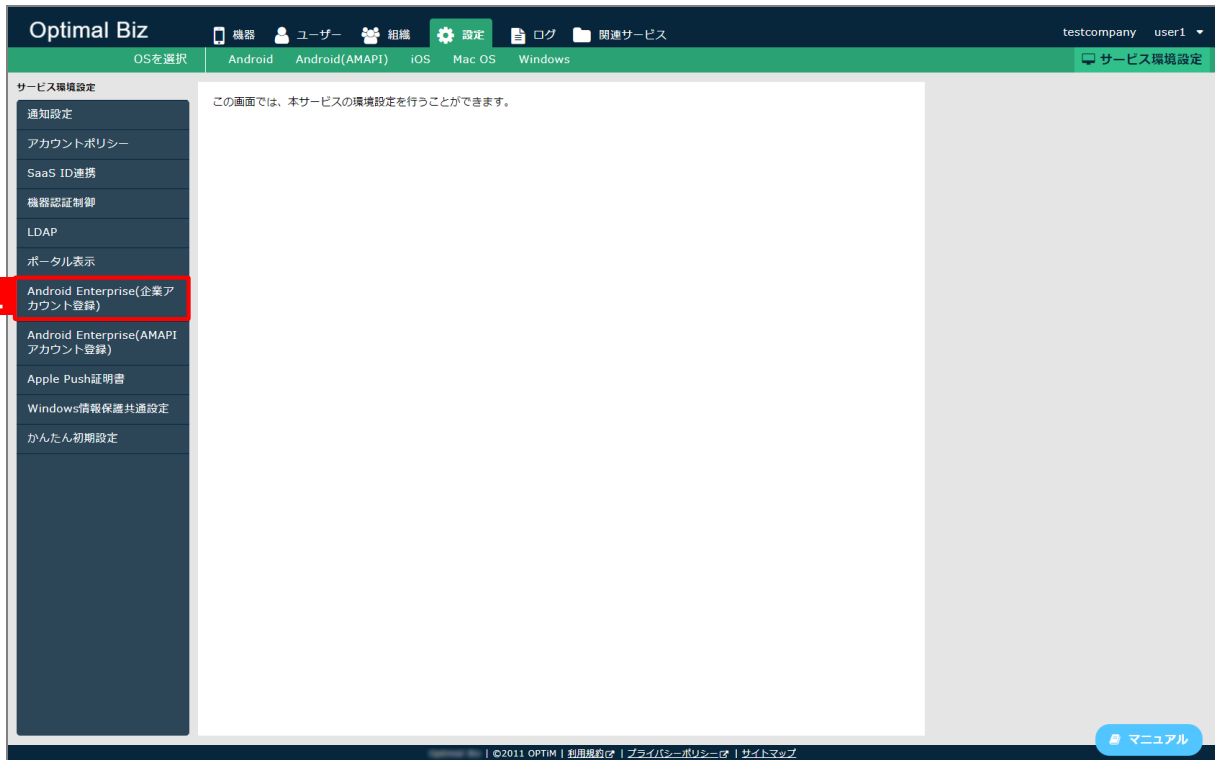
登録している Google アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

🔍 Google アカウントを削除したあと、別の Google アカウントを再登録した場合は、端末を再度キッティングする必要があります。

🔍 Google アカウントを削除すると、Android Enterprise の設定もすべて削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** 「同意する」にチェックを入れます。
- [3]** 「アカウント削除」をクリックします。

⇒ アカウント未登録の画面が表示されます。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

2 同意する

3 アカウント削除

- ✎ (A) 「状態」に「未登録(復元データあり)」とデータ保持期限が表示されます。
- ✎ 同じアカウントを再登録する場合は、(C) [アカウント再登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
 - 🔗 「Google アカウントを再登録する」 234 ページ
- ✎ 別のアカウントを登録する場合は、(B) [アカウント新規登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
 - 🔗 「Google アカウントを登録する」 13 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

⚠️ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。
データ保持期限が過ぎた後は引継ぎデータは削除されます。

(B) アカウント新規登録 **(C)** アカウント再登録

9.2 Google アカウントを再登録する

削除した Google アカウントを、再登録します。


Google アカウントに応じて、いずれかの方法で再登録してください。

● 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

● Gmail のメールアドレスで再登録する場合

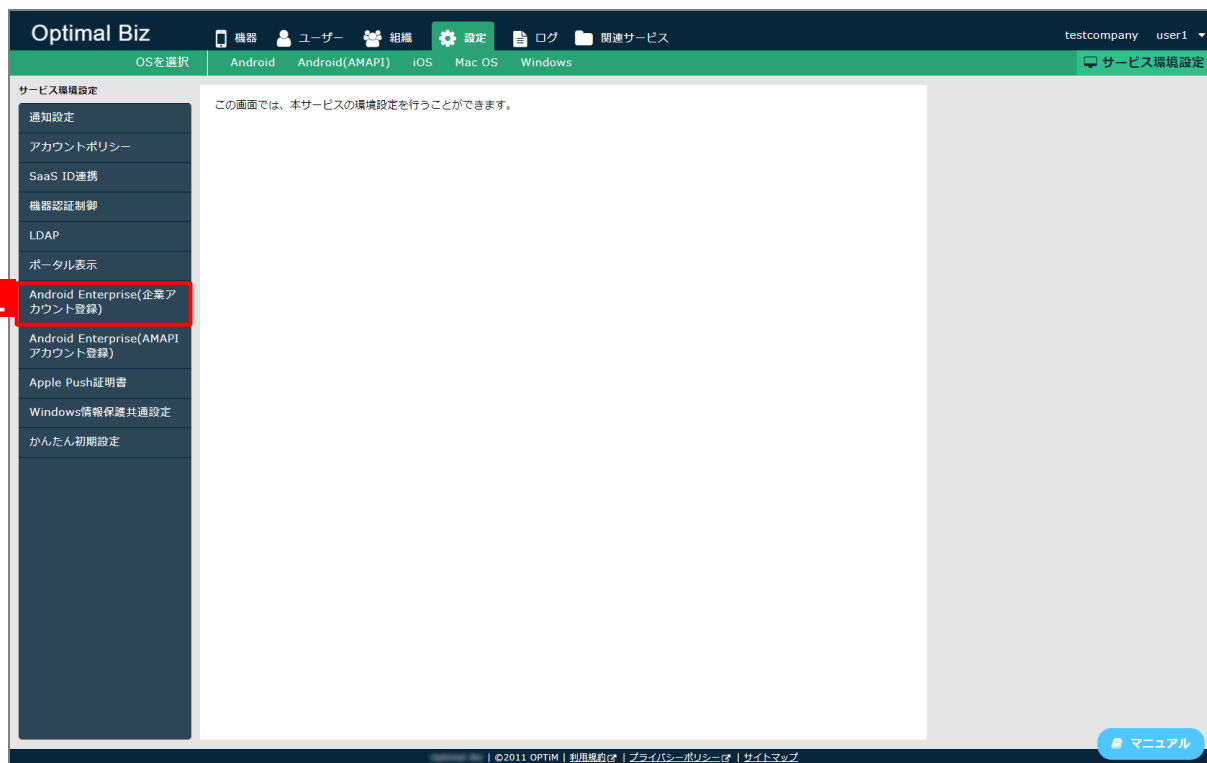
☑ 再登録できるのは、直近に削除した Google アカウントのみです。

☑ Google アカウントを再登録しても、Android Enterprise の設定はすべて再登録されません。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

9.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント再登録] をクリックします。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は **セキュリティ設定(DOM)** を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[メールアドレス]

組織ID
[組織ID]

▲ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。データ保持期限が過ぎた後は引継ぎデータは削除されます。

アカウント新規登録
2 アカウント再登録

【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 [仕事用メールアドレスを入力してください]

[メールアドレス]

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです


- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

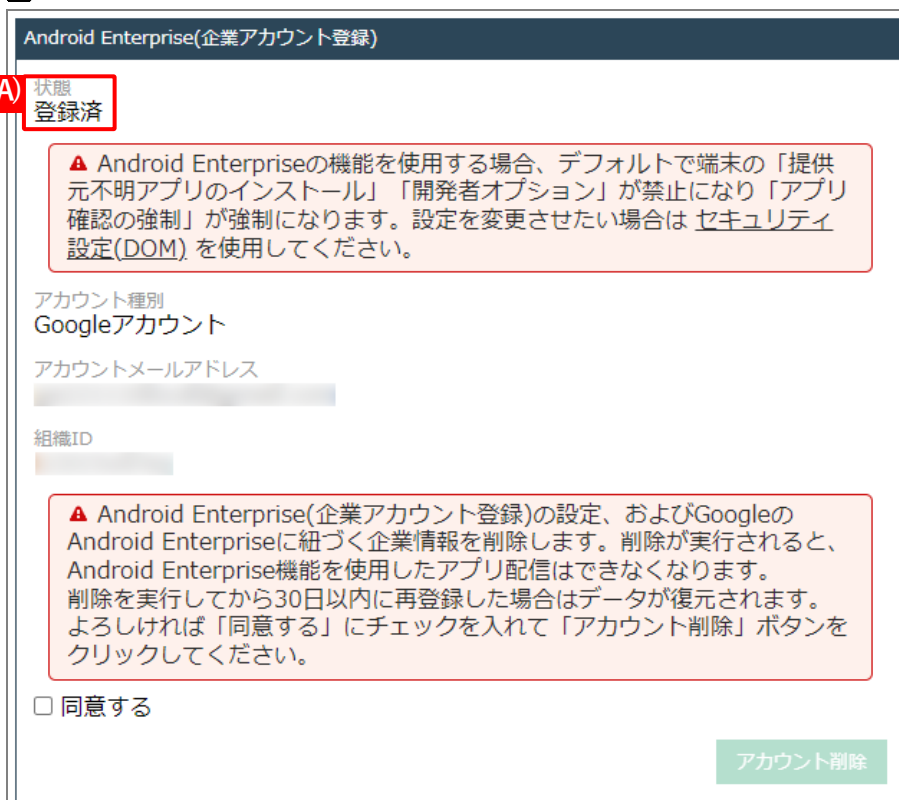
[5] 再登録したい削除済みアカウントの組織 ID を選択します。

[6] [確認] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

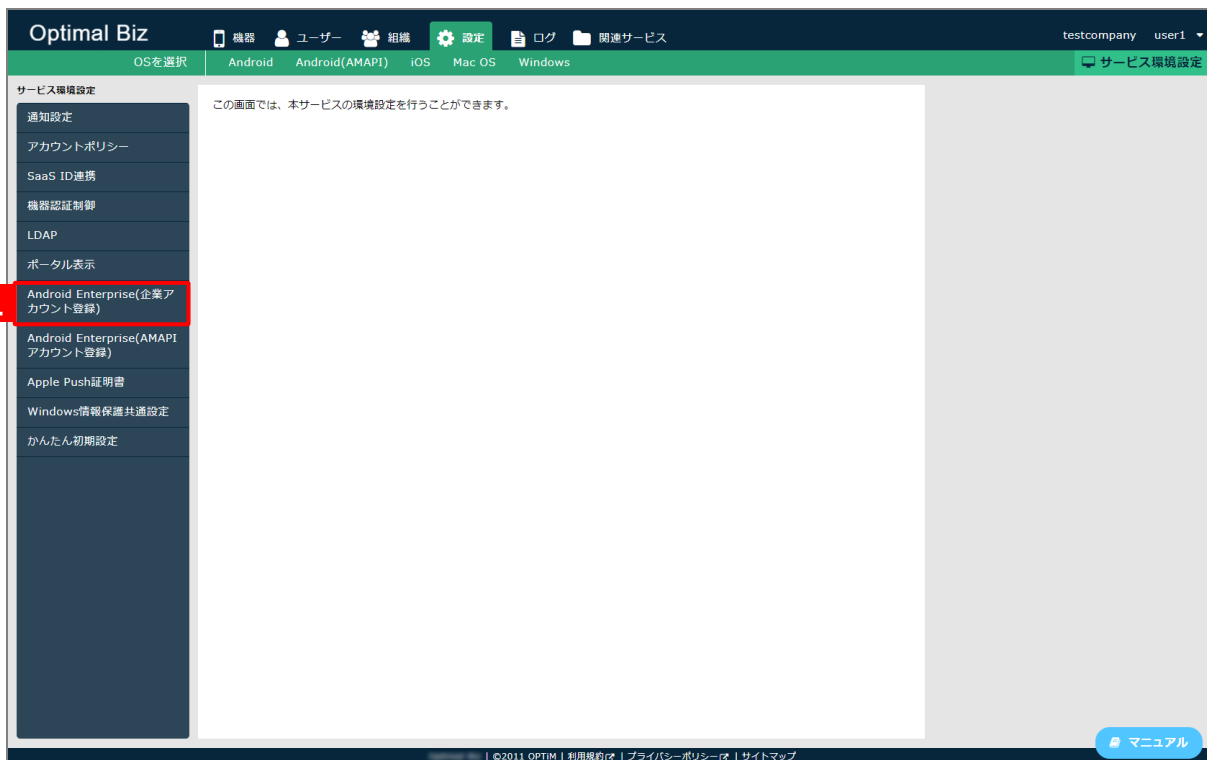


 (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

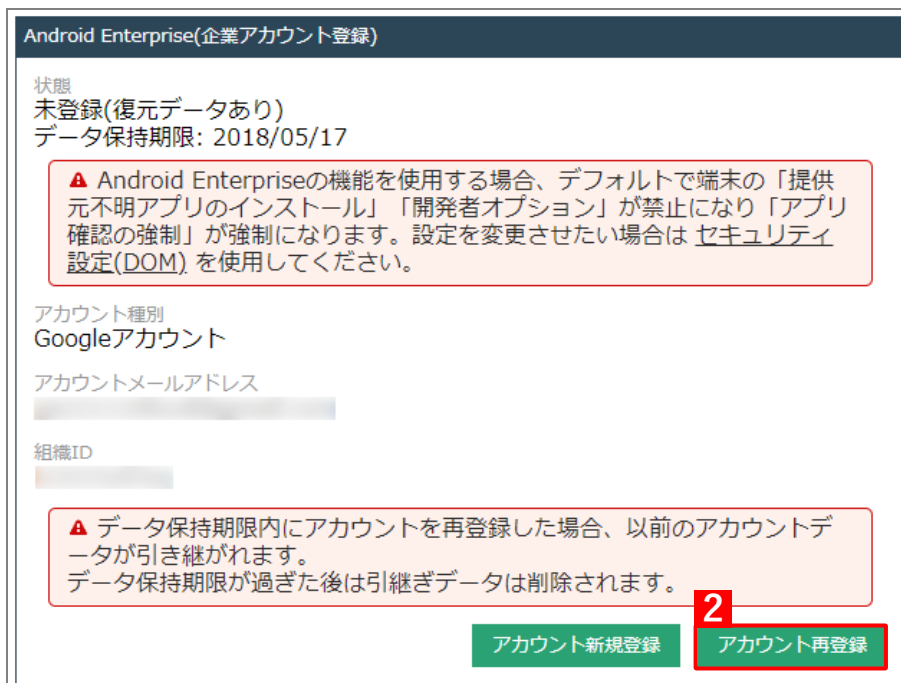


9.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** [アカウント再登録] をクリックします。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。

【6】 [再登録] をクリックします。

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態 登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は **セキュリティ設定(DOM)** を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

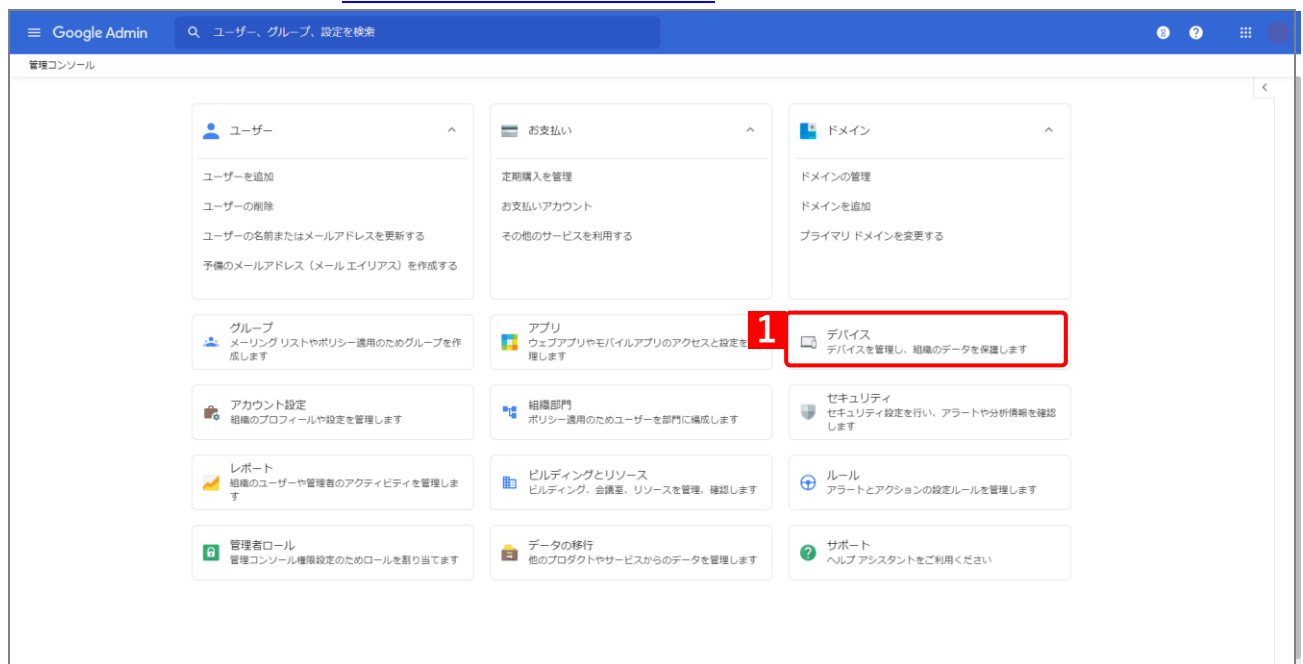
同意する

アカウント削除

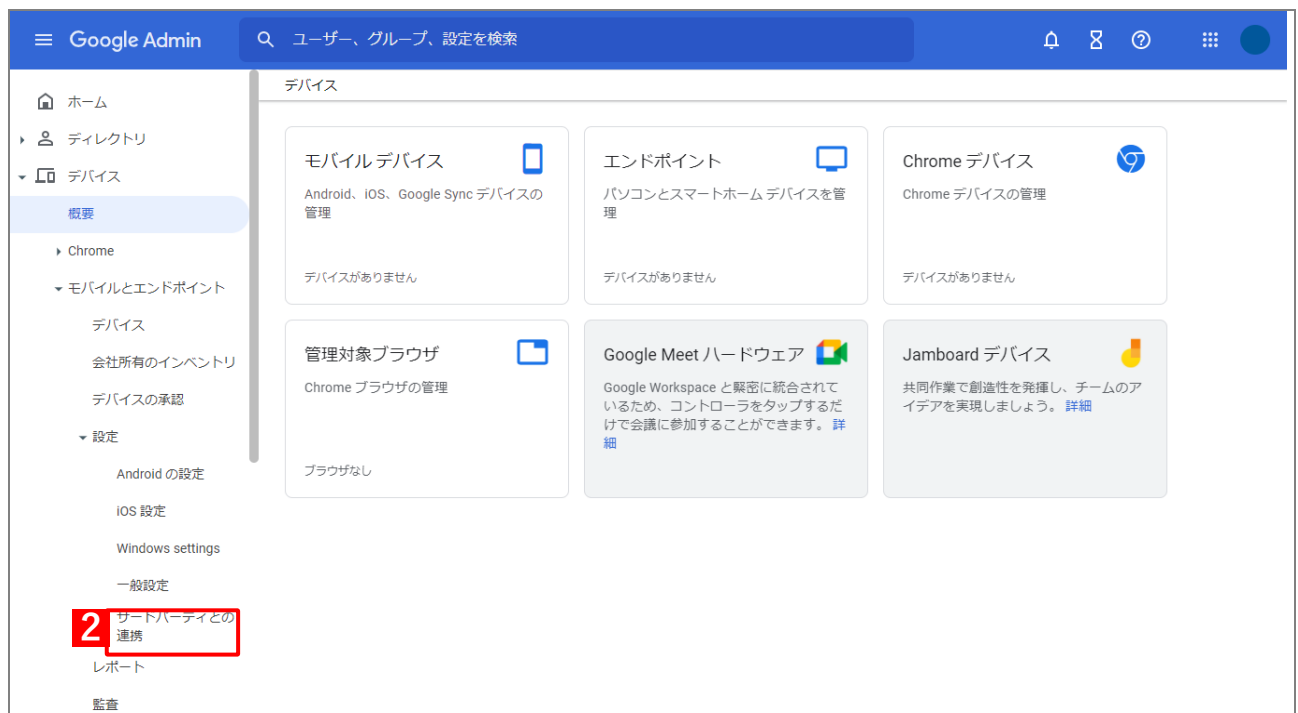
9.3 Google Workspace アカウントを削除する

登録している Google Workspace アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

[1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示し、[デバイス] をクリックします。



[2] [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



- [3]** 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。
- [4]** 「保存」をクリックします。

以下の操作は、管理サイトで行います。

- [5]** 「設定」→「サービス環境設定」→「Android Enterprise(企業アカウント登録)」をクリックします。

[6] 「同意する」にチェックを入れます。

[7] 「アカウント削除」をクリックします。

⇒ アカウント未登録の画面が表示されます。

🔗 再びアカウントを登録する場合は、以下を参照してください。

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」95 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

⚠️ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

ドメイン
[REDACTED]

EMMトークン
[REDACTED]

組織ID
[REDACTED]

⚠️ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termservice>

⚠️ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

6 同意する

7 アカウント削除